令和2年度版

鳥 取 県

乳幼児健康診査マニュアル 【スタッフ用】



令和2年2月

鳥取県母子保健対策協議会 鳥取県健康対策協議会母子保健対策専門委員会 このたび、「平成26年度版鳥取県乳幼児健康診査マニュアル」を 一部改訂し、令和2年度版を作成しました。

今回、国が目指すデータヘルス改革の実現に向けた取り組みの一つである母子保健情報連携システムの運用に向け、国が示すデータ項目に沿い、各種健康診査票をの改訂を行いました。

このマニュアルが乳幼児健康診査に携わる皆様の必携の書として、 今後とも広くご利用いただければ幸いです。

本マニュアルの改訂にあたり、御尽力をいただきました鳥取県健康 対策協議会母子保健対策専門委員会の皆様に厚く感謝申し上げます。

乳 幼 児 健 康 診 査 指 針 と 概 要

1 健診の時期に関して

(1) 乳児期の健診

時 期	チェックするポイント
1 か月	・身体発育、栄養状態、母子の生活環境。 (※出産した医療機関にて行うのが通例)
4 か月	・身体発育、栄養状態、母子の生活環境。 ・首のすわり、あやし笑い、追・固視などの発達面。 ・先天性股関節脱臼、臼蓋形成不全、停留睾丸などの身体的異常。
6~7か月	・身体発育、栄養状態、母子の生活環境。 ・お座りや手の使い方、視聴覚。
9~10か月	・身体発育、栄養状態、母子の生活環境。 ・立位の状態の把握。喃語や人見知りなど知的発達、社会性発達。

(2) 幼児期の健診

時 期	チェックするポイント			
1歳6か月	・歩行獲得→歩行していない場合、神経・筋疾患の疑い。 ・有意語3つ以上を話す→遅れている場合、精神的発達や聴覚、保育環境の確認。 ・歯科指導。			
・言葉、対人・行動、視聴覚障害の最終チェック。 ・身辺自立に向けたしつけが十分できているか。 ・成長ホルモン分泌不全性低身長症、軽度知的発達遅滞、構 吃音、斜視、遠近視、扁桃肥大、アデノイド、軽度難聴の				
5 歳	・多動、注意力散漫など。 ・集団との関わり方・集団適応状況。			

2 健診の方式に関して

健診には集団健診と個別健診がある。

集団健診には、小児科医の診察以外に、健診担当専門職による保護者への保育指導、栄養 指導や歯科健診が同時に行いやすいなど大きな意義がある。なお、鳥取県における健診受診 率が高い実績は何物にも代え難い利点である。

個別健診には就業している保護者の時間制約を緩和するという利点がある。一方で、他児と比較してわが子をみること、他児の保護者との出会いの機会や保健師、栄養士など他職種による支援は個別健診では得られ難い。

これらをうまく組み合わせ、情報の一元化を意図して、健診体制を組み立てることが重要である。

3 健診の時期、方式に関する一つのモデル

本委員会では以下のような案を持っている。

<健診の時期> <方式> <基準月・年齢>

1か月 個別 満1か月

4か月 個別 3~4か月

6か月 集団 6~7か月

10か月 個別 9~11か月

1歳6か月 集団 1歳6か月~1歳8か月(1歳6か月~2歳未満)

3歳 集団 3歳2か月~3歳3か月未満(3歳0か月~3歳6か月)

5歳 集団 5歳0か月~5歳6か月未満

なお、鳥取県では乳児期に公的受診券による個別健診 (無料)を2回受けることができる。 1歳6か月児健診や3歳児健診及び5歳児健診では保健指導が不可欠であり、集団指導が効果的であると考える。以上を考慮すると、前記の方式で乳児健診を行うのが、現時点では適当ではないかと考える。

4 健診の内容、指導の均一化に関して

4か月、10か月の健診は個別方式としているが、地域の状況を配慮することが望まれる。 即ち、郡部町村においては $4 \cdot 10$ か月も集団健診を実施してきた実績がある。出生数が少ないことから、1回の集団健診において6か月健診以外の他の月齢乳児を含めて健診対象とするあり方は、地域特性を活かした方式であり、本委員会ではこれを是と考える。

集団健診では、町村では出生数が少ないため、健診月齢にある程度の幅が出ることはさけられない。個別健診においても、保護者が必ずしも4か月、10か月で受診するとは限らないために、ある程度の幅を持たせることも必要となってくる。しかし、基本的に健診の名称にある月齢に行われるのが望ましい。

乳幼児期の成長・発達の様子が、経過とともに把握しやすく、分かりやすい内容で伝わるように、すべての健診内容を同一の規格としておくことが望ましい。健診票に指導内容も記載されると、指導の矛盾や重複を防ぐことができよう。即ち、鳥取県標準版の健診票を作成し、かつ、健診情報を医療機関と市町村が共有する形式が望ましい。

5 個々の健診票内容に関して

時 期	観察ポイント	注意点
1 か月児健診 1 か月児健診票	・哺乳力、体重、頭 囲の増加曲線、筋緊 張や仰臥位姿勢、光 や音に対する基本的 な反応など ・出産後の母親の抑 うつ状態	・外表奇形の主たるものは出生時に発見されているが、尿道下裂・膣口閉鎖や停留睾丸、先天性白内障などは、この時期に初めて発見されることもある。心奇形の一部や幽門狭窄症、胆道閉鎖症といった内臓奇形の診断は1か月頃が適当である場合も少なくない。 ・出産後に母親が抑うつ状態に陥ることは多く(マタニティーブルー)、これに対する早期発見と支援が乏しい場合は、結果としてネグレクトに陥る懸念がある。
4 か月児健診 4 か月児健診票	・栄養摂取がうまく 行き、体重増加につ ながっているかなど の身体発育 ・母親の育児に対す る不安や悩み	・虐待の一種である揺さぶられっ子症候群では、 目立った外傷がなく、頭囲成長曲線の異常で気 づかれることもある。 ・この時期から乳児湿疹やアトピー性皮膚炎が 目立ってくる児もあり、皮膚のケアに関する指 導が必要となる。 ・原始反射が消失する時期であり、また、大脳 皮質の活動が顕在化する時期でもある。首の座 り、社会的笑み、手の使い方、視聴覚に関する 項目が重要となる。 ・母親が育児に喜びを感じられるように、適宜 対応することが望まれる。マタニティーブルー は、通常では出産後3か月までに軽快する。4 か月児健診時点で母親に抑うつ気分が続いてい る場合には、産後うつ病の可能性がある。
6か月児健診 6か月児健診票	・いくつかの姿勢反 射を獲得していて、 それらが自発運動に うまく結びついてい るか	・寝返り、うつ伏せ姿勢での移動やお座りの姿勢などである。ただし、寝返り、うつ伏せ姿勢での移動は必ずしもその後の粗大発達の指標にならないことにも留意すべきである。6~8か月児と幅のある月齢に対応できるよう、③腹這いでの姿勢と⑤お座りでの姿勢は健診票に図示してある。それぞれ、図2が6か月、図3が7か月の標準である。・手指の使い方に知的な発達の萌芽が認められる時期でもある。乳児湿疹やアトピー性皮膚炎が目立ってくる時期でもあり、皮膚のケアについてもあり、皮膚のケアについても指導が必要である。合わせて離乳をでおる。・親の語りかけが、いかに児の行動発達に大切であるかについても指導してほしい。

時期	観察ポイント	注意点					
1 Oか月児健診 1 Oか月児健診票	・立位での姿勢や体 重の支え方など、歩 行の準備が整ってき ているか ・離乳食の進み具合 はどうか、など	・声の出し方やバイバイなど行動に模倣が認められる時期でもある。 ・兄姉がテレビを視聴している場合には、乳児期であっても影響が出ることを念頭において指導する必要がある。 ・乳児期から父親の育児参加・協力が積極的に求められる。母親の育児負担感の軽減だけでなく、家族という意識の形成そのものに大きく関わるからである。また、喫煙・副流煙は乳幼児には呼吸器疾患をはじめとする生活習慣病や心身の発育にとくに大きな影響を及ぼすため、非喫煙環境の確保が重要である。					
1 歳 6 か月児健診 1歳 6 か月児健診票	・歩行の状態や発語、 言語理解 ・食事・睡眠・排泄・ 歯磨き等の生活習慣	・遊び友達の有無やテレビ・ビデオ等に依存した時間などの育児環境、母親の育児意識や父親の協力にも重点が置かれるべき時期である。 ・少子化、核家族化、転勤の増加など社会背景を意識して、母親が孤立していないかどうか、親が子どもといる時間をどのくらいもっているかなどを把握し、必要に応じた子育て支援が行われるよう配慮しなければならない。					
3 歳児健診 3 歳児健診票	・言語、行動、社会 性の発達 ・身辺自立に向けた "しつけ" がうまく なされているか	・親が身辺自立や集団生活の基本などをどのように考えて、子どもに教えつつあるかなど、育児意識を確認する。必要な場合には、それを高めるように支援をしていく。 ・視聴覚面では、顕著な障害を見逃さないための最後の砦として位置づけたい。地域において、子どもたちが心身ともに健やかに育つための環境が整っているかなど、保健指導の果たす役割は一層大きくなっている。 ・テレビ・ビデオやTVゲームに頼らない家族でのだんらん・ふれあう機会が志向され、実践がなされつつあるかなど、具体的に確認したい。食事の際に、テレビ等が消されているか否かについても確認したい。					

時 期	観察ポイント	注意点
5 歳児健診	・言語・運動などの 発達 ・集団の中における 適応行動	・仲間関係における共感性や協調性などの対人 関係のほか、指示に従って行動するなどの社会 性にも目を向ける。個別の診察に集団遊びの観 察を加えるというスタイルや、診察に担任の保 育士等が同席するといったスタイルのほか、あ らかじめ集団適応行動に関する情報を保護者や 保育所等から収集しておくといった工夫も必 要。 ・5歳児は自己主張が目立ってくる時期でもあ る。「言うことを聞かない」などの子育てに関す る相談にていねいに対応することが不適切な養 育防止にもつながる。就学まで一年余りといっ た時期に行われる健診であるので、保護者に対 して就学に向けた注意喚起が行われるとよい。

【注1:眼科問診項目について】

眼科・問診項目は、これのみで精密対象を判定するものではない。どの項目に問題があれば、それがどの程度のリスクを有しているかのデータが得られていない現状にあるからである。あくまでも、見逃し例を少なくするために、診察医の判断の補助として、問診項目があるとの認識を持つべきであろう。

【注2:耳鼻科問診項目について】

近年、新生児聴覚スクリーニングを受けている例が増えている。スクリーニングで refer (=要精査) であったのに、耳鼻科を受診していない例がまれにある。乳幼児健診の際、母子手帳などで新生児聴覚スクリーニングについてもチェックし、未受診例は適宜指導をお願いしたい。1 歳半までは聴覚言語発達リスト (田中・進藤) $\rightarrow p.54$ に沿って月齢の項目を満たしているかをみてほしい。新生児聴覚スクリーニングで一側性難聴と診断された例は、1 歳半健診で言語発達が順調であるか確認してほしい。3 歳児健診はアンケートとささやき声検査の診断基準に沿って、必要例は精密検査を勧める。

【注3:経過観察の考え方について】

経過観察の具体的なあり方は、その内容、市町村の事情と子どもの年齢によって異なる。 内容により、かかりつけ医、各市町村保健師等で経過観察の具体的方針を、保護者の同意を 得て実施する。

例えば、3歳児健診における「間歇性斜視」に関して経過観察とする場合に「今は大丈夫 だと思うが、だんだんと目立ってくるようなら、保健師に教えてください。あるいは、眼科 医を受診し、結果を保健師に教えてください。」などの方法があろう。

その他、発達面等については、保健師・診察医とかかりつけ医や、さらに保育所側などとの、保護者の同意を得た連携が、具体的な経過観察のあり方となろう。

6 健康診査結果について

健診結果の判定区分の考え方は以下のとおりである。

判定区分	内容
異常なし	特に問題を認められなかったもの または、問題はあるが健診時の保健指導で、問題解決が可能なも の
要精密	問題があって直ちに或いは近い将来、精検を要するもの (具体的には医療機関での詳しい診察や検査が必要であるもの)
要経過観察	問題を特定するためや問題の解消のために一定期間の経過観察を要するもの (具体的には事後相談・事後健診や保健師・保育士等による経過をみていくもので、医療機関での詳しい診察や検査までは不要と思われるもの)
要治療	問題があって治療を要するもの
既医療	既に治療を行い医療の管理下にあるもの

目 次

一般健診の部																
第I章	表紙:乳	幼児身	体発	育パ		セン	タイ	゚ル	曲	線	•	•	•	•	•	1
第Ⅱ章	妊娠、分	娩プロ	フィ	ール	•			•	•	•	•	•	•	•	•	5
第Ⅲ章	1か月児	健康診	査票		•			•		•	•	•	•	•	•	6
第Ⅳ章	3~4か	月児健	康診	査票	•			•	•		•	•	•	•	•	11
第Ⅴ章	6~7か	月児健	康診	査票	•			•	•		•	•	•	•	•	16
第Ⅵ章	9~10	か月児	健康	診査	票			•	•		•	•	•	•	•	22
第Ⅷ章	1歳6か	月児健	康診	査票				•	•		•	•	•	•	•	26
第哑章	3 歳児健	康診査	票•		•			•	•		•	•	•	•	•	35
第IX章	5 歳児健	康診査	票•		•			•			•	•	•	•	•	45
母子保健業務に	に使用する	様式例														
• 妊婦一般	设健康診査	(НВ	s 抗	原検	査)	受	診票	Ē								
			(前期) (医疗	を 機	関す	Ē	E)		•				55
・妊婦・乳	礼児一般健	康診査	費請	求書	総	括表										
					(医疗	を 機	関す かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	Ē	E)		•		•		57
• 妊婦一舸	设健康診査	受診票	(後	期)	(医	療材	幾関	委言	ŧ)			•		•	•	58
• 乳幼児 🤊	すくすく健	康カー	ド (男子)	•		•	•		•	•	•	•	•	60
• 乳幼児 🤊	すくすく健	康カー	ド (女子)	•		•	•		•	•	•	•	•	62
1か月り	見健康診査	票・・			•			•	•		•	•	•	•	•	64
• 乳児一般	设健康診査	受診票	(医	療機	関	委託) (3 ~	- 4	l 月)	•		•	•	65
· 3 ~ 4 t	か月児健康	診査票			•			•	•		•	•	•	•	•	67
・6か月リ	見健康診査	票(6	~ 7	か月)	•		•	•		•	•	•	•	•	68
• 乳児一般	设健康診査	受診票	(医	療機	関	委託) (9 ~	- 1	l C	月)		•	•	70
• 9~10	つか月児健	康診査	票		•			•	•		•	•	•	•	•	72
・1歳6だ	か月児健康	診査票			•			•	•		•	•	•	•	•	73
• 3 歳児係	健康診査票				•			•	•	•	•	•	•	•	•	75
・1歳6だ	か月児、3	歳児														
*	青密健康診	査受診	申請	書(医	寮機	関委	託)		•	•	•	•	•	77
• 1歳6カ	か月児、3	歳児精	密健	康診	査											
	(判	定相談)受	診票	([医療	機関	委	託)		•	•	•	•	78
• 3 歳児料	青密健康診	査「眼	科」					•		•	•	•	•	•	•	79
• 3 歳児料	青密健康診	査「耳	鼻咽	喉科	.					•	•				ı	80
• 妊婦訪問	問指導票•							•				•				81
・産婦訪問								•				•	•		•	82
• 新生児詞	方問指導 票							•								83
• 5 歳児係	健康診査票															84

一般健診の部

第 I 章 表紙:乳幼児身体発育パーセンタイル曲線

第Ⅱ章 妊娠、分娩プロフィール

第Ⅲ章 1か月児健康診査票

第Ⅳ章 3~4か月児健康診査票

第Ⅴ章 6~7か月児健康診査票

第Ⅵ章 9~10か月児健康診査票

第Ⅲ章 1歳6か月児健康診査票

第四章 3歳児健康診査票

第IX章 5歳児健康診査票

第 I 章 表紙:乳幼児身体発育パーセンタイル曲線

- (1) 表紙のみが男女別であり、乳幼児身体発育パーセンタイル曲線とした。表紙には、プライバシーに関する記載を最小限とした。整理番号は、各市町村で方式を決定し記載することになる。
- (2) 計測値については、前回計測値との比較を必ず行うことを習慣化する。とくに、新生 児期から乳児期にかけての身長計測は難しい。新生児期においては、股関節を無理に伸 展すると、股関節脱臼を引き起こす可能性が懸念されている。 頭囲は外後頭結節と眉間上部を結ぶ位置で計測する。
- (3) 身長、体重は、決して順位を競うものでなく、個人がどのような発育曲線上を経緯しているかを主体に見ていく。とくに、乳児期早期における完全母乳栄養児は人工栄養児ほど大きくない傾向があるので、安易に人工乳の併用を促さないように配慮する。

乳児早期において、母乳栄養児の場合、一日当たりの体重増加が30g未満の例があるが、元気であれば、母親の授乳状況を確認し、体重経過を観察していくようにする。

(4) 3パーセンタイル以下の小柄や軽量の児については、在胎週数と出生体重に留意する。 即ち、SFD児であることが多い。そのうちの多くは、頭囲は身長・体重ほどには小さ くないであろう。ただし、外表小奇形には留意する。一方で、両親の身長も確認する。 小柄、軽量であっても、発達が順調の場合は経過を観察することになる。周生期異常 や発達の遅滞が認められる小柄、軽量児は要注意である。

乳児期においては栄養方法の確認も怠らないようにする。食物アレルギーに過敏で食 事制限が過度になっていることに由来する成長障害例に遭遇するかもしれない。

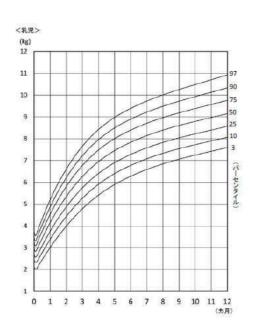
小柄、軽量が、不適切な養育(ネグレクト)を診断するヒントになるかもしれない。 皮膚の瘢痕や骨折の既往などにも留意する。

発育曲線の劣化は、乳幼児期のみならず成長期を通して要注意である。筋緊張や発達に留意すべきであるが、各種代謝異常や腫瘍性疾患の可能性があり得る。身長発育曲線の過剰は、先天性副腎皮質過形成を診断するヒントとなり得る。

記載上の確認事項

以下の健診票において、保護者の記載内容を保健師等が確認、修正する場合には、青ペン・赤ペンなど、保護者の記載と異なることが一目で分かるようにする。 保護者に説明し、理解・同意を得つつ修正記載することを前提とする。 (1)体重及び身長の身体発育曲線(3、10、25、50、75、90及び97パーセンタイル曲線) 図1から図4は、乳幼児身体発育値のうち、体重及び身長について3、10、25、50、75、90及び97パーセンタイル曲線を示したものである。各年・月・日齢における体重及び身長のパーセンタイル値を、分布のゆがみやばらつきを補正してつないだ滑らかな曲線で表してある。

図1 乳幼児(男子)身体発育曲線(体重)



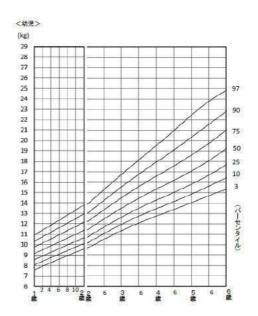
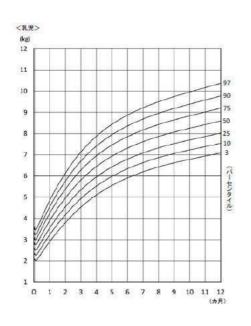


図2 乳幼児(女子)身体発育曲線(体重)



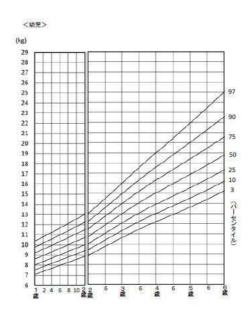
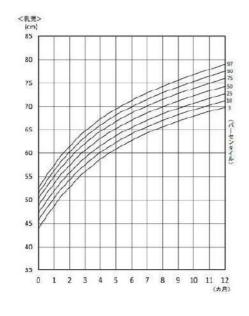


図3 乳幼児 (男子) 身体発育曲線 (身長)



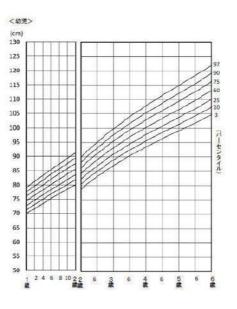
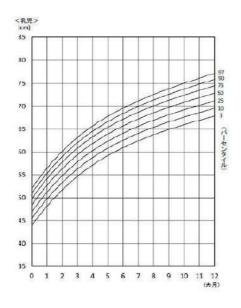
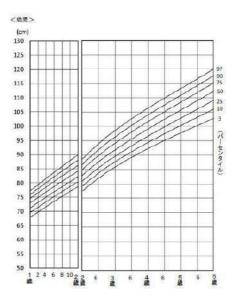


図4 乳幼児(女子)身体発育曲線(身長)





検査・計測方法

快工	計測の手技・注意事項							
項目	乳児	幼児						
体重	感度 10g 以下の体重計を使用し、全裸で計 測。 10g 単位で読む。 体重計 0 位を確認し、針静止時に判読す る。哺乳、排便を考慮する。	パンツ1枚で立位で100g単位まで読む。 排便・排尿を済ませておく方が良い。 測定不能の場合は抱いて測定し、後で抱いた人の体重を引く。						
身長	ミリ目盛仰臥位式身長計を用い、頭頂と測定を板に密着させ(耳眼面が台板と垂直、足底面も垂直)、股・膝関節を伸展させ、1mm 単位まで読む。補助者に頭部を固定させ、測定者は幼児の片側に立ち、幼児が力を抜いた時、下肢を伸展させ、右手で移動板をすべらせる。 A (眼窩点),B (耳珠点)とを結んだ直線が台板に垂直になるよう頭を固定する。	原則、足先を 30° 開かせ、踵、臀部、背部を直線状に尺柱に接しさせ、顎をひかせる。立位が無理な場合は測定不能とする(寝かせての測定は不可)。 A,B とを結んだ直線が水平になるように頭を固定する。						
頭囲	仰臥位にし、メジャーを用い、眉間点A(左右の眉の中間点)、外後頭隆起(後頭部の一番突出している点)Bを通る周計を 1mm単位まで読む。測定者はメジャーの0点を確認し、後頭点を確認してあて、左右高に注意してメジャーを眉間点を通過させ、その周計を測定する。	座位または立位で計測。 A B B						
胸囲	上半身裸で仰臥位にし、両腕を軽く開かせ、メジャーを用い、両肩甲骨下角の直下で、前方は乳頭点(A)を通る周計を1mm単位まで読む。メジャーは強くしめず、皮膚面からずり落ちない程度とし、呼気と吸気の中間で測定する。	上半身裸で、立位で計測。						

第Ⅱ章 妊娠、分娩プロフィール

- ○表紙裏面に男女同一の様式で印刷してある。
- ○妊娠、分娩プロフィール等であり、保健師等により活用される。
- ○母子健康手帳 No.生活背景、妊娠歴、分娩歴、新生児期の状況を記載する。
- ○項目は母子健康手帳の内容に準じてある。
- 1 家族の職業に変化のある場合は、備考欄に記入する。

2 1か月児健診結果記入欄

- ○1か月児健診票が入手出来ない場合に、1か月児健診結果の要約を記載する。
- ○体重増加の計算は家庭での保育状況を把握する観点から、産科施設退院日から行う。
- ○栄養法については、〔第**Ⅲ**章2(1)〕を参照する。
- ○排便については、体重増加が順調で機嫌の良い場合は、回数が問題になることはない。 即ち、排便回数は、少ないときは1週間程度なかったり、多い場合は1日に 20 回程度 であったりする。
- 3 育児環境においては3点について留意する。
 - ○新生児の低体温、寒冷障害 (cold injury)

冬季、とくに山陰の厳寒期においては、家族に見逃されることがあり得る。これは、哺乳力の減退、活動性の低下が出現する一方、凍傷により一見して顔色が良好に見えるためである。一方、母親の添い寝は、母親が健康であり生活リズムが安定している場合においては問題となることはない。新生児がおちつき、保温にも効果的だとされている。

○乳幼児突然死症候群(SIDS)

うつ伏せ寝での育児は乳幼児突然死症候群(SIDS)に関連があると結論されており、それを阻止する観点から現在は推奨されていない。また、育児環境における喫煙も避けねばならない。さらに、SIDSを阻止する上で、母乳育児が推奨されている。〔第IV章4〕参照のこと。

○夫をはじめとした育児への協力者・相談相手の有無とその確認

第Ⅲ章 1か月児健康診査票

はじめに

<指針と概要>

行政サービスとして行い得る健診の回数には制限があり、当然効率の良い時期を選ぶことになる。健診に必要なチェック項目と、その効率的な時期を考慮すれば、行政がサービスとして行う健診としては、 $3\sim4$ か月、 $6\sim7$ か月、 $9\sim10$ か月、1歳6か月、3歳、そして5歳ということになる。先天的な病気の発見、産後の母親の心身の回復の確認、母乳育児の支援には、1か月児健診は重要である。

生後1か月児健診は、主として産科医療施設で実施されているが、小児科医が関与する場合も多い。この健診票は、これらの施設で取り扱われ、保存される。必要に応じ、その後の健診のための情報として提供される。

産科医療施設よりの分娩情報、退院後家庭訪問情報、1か月児健診情報が、各々交互に提供され、以後の健康管理に役立ち得る、より円滑なシステムの構築が望まれている現在、この点、この時期の今後の重要な検討課題となる。

1 以下の項目は、1か月児健診票のみでなく、乳幼児健診票に共通である。

「健診日」「整理番号」「フリガナ」「氏名」「出生順位」「性別」「出生年月日」「保護者氏名」「住所」「電話番号」「アンケート記入者」等

なお、保護者の職業は、巻頭の家族欄に枠を設け、プライバシー保護の観点から各健診 票では職業欄を省略した。この点は以下の乳幼児健診票において統一してある。

2 アンケート

话口	 	歴明の辛美
項目	質問内容	質問の意義
(1)	栄養は、母乳です か、人工乳、混合 ですか。	母乳栄養、人工栄養、混合栄養の把握を行い、母親に安心・安堵を与える母乳育児の適正な方法論について指導する。 注意点 抗体産生の B 細胞を作る腸管リンパろ胞が形成される生後3か月までは完全母乳栄養を大切にし、安易に人工乳を与えるべきではない(#)。母乳栄養児において、1日当たりの体重増加が30g 未満でも診察上問題なければ問題にすべきではない。生後5~6か月までは乳児は母乳だけで十分に育つ。母乳栄養の場合、授乳により母乳分泌刺激が与えられる。新生児・乳児が乳首を吸い始めることでプロラクチン(催乳ホルモン)分泌が高まり母乳生産を促す。母乳授乳量の多くは、プロラクチン分泌に基づき、授乳中に生産されていることを指導する。1回の授乳時間は短くても15分程度必要であり、30分以上乳首を離さない場合は母乳不足が考えられる。その場合、体重増加を確認しつつ、追跡・観察する。授乳後、新生児が眠ったかに見えて寝かせると泣くのは、母の胸に抱かれているときの温もりが心地よく、ベッドが冷たいためであることが多い。母乳不足だと短絡的に結びつけるべきではない。

		T
		<母乳栄養の利点(#)> ○乳児の発育、健康維持に必要な栄養素が最適な状態で含まれており、消化・吸収も最良である。 ○種々の感染防御因子を豊富に含んでいる。
		○アレルギーを起こしにくい。○より望ましい母子関係をつくるのに役立つ。○子宮の復古を早める。○母乳の味や匂い、温度も乳児に適しており、更に、衛生的、
		経済的でもある。 〇母乳育児例では、児童虐待に陥る事例の割合が少ないことが 分かっている。
(2)	母乳 (人工乳) の 飲みはいいです か。	新生児期における「いいえ」の回答は、早産低出生体重児、SFD 児など新生児側の要因があるか、何らかの育児過誤または何ら かの身体的不調の反映と考えられる。 「いいえ」「わからない」の回答の場合は、体重増加、診察所見 を参考にし、経過を追う。母乳栄養児の場合、乳首が陥没、扁 平しており、乳頭保護器を使用しているかどうかも確認する。
(3)	自分で顔の向きを 左右に動かします か。	仰臥位(あおむけ)で観察されることがあるかどうか、ないし、 ふと気づいたときに向きを変えているかどうかを確認する。顔 の向きを変えることがないという場合は、筋性斜頸に留意する。
(4)	手足の動きに左右 差はありません か。	左右差がないことが基本である。生後1か月前後は対称性姿勢 (TNR)を示すことが通常である。(TNR: tonic neck reflex)ただし、1か月半頃から出現することの多い非対称姿勢 (ATNR)が早めに出現する例では、若干の左右差が出現している場合がある。この際は、顔の向きも一方向を向き易く、顔が向いている側の後頭部が、扁平傾向になり頭蓋の変形を呈しているかもしれない。通常、後頭部の扁平は生後2か月以降に、とくに山陰地方では冬季に日照が少ないこともあって、春(3~4月)に目立つ。[第IV章2(3)]手足の動きの明らかな左右差は、分娩マヒ、片麻痺の兆侯といえるため、小児神経専門医に紹介する。「片側のバネ指」と判断され、結果的には片麻痺であり、早期療育の開始が遅滞した例がある。
(5)	泣いているときに 声をかけると、泣 きやむことがあり ますか。	新生児期から乳児早期では、聴覚に関して確認することは困難であり、本質問では育児者の働きかけの様子と、新生児が反応しているかどうかを確認する。声をかけて常に泣きやむことを求めていない。 「いいえ」の回答には、育児者の声かけ・話しかけの多少を確認する。 「わからない」の回答に対しては、「新生児の表現には慣れないと大人が気づかないで見逃すこともある。赤ちゃんは学ぶ能力は高いから声かけを多くしましょう」と指導・追跡する。
(6)	強い光をまぶしが りますか。	大半は「はい」と回答する。 「いいえ」の場合は、要注意で、精密検査対象となり得る。 小眼球、網膜芽細胞腫などの眼科的疾患の診断が求められる。 「わからない」は、育児のあり方に注意を払う。「いいえ」、「わからない」ともに、健診の場で、少なくとも瞳孔は確認する。 網膜芽細胞腫・白内障などが疑われるため白色瞳孔があれば、 至急に眼科の受診を促す。

(7)	明るい方を見ますか。	前項同様に、「はい」の回答が大半を占める。「いいえ」、「わからない」の回答には、5、6項と同様に確認し、必要な指導を行う。
(8)	みつめあっている と感じるときがあ りますか。	新生児が覚醒しているときは、30cm 程度の距離で児の顔を見つめる大人の顔を固視する。固視した状態で、大人がゆっくりと顔の位置をずらすと、新生児が目で大人の顔を追う(追視する)のが確認されることがある。 「いいえ」、「わからない」の回答には、5~7項と同様に確認し、必要な指導を行う。
(9)	退院後(出産後) 病気などで医療機 関を受診されまし たか。	「退院」は、出産後に母親の健康が回復し、産科施設を退院した日をいう。
(10)	育児をしていてス トレスに感じるこ とや悩むことがよ くありますか。	
(11)	育児について相談 したり、話したり する人はいます か。	
(12)	保護者同士等集まったり話したりする場やサークルに参加していますか。	
(13)	育児をするうえで 家族や保健師、地 域に支援してほし いことがあります か。	従来、健診受診者のニーズを聞くことなく、いわば型通りの一方的な指導に陥りがちであったとの反省点がある。各乳幼児健診票における共通項目としてある。
(14)	保護者の身体や心 の調子はいかがで すか。	
(15)	今日相談したいこ と、心配なことが ありますか。	
(16)	何か気になること がありますか。	本項目でも、母親の気持ちを聞き、育児支援のきっかけとして いく。母親が自主的に記載せず、面談において見いだされる内 容もあり得よう。
(17)	妊娠中、分娩時、 新生児期の状況	母親などの保護者が、母子健康手帳の記載を主体として転記する。

以上(1)~(17)は、保護者が記載し、健診担当者が必要事項を付記したり、修正したりすることがあり得よう。以下は、健診担当側による記載となる。

3 計測:体重、身長、体重増加、胸囲、頭囲

一日当たりの体重増加は、産科施設退院時からの増加量を計算する。出生時体重からの 計算は、個人差の大きい生理的体重減少を含んでおり、最低体重となった日からの計算を する方式もあるが、一方、自宅における育児の状況を把握するために、産科施設退院時か らの計算が望ましい。

4 健診結果

3歳児健診票の様式に順じた。診察項目は、1か月時に確認したい内容を列記し、留意 点について記述した。

一点に フィ・C 記述	2 7 20
(1) 栄養・体格	体重増加の考え方〔第 I 章 2 ~ 4〕を参照のこと。 母乳栄養 15g/日未満、人工栄養 30g/日未満は、体重増加に「留意」す るための目安とした。以下、2 ~ 8 項の所見を合わせて、経過観察ないし 精検を決定する。
(2) 皮 膚	遷延性黄疸は、胆道閉鎖症など、直接ビリルビン優位で、皮膚が多少暗黄色~黄橙色を呈する場合が精密検査対象となる。なお、母乳性黄疸の場合は、間接ビリルビン優位の、いわば明るい黄色であり、生理的であって、精密検査の対象とはしない。保護者に不安がある場合や、黄疸が強い場合は血清ビリルビン値を検査することもあり得よう。この際、血清ビリルビン値が20mg/dl前後であることもまれではない。肝機能・胆道系酵素の異常がない場合は、母乳を中断する必要もなく、母乳育児を継続してもよい。かつて、母乳を中断することの指導がなされたことがあるが、これは無用である。血管腫は、生後3~4か月頃まで赤く盛り上がってくる苺状血管腫、出生時より存在するポートワイン血管腫、柔軟な皮下腫瘍の海綿状血管腫がある。苺状血管腫と、前額部など体の正中部や眼瞼のポートワイン血管腫は、3歳までに80%以上が消失する。白斑はカフェオーレ斑とともに神経皮膚症候群に関係する。とくに、白斑は結節性硬化症を診断するきっかけとなる。カフェオーレ斑の多発は、家族歴を確認するとともに、神経線維腫症を診断することになる。ファロー四徴症など一部の先天性心疾患において、早期新生児期に、チアノーゼに気づかれず、生後1か月前後になって診断される例があり得る。
(3) 頭 部	小頭は、大泉門狭小、骨重合と合わせ、狭頭症(縫合の早期癒合)が問題になり得る。 また、小頭症の判断は、新生児期からの頭囲発育曲線と合わせて検討する。 頭部変形は、ATNR 姿勢による獲得性、一過性のもの〔第Ⅲ章2 (4)〕 が大半であり、頭蓋骨早期癒合症はまれである。 また、耳後部などでは、縫合線の盛り上がりが生理的に認められ、この凸 凹を心配する保護者がある。
(4) 顔 部	先天異常に関する項目が多くならざるを得ない。 生後3か月頃までは、まだ眼球の共同運動が弱く、はっきりとした斜視の 診断はできないことが多い。弱視発症の可能性から、眼瞼下垂の有無にも 注意を要する。黒目がちの目、即ち角膜径の大きい目(12mm 以上)で は先天性緑内障にも留意する。
(5) 胸 部	心雑音は、Levine I ~VIの程度と、部位を示す。
(6) 腹 部	膨満にも留意し、該当する場合は排便の様子も把握したい。 臍部の異常で遭遇するのは、臍肉芽腫と臍湿潤、出血である。局所の適切 な硝酸銀処置、肉芽腫が大きいときは結紮の対象となる。

(7) 股·外陰部 股関節は開排制限の左右差を確認する。股関節・膝関節伸展位で下肢長差 を診ることは、亜脱臼状態にある股関節を脱臼させる危惧があるので留意 したい。 奇形性の股関節脱臼は、新生児期に診断され得るが、大半の股関節脱臼は 出生後の育児環境(股関節の置かれた状態)による2次性のものである。 即ち、臼蓋形成不全への進展と2次的股関節脱臼である。 臼蓋形成不全は、その発生を予防することに育児指導・保健指導の本質が ある。出生後からの股関節開排位での育児が指導され、育児者に理解され て実践されるべきである。 なお、生後1~3か月において、ATNR 姿勢が強い新生児・乳児におい ては、顔の向かない側の股関節(顔が右を向く場合は、左股関節)が内転 位(股関節脱臼位)をとり続け、臼蓋形成不全を呈する場合がある。よっ て、新生児期に強い ATNR を呈している新生児においては、とくに上記 に留意し、股関節開排位での育児を指導する。指導に役立てたい臼蓋の発 育に良い姿勢モデルとして、「お相撲さんが土俵にしゃがんでいる(蹲踞 している) | 姿勢や、「M | 字型(英大文字 M) がある。 (8) 姿勢·運動 活動性低下、筋の低緊張、そり返り、運動過多に該当する例はまれである が、もし該当するならば、精密検査の対象になる。 活動性低下、筋の低緊張はダウン症候群などの染色体異常や代謝異常性疾 患、新生児仮死後遺症などが考えられる。一方、そり返りや運動過多も重 大な中枢神経系疾患などの可能性がある。 (9) まとめ 上記診察項目(1~8)を要約する。さらに、総合的に、健診結果を記載 する。

健診結果要約

本欄は、健診終了後、主に、保健師が討議した内容の要約を記載する。

- 赤ちゃんが股関筋脱臼にならないよう注意しましょう -

*生後の赤ちゃんの扱い方が大切です!

『股関節脱臼』は脚の付け根の関節がはずれる病気です。 その発生はまれですが(1000人に1~3人)、抱き方やおむつの 当て方など、赤ちゃんの扱い方を注意することにより、発生をさ らに減少させ、また、悪化を防止することができます 以下の1)~5)のうち、複数の項目があてはまる場合はとくに正 しい扱い方を心がけ、必ず3~4か月の健診を受けるようにしま しょう。 1) 向き癖がある 2) 女の子(男の子より多い) 3) 家族 に股関節の悪い人がいる 4) 逆子(骨盤位)で生まれた 5) 寒 い地域や時期(11月~3月)に生まれた(脚を伸ばした状態で衣 服でくるんでしまうため)

いつも顔が同じ方ばかり向いている「向き廳」は、向いている 側の反対の脚がしばしば立て膝姿勢となってしまい、これが股 関節の脱臼を誘発することがあります。

赤ちゃんの脚は、両膝と股関節が十分曲がったM字型で、外側 に開いてよく動かしているのが好ましく(図1)、立て膝姿勢を とったり、脚が内側に倒れた姿勢をとったりすると(図2)、股関 節が徐々に脱臼してくることがあるとされています

両脚がM字型に開かず伸ばされたような姿勢も同様で、要注意 とされています(図3)。

*この紙を壁に貼って、いつも注意しましょう!

- 歩き始めるまで、次の点に注意しましょう -

仰向けで寝ている時は; M字型開闢を基本に自由な運動を 両膝と股関節を曲げてM字型に開脚した状態を基本として(図1)、自 由に脚を動かせる環境をつくりましょう。両脚を外から締めつけて脚 が伸ばされるような、きついオムツや洋服はさけましょう(図3)。

抱っこは;正面抱き「コアラ抱っこ」をしましょう

赤ちゃんを正面から抱くと、両膝と股関節が曲がったM字型開脚でお 母さん(お父さん)の胸にしがみつく形になります。この正しい抱き方 は、あたかもコアラが木につかまった形であることから「コアラ抱っこ」 とも呼ばれています(図4)。同様に、両膝と股関節がM字型に曲がっ て使える「正面抱き用の抱っこひも」の使用も問題ありません(図5)。 横抱きのスリングは開脚の姿勢がとれず、また、両脚が伸ばされる危 険もあるため、注意が必要です(図6)。

向き癖がある場合は; 反対側の脚の姿勢に注意しましょう 向き癖方向と反対側の脚が立て膝姿勢にならず、外側に開脚するよ うな環境を作ってあげるよう留意しましょう。赤ちゃんには常に向き癖 の反対側から話しかける、向き癖側の頭から身体までをバスタオルや マットを利用して少し持ち上げる(図7)などの方法が提唱されていま す。それぞれの赤ちゃんに合った方法を工夫してみましょう。



(図1) 好ましい姿勢: (図2) 右への向き癖: 左脚が立て膝~ 両脚をM字型に曲げて



(図3)好ましいオムツや洋服: 開き、よく動かしている 内倒れになっている (外側がきついと脚が伸びてしまう)



(図4)コアラの姿勢とコアラ抱っこ 両脚をM字型に曲げる余裕がある 両脚が十分曲がりM字型をしている 利用したコアラ抱っこ









(図7) 右への向き癖の場合、右側の頭〜身体を少し 持ち上げて斜めにして、左脚が外側に倒れて聞くよう に工夫する。

(注:首が座るまでは必ず頭部を支えてあげましょう)

第Ⅳ章 3~4か月児健康診査票

かかりつけ医により個別に行われる。郡部町村では、集団健診の機会もあろう。

1 以下は各乳幼児健診票に共通項目である。

「健診日」「整理番号」「フリガナ」「氏名」「出生順位」「性別」「出生年月日」「保護者氏名」「住所」「電話番号」「アンケート記入者」等は〔第Ⅲ章1〕を参照されたい。

2 アンケート

項目	質問内容	質問の意義	
(1)	泣いた時や、お乳 を飲ませる時、顔 やくちびるが紫色 になることがあり ますか。	新生児期には、生理的にあり得て、比較的訴えが多い。しかし、 3~4か月になると、「はい」の回答は病的であると考えてよい。先天性心疾患や中枢神経系の先天異常などがあり得る。	
(2)	泣くとそりかえっ たり、抱きにくい ということがあり ますか。	伸展期=生後1~3か月 ・そり返りが目立つ場合 →脳性麻痺など中枢神経系の疾患の可能性があるが、多くは 生理的範囲内(発達の異変 developmental variation; early dystonia)である。躯幹を立てての屈曲位抱き(座位姿勢を抱く)が、一次指導となろうが、保護者が心配する場合や、目立つ場合は専門医の受診を勧める。 屈曲期=生後4か月 ・そりかえることが話題に上がる場合 →専門医の診察が望ましい。 そりかえりが問題になる例では、周産期病歴、頭囲や体重増加に注目したい。仮死、けいれん発作の既往や小頭、体重増加不良はそりかえりが病的であることのリスク因子となる。	
(3)	首はすわっていま すか。	生後4か月未満で「いいえ」の場合は、診察において、引き起こし反応や座位保持姿勢での頭部の安定を確認する。引き起こし反応での頸定の判断は、体幹が何度になったら頸部の軸が一直線上になるかを見ることによる。体幹が45度になった時点で、頸部の軸が一直線上に至る場合を頸定獲得(首がすわっている)とする。 生後4か月以上で「いいえ」の場合は、「頸定の遅れ」と判断する。周生期の病歴や、頭囲、筋緊張なども加味し、専門医への紹介を考慮する。	
(4)	あおむけから横向 きに半分ねがえり ますか。	寝返りの獲得には月齢幅が比較的大きく、3~4か月での運動発達遅滞の指標となりにくい。本アンケートでは、「寝返りしますか」ではなく「半分ねがえりますか」とした。前項や6~10項を含めて発達を総合的に判断する指標とする。4か月以上で「いいえ」の回答は、神経筋疾患の存在や育児状況などに留意する。	

(5)	あやすと声を出し て笑いかえします か。	4か月以上で「いいえ」の回答は、神経疾患の存在や育児状況などに留意する。特に近年、テレビ・ビデオ環境の中で生活した乳児が人の顔を見つめないことなどが問題になっている。かつ、親が子どもと見つめ合って、声を掛け合うことの大切さに気づいていない場合があるので留意する。支援が必要な場合は、家庭訪問を含めて、具体的で実施可能な方策を提案するなどの支援をする。	
(6)	あおむけで、動く ものを目で追いま すか。	大半が「はい」と回答する。「いいえ」や「わからない」の回答には、先天性白内障や眼などの眼部異常の有無、中枢性視覚障害、精神発達遅延や育児状況などに留意する。	
(7)	両手をあわせて遊 びますか。	大半が「はい」と回答する。「いいえ」や「わからない」の回答 には、神経筋疾患の存在や育児状況などに留意する。	
(8)	手・指を口にもっ ていき、なめたり しますか。	大半が「はい」と回答する。「いいえ」や「わからない」の回答には、神経筋疾患の存在や育児状況などに留意する。	
(9)	ガラガラをもたせ ると、しばらくの 間もっています か。	4か月近くになると、「はい」の回答が多くなる。 3か月過ぎでは「しばらく」ではなく「少しの間ならもっている」との判断で「いいえ」と回答する母親がいるので、「いいえ」の場合は、「まったくもたない」のか、「手に触れてすぐ落とす」のかどうかを問診で確認する。 「まったくもたない」または「手に触れてすぐ落とす」という回答例では、神経筋疾患の存在や育児状況などに留意する。	
(10)	見えないほうから 声をかけると、そち らを向きますか。	大きな音に対する驚愕反射などの原始反射が消え、聴性行動(音源を探すなど)に移行する時期であるため、今まで反応があったのに音に対する反応がなくなったと誤解する保護者もある。ただし、この年齢で音に反応が悪いと保護者が感じている場合は高度難聴のこともあるため、聴覚言語発達リスト(→p.51)を参考にして当該月齢以下の項目も満たしていない場合は聴力の精査を勧める。	
(11)	これまで病気で入 院したことがあり ますか。	問診では、出生に引き続いた未熟児センター・NICU 入院は含めないこととして修正する。家庭生活に入った後の入院歴を確認・把握する。	
(12)	治療中の病気や、 経過をみてもらっ ている病気はあり ますか。	先天異常や周生期異常の後遺症が主体であろう。 主治医との連携の様子や、困っていることなどを聞いてみたい。	
(13)	ひきつけたことが ありますか。	生後3~4か月では「はい」の回答は極めて稀である。 無熱性の「乳児けいれん」があり得る。その他、周生期に低酸素症、新生児けいれんの既往のある症例において、「てんかん」が診断され治療されているかもしれない。また、代謝異常など、先天異常により「ひきつけ」のある例があり得る。ただし、以上の例は、専門医療機関において治療指導を受けていると思われる。 「泣き入りひきつけ」は3~4か月では皆無に近い。重症の中枢神経系疾患がある例で、「泣いていてひきつける」と母親が思う例があり得る。	
(14)	予防接種は受けま したか。	ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合に関する保護者理解の確認と 適切な指導を行う。	

(15)	現在の栄養状況を 記入してくださ い。	「お乳を吐きますか」の回答が「しばしば」の場合は、体重増加曲線を把握し、診察において腹部所見などに留意する。いずれにも問題のない場合は、溢乳が考えられる。 哺乳の状況を実際に確認するなど、育児の様子について尋ねる。 1か月児健診票を参照する。〔第Ⅲ章2(1)参照〕
(16)	お子さんの昼間の 保育者は主にどな たですか。	母親による育児が多くを占め、祖母の協力が得られている例も多く、生後3~4か月は母乳栄養の継続が望ましい時期である。母をはじめ家族による育児の場合は、相談相手の有無に関しても確認したい。近年、母乳育児グループほか、育児サークルなどを通じた育児の仲間作りが展開されている。求められれば、あるいは、必要と感じたら、育児サークル等を紹介する。一方、生後3~4か月から保育所で昼間を過ごす例が増加傾向にある。この場合や、主な育児者が母親以外の場合は、母親の乳児に対する関わり方にも留意したい。子どもをかわいいと思えない母、子どもの視点に立てない母、子どもと遊べない母などが増加していることを留意してみる。
(17)	育児をしていてス トレスに感じるこ とや悩むことがよ くありますか。	「はい」、「ときどきある」場合の内容を確認し、内容に応じた 支援策を検討する。 一方、「ない」との回答にも、内容を把握する。育児をストレス に感じている母親への指導のヒントや仲間作りのヒントが得ら れるかもしれない。
(18)	育児について相談 したり、話したり する人はいます か。	
(19)	保護者同士等集まったり話したりする場やサークルに 参加していますか。	
(20)	育児をするうえで 家族や保健師、地 域に支援してほし いことがあります か。	
(21)	保護者の身体や心 の調子はいかがで すか。	
(22)	今日、相談したい こと、心配なこと がありますか。	〔 第Ⅲ章2(10)~(16)参照〕ほか、各乳幼児健診票共通項目。
(23)	妊娠中、分娩時、 新生児期の状況	母子健康手帳の記載内容を確認する。

3 計測

表紙の「乳幼児身体発育パーセンタイル曲線」の解説を参照されたい。 この時期、体重は1日20~30g程度の増加量が見られる。

4 健診結果

健康、精検、要追跡観察、観察中、助言指導、要治療、治療中を明確に示す。

健康、精検、	要追跡観察、観察中、助言指導、要治療、治療中を明確に示す。
(2) 皮 膚	〔第Ⅲ章4(2)〕
(3) 頭 部	(第Ⅲ章4(2)〕 冬季に出生した児は、日光にあたることが少なく、春になって乳児健診を受けると、頭蓋癆の徴候を得ることがある。とくに、早期産で出生した例では、クル病に留意する。[1か月児健診票 第Ⅲ章2(4)参照]頭部変形は3~4か月になると目立ってくるが、ATNR姿勢(非対称性緊張性頸反射)による獲得性、一過性のもの[第Ⅲ章2(4)参照]が大半であり、上記の季節の影響が加味されることがある。程度が強いと顔面の変形も来すが、それでも就学年齢までに目立たなくなる。頭部の変形を阻止しようとして、仰臥位でドーナツ状の枕を用いようとするが、肩より頭部が挙上するため、気道確保上好ましくなく、効果も認められないであろう。あるいは、後頭部の扁平、ゆがみを避けるべく、うつ伏せ保育をすることには、乳幼児突然死症候群(SIDS)の問題がある。SIDSは、オーストラリアにおける「母乳育児の推進」「うつぶせ保育を避けること」「乳児のいる環境から喫煙を避けること」などのキャンペーンの成果を知っておきたい。すなわち、上記の推進によりSIDSが激減した。わが国でも以上の項目に置いては、有意差が得られており、「母乳育児の推進」「うつ伏せ保育を避けること」「乳児のいる環境から喫煙を避けること」は重要である。家庭において、必要があってうつ伏せをする場合は、床面が固めで(ふっくらした布団は危険)、周囲に(衣類など)ものを置かないで保育者の目が常時届いている空間内での実施とする配慮が求められる。なお、うつ伏せ育児で、発達が促進されるかもしれないという効果については、腹臥位による育児が例えば歩行開始を早めるなどの研究データはわが国にはない。腹臥位が禁止されるわけではなく、抱き上げたり、うつ伏せにしたりなど、話しかけをし、目を見つめながら、乳児との育児の関わりが多くなるなど、多様なかかわりを通じて発達が促進されることは肯定
(4) 顔 部	されよう。 内眼角贅皮や内眼角間距離の広い場合に見られる乳児偽性内斜視を除外する。すなわち、ライトを目にあてたとき角膜の中央に光の反射が認められる場合である。〔第Ⅲ章4(4)参照〕
(7) 股・外陰部	ATNR姿勢が強い乳児においては、顔の向かない側の股関節(顔が右を向く場合は、左股関節)が臼蓋形成不全を呈する場合がある。〔第Ⅲ章4(7)〕
(8) 姿勢・運動	活動性の低下、低緊張は精密検査の対象となる。そりかえり姿勢は脳性麻痺の危険因子であるが、その多くは正常発達の変異であろう。〔第IV章2(2)〕 頸定の遅れは生後4か月を過ぎて首の座りが認められない場合をいうが、 それ以前においても程度により、追跡ないし精密検査の対象とする。 生後3~4か月になると上肢機能の左右差が散見される。ATNRの影響 とともに稀ではあるが片麻痺の例がありうる。
(9) まとめ	上記診察項目(1~8)を要約する。さらに、総合的に、健診結果を記載する。

5 健診結果要約

本欄は、健診終了後、主に、保健師が討議した内容の要約を記載する。

第V章 6~7か月児健康診査票

6~7か月児健診票は集団で健診が行われることを前提として作成。

1 以下の項目は、乳幼児健診票に共通である。

「健診日」「整理番号」「フリガナ」「氏名」「出生順位」「性別」「出生年月日」「保護者 氏名」「住所」「電話番号」「アンケート記入者」等は〔第Ⅲ章1〕を参照されたい。

2 アンケート

項目	質問内容	質問の意義		
(1)	同居の家族につい て記入してくださ い。	とくに兄姉や祖父母がいない(核家族の第1子の)場合に、母親の願い・心配の内容を確認し、具体的な育児支援の方法を提案する。		
(2)	お子さんの昼間の 保育者は主にどな たですか。	昼間の保育における保育所の割合が増している。一方、母・父・祖母・祖父など、家族による育児の場合は孤立化していないかどうかに関しても確認する。 近年、育児サークルを通じた育児の仲間作りが展開されている。 求められれば、あるいは、必要と考えられた場合には、育児サークル等を紹介する。		
(3)	これまで事故で医 療機関を受診した ことがありますか。	年齢 内容		

(4)	これまで病気で入 院したことがあり ますか。		
(5)	治療中の病気や経 過を見てもらって いる病気がありま すか。	先天異常や周産期異常に基づく後遺症など、主として慢性疾患・病態が記入されよう。 主治医との連携の様子や、困っていることなどを聞き、また、該当するようならば、福祉制度面に関しての確認も行う。	
(6)	ひきつけたことが ありますか。	新生児期のエピソードを除けば、生後6~7か月までの乳児においては、「はい」の回答は少ない。この時期、「熱性痙攣」は少なく、精密検査の対象となる。発熱時、体温上昇期における「悪寒」は、当然であるが、ひきつけ(けいれん発作)とは異なる。無熱性の「乳児けいれん」が占める割合は大きかろう。感染性下痢症による「無熱性けいれん」もあり得る。周産期に低酸素症や新生児けいれんの既往のある症例において、「てんかん」が診断され、治療されているかもしれない。その他、代謝異常など、まれな先天異常により「ひきつけ」の既往例があり得る。ただし、以上の例の多くは、専門医療機関において健康管理・育児指導を受けていると考えられる。「泣き入りひきつけ」はこの月齢はまだ少ない。診断に困る場合や、保護者が心配する例、成長発達に問題を有する例は、専門医の診察を受けるように指導する。	
(7)	食物アレルギーと いわれたことがあ りますか。	「はい」の内容として、「卵白・卵黄・大豆・牛乳」が列記されているが、医師の診断に基づく結果であるかどうかと、食物制限の状況について確認する。 素人判断で食物アレルギーと決め込み、過度な食事制限を行っていないか留意する。まれではあるが、安易な強い食事制限により、体重増加不良、貧血や発達遅滞を呈する例に遭遇し得る。	
(8)	予防接種は受けましたか。	ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、BCGの確認を行い、未接種者については、なぜ受けないのか等保護者の意向を確認し、意義に関する啓発や接種推奨を行う。	
(9)	聴力に関して心配 したことがありま すか。	「はい」では、具体的に心配する生活上の場面を尋ねる。 聴覚言語発達リスト (+) の当該月齢以下の項目を満たしていない場合は精密検査を勧める。	
(10)	視力・目つきなどで 心配したことがあ りますか。	「はい」では、具体的に心配する生活上の場面を尋ねる。問診において、異常性が疑われる場合は、診察医と連携し、精密検査を促す。 なお、乳幼児の視力は、生後3か月で0.01~0.02、生後6か月0.04~0.06、1年で0.08~0.1、2年で0.2~0.4と報告されている。	
(11)	お子さんの寝顔を 見て気持ちがなご みますか。	生後6~7か月前後は、概して笑顔の多い時期である。 「いいえ」の回答については、状況や気持ちを把握し、必要な 支援について検討する。	

(12)	現在の母乳及びミ ルクの量を記入し てください。	
(13)	離乳食の内容を具 体的に記入してく ださい。	<完全母乳・混合で母乳主体> 完全母乳育児は少ないかもしれない。母乳育児サークルの紹介 も考慮する。 <混合で人工乳主体> 母乳は栄養学的な意義ではなく、乳首を吸うことによる乳児の 安心・満足といった視点が大きい。人工乳のみの回答の場合も 含めて、母親がどのように考えて対応しているかについての話 題も持つ。 いずれの場合も、離乳食の内容、進行状況の確認を行う。離乳 食が進まないことを問題視している母親には、身体発育の確認 をし、順調ならばあせる必要のないことを説明し、離乳食講習 会など具体的な学びの機会を紹介するとともに、育児サークル など話し合える仲間・グループの紹介にも配慮する。
(14)	お子さんの今の状態について、おたず ねします。	発達アンケートである③,⑤以外の11項目で、「わからない」の回答が多い場合は、保護者側が問題を有しているとの視点で状況を確認し、必要な指導・追跡を図る。同様に「いいえ」が多い場合は、早期産児か、明らかな発達遅滞を呈している児である可能性が高い。 以下①~③の H15、H23 年度通過率を p.21 に示した。
	①首は何か月頃し っかりすわりま したか。	生後6~7か月児は、ほとんどが「頚定を獲得している」回答となる。ただし、頚定獲得時期が4か月以降である場合は、その他の発達項目の通過状況や、周産期の既往、既往歴、身体発育等に留意する。当然だが「まだ」の回答は明らかに遅滞であり、身体所見や他の発達指標と合わせ、専門医の診察を勧める。「わからない」の回答では、頚定が不完全な場合と、育児者が児の発達に無関心な場合などが考えられる。状況を把握し、必要な支援・対策を考慮する。
	②あおむけでいる 時、おしめをはず したりすると手 で足をつかみま すか。	< 屈曲期:6か月前後>(※注 参照) 大半が「はい」であり、正常児ならば、仰臥位において手で足をつかんだり、さらに足指を口にくわえたりする。ちなみに、仰臥位において手で足をつかんだ姿勢をそのまま90度引き起こすと座位獲得期の姿勢に相当する。つまり、座位獲得過程において必要な動作・姿勢であると見なせる。 (第2伸展期:7~8か月>健診時には見られなくなっているため、「いいえ」との回答があり得よう。問診において、保健師は「はい」に修正し、必要な集計も行う。 第2伸展期に入った例を除くと、「いいえ」の回答は、痙直型脳性麻痺や筋疾患など、神経筋疾患の存在が考えられる。さらに、この姿勢は可能だが、腹臥位姿勢を嫌ったり(③)、下肢を突っ張らせない(⑥)状態が、生後8か月以降に至っても続く例がある。シャッフリング児や、筋緊張低下を伴う精神遅滞児である可能性がある。

③腹ばいさせた時、 どの姿勢をして いますか。	「1」、「2」、とくに「1」は遅滞である。6か月児健診票の姿勢を示した図を参照のこと。ただし、極低出生体重児などの早産例では修正月齢を加味する。「2」であって、正常範囲内との評価が可能な例を経験することもある。
④あおむけからう つぶせに自分で 寝返ることがあ りますか。	寝返りは獲得の個人差が大きい発達指標のひとつであるが、生後6か月を過ぎれば、大半が「はい」の回答となる。「いいえ」の場合は、早産例や筋緊張低下をはじめとした神経筋疾患に留意する。他の項目が「はい」で、本項目のみ「いいえ」の例もあり得る。発達変異(developmental variation:正常発達のヴァリエーション)例である。
⑤おすわりさせた 時、どの姿勢をし ていますか。	「1」は明らかな遅滞である。精密検査の対象となる。6か月 児健診票の姿勢を示した図を参照のこと。「3」より質の高い座 位は躯幹をより伸展させて振り向くことができたりする。まれ に、他の発達指標が良いのに、座位をとろうとしない、一見「3」 の姿勢が可能に見えるが後方に転倒するなどの例がある。発達 変異と見なしうる。
⑥膝の上に立たせ ると足をつっぱ りますか。	「はい」は伸展期に入っていることを示唆する。 「いいえ」は必ずしも異常ではない。生後6か月過ぎは屈曲期 (※注参照)に相当し、足をつっぱらないことが多々ある。診 察ではつっぱらないことの程度を確認する。足底を全く着地し ない場合は、シャッフリングをするようになるなど筋緊張低下 を伴う運動発達遅滞例や精神遅滞例が相当するだろう。大半は 正常範囲内である。
⑦手を伸ばしてお もちゃをつかみ ますか。	「はい」が大半を占める。ただし、生後6か月に入って間もない場合や早産例の場合は、「いいえ」でも遅滞の判断は慎重にしたい。視覚でとらえた対象に対して手を伸ばせることは、感覚と運動の協応が成立している行動として、乳児期後半の知的発達を見るために重視したい。さらに、外界に対する乳児の興味の育ちや、おもちゃを手渡す人との関わりについても洞察できる項目である。
⑧おもちゃを振り鳴らしたり、打ちつけたりして遊ぶことがありますか。	「はい」の回答が多くを占める。「いいえ」の場合は、知的発達 遅滞、神経筋疾患の可能性を有している。 おもちゃを持った後、どのような操作をするかによって乳児の 発達が見られる。口に持っていってしゃぶることが多かった4 か月頃に対して、6か月頃から見られるこの遊びは、音が鳴る・ おもちゃが揺れる等、外界に起きた変化を知覚して、その変化 を生じさせた乳児自身の動作、振る・動かす等との結びつきを 感じ取り繰り返す遊びである。
⑨大きなおもちゃ を両手でつかみ ますか。	「はい」の回答が多くを占める。「いいえ」の場合は、知的発達 遅滞、神経筋疾患の可能性を有している。
⑩一方の手からも う一方の手にお もちゃを持ちか えますか。	「はい」の回答が多くを占める。「いいえ」の場合は、知的発達 遅滞、神経筋疾患の可能性を有している。 正午線上の胸の前で、手と手の協応動作が展開され始めたかを 見る。乳児期後半の物の操作を通して、いずれ道具の操作につ ながる手の使い方に注意。

	01251717	
	⑩あやされると声を出して笑いますか。	生後半年を過ぎると「はい」が大半を占める「いいえ」は重症 の発達遅滞例である可能性がある。
	⑩お母さんをみて、 赤ちゃんが話し かけるように声 をだしますか。	4か月頃は他者にあやされて笑い返していたのが、乳児の方から他者に働きかける意欲と積極性が育っているかを見ることで、情緒と社会性の発達をはかりたい。
	⑬後ろから名前を 呼ぶと振り向き ますか。	「はい」が大半を占める。「いいえ」の場合は、保育者側に起因する場合(保護者が話しかけていない)と、乳児側に起因する場合がある。
(15)	育児をしていてストレスに感じることや悩むことがよくありますか。 1. 楽しい82.9% 2. ときどき楽しくない16.5% 3. あまり楽しくない 0.4%	「はい」、「ときどきある」場合の内容を確認し、内容に応じた 支援策を検討する。一方、「ない」との回答にも、日々、児を抱 っこしたりして、どの位話しかけているかなどの具体的内容や 場面を把握する。 育児をストレスに感じている母親への指導のヒントや仲間作り のヒントが得られるかもしれない。
(16)	育児について相談 したり、話したりす る人はいますか。	
(17)	育児をするうえで 家族や保健師、地域 に支援してほしい ことがありますか。	
(18)	保護者の身体や心 の調子はいかがで すか。	
(19)	今日、相談したいこ と、心配なことがあ りますか。	1 か月児健診票〔第Ⅲ章 2(10)~(16)参照〕ほか、各乳幼児健 診票共通項目。 離乳食、便通、予防接種などの相談項目が多かろう。

3 問診

〔1か月児健診票の第III章2(17)〕や〔3~4か月児健診票の第IV章2(22)〕など、他の乳幼児健診と同様である。母子健康手帳に記載された情報の転記を主体とする。

(7)問診のまとめは保健師が行い、要約記載し、診察医に必要な判断を委ねる。

4 計 測

I の乳幼児身体発育パーセンタイル曲線に記入し、個々の発育状況を確認する。 母乳栄養児の場合、体重が 97 パーセンタイル以上であっても、当然であるが、将来の 肥満等問題性につながらないことを確認したい。

5 健診結果

他の乳幼児健診と同様、一貫性を持たせた様式である。〔第III章4、第IV章4〕以下、 $6\sim7$ か月児に確認したい内容を列記し、留意点について記述した。

(8) 姿勢・運動	まれではあるが、6~7か月健診が片麻痺を診断するきっかけとなる。片側のバネ指が実は脳性麻痺(痙性片麻痺)であって、この時期に見逃されていた例を2例経験している。明らかなバネ指を除き、疑わしい例は、整形外科を受診する前に、小児神経専門医の診察を勧める。麻痺側の手指を日常生活に生かせるように療育する側からすれば、いわゆる人見知りが出始めてからでは、訓練を拒否されやすい。麻痺手の過敏性が高まり、かつ、麻痺手を使わない状態での「自分」が育っているためである。生後半年までの療育開始が望ましい。
(9) まとめ	上記診察項目 $(1 \sim 8)$ を要約する。さらに、総合的に、健診結果を記載する。

6 保健師・栄養士等記入欄および健診結果要約(表面の最下段)

保健師、栄養士等による記入欄と、事後に関する項目を設けてある。 要約欄には、健診終了後に討議した内容の要約を記載する。

※注:乳児期の粗大運動発達過程において、体幹の筋肉群の中で、腹側の屈曲筋群と背側の伸展筋群が交互に優位性を示す。運動発達が頭尾側方向に発達していくことに一致している。

第1伸展期	出生後~3か月前後	伸展筋群が優位。	頚定獲得期に相当。
屈曲期	4か月~7か月前後	屈曲筋群が優位。	座位獲得期。
第2伸展期	7か月以降 (座位において体幹が 安定し、伸展するよう になる)	伸展筋群が優位。	歩行獲得。

(14)のアンケート通過率	H15	H23
	はい	はい
	(%)	(%)
①首は何か月頃しっかりすわりましたか	99.7	99.6
②あおむけでいる時、おしめをはずしたりすると手で足をつかみますか	89.0	89.4
③腹ばいさせた時、どの姿勢をしていますか		
④あおむけからうつぶせに自分で寝返ることがありますか	87.2	88.4
⑤おすわりさせた時、どの姿勢をしていますか		
⑥膝の上に立たせると足をつっぱりますか	96.8	96.9
⑦手を伸ばしておもちゃをつかみますか	98.9	99.3
⑧おもちゃを振り鳴らしたり、打ちつけたりして遊ぶことがありますか	98.6	98.3
⑨大きなおもちゃを両手でつかみますか	91.5	93.5
⑩一方の手からもう一方の手におもちゃを持ちかえますか	86.6	87.8
⑪あやされると声を出して笑いますか	99.4	99.6
⑫お母さんをみて、赤ちゃんが話しかけるように声をだしますか	99.0	98.3
⑬後ろから名前を呼ぶと振り向きますか	94.9	93.0

第Ⅵ章 9~10か月児健康診査票

かかりつけ医(家庭医)により個別に行われる。郡部町村では集団健診の機会もあろう。

1 以下の項目は、乳幼児健診票に共通である。

「健診日」「整理番号」「フリガナ」「氏名」「出生順位」「性別」「出生年月日」「保護者 氏名」「住所」「電話番号」「アンケート記入者」は、1 か月児健診票〔第Ⅲ章1〕を参照さ れたい。

2 アンケート

項目	質問内容	質問の意義
(1)	一人で座ることが できますか。	既に6か児月健診でお座りについては確認済みである。 「いいえ」や「わからない」という回答であれば、運動発達の 遅れと考えてよく、精密検査の対象となる。
(2)	はいはいをしますか。	標準としては本健診票の図1が9か月、2が8か月、3が7か月である。はいはいをせずにいきなりつたい歩きをする乳児も少なくはないので、この項目のみで明らかな遅れと判定することには慎重でありたい。しかし、2~3か月の遅れ(10か月の児が3であるなど)に対しては、注意をしておくべきである。座位姿勢や立位化の獲得状況などを加味して、二次健診あるいは精密検査の対象とすべきかどうかの評価をする。なお、生後6~7か月以降、保護者の心配で多い訴えの一つが、はいはいの姿勢、とくに下肢の左右差である。下肢の左右差が顕著な場合においても、活発に移動している児は、仰臥位姿勢・自発運動などにおいて左右差は認められない。立位化が進むと、はいはいで示した左右差は消失する。移動手段としてはいはいが実用化している例において、神経学的異常は認められず、かつ、将来的に問題を呈することはまずなかろう。保護者の心配が強いときは、股関節開排制限の有無や、他の発達項目・発達指標について確認し、必要なら二次検診での評価が可能なことを紹介する。
(3)	自分でつかまって 立ち上がります か。	標準的な9~10か月児では、この項目が「はい」と答えられている。 この項目が未通過であっても明らかな遅れと判断することは早計である。前項目においても遅れがあるならば、その後の経過を見るなり、さらに他の諸項目の通過状況などに留意し二次健診あるいは精密検査の対象とすべきである。
(4)	指で小さいものを つかみますか。	母指と示指とが対立することを、この項目では尋ねている。 指の分離は運動発達よりも知的発達の目安としての意味を持つ。(7)や(8)、(9)の項目との兼ね合いにおいて考慮することが望ましい。

(5)	耳の聞こえで心配 したことがありま すか。	「はい」の場合、具体的に聴取することが重要である。 高度難聴であっても喃語やマンマ、ブッブーなどの口唇音は出るので、これらの出現を根拠にして聴力障害を否定してはならない。 聴覚言語発表リスト (→n 54) の当該日齢以下の項目を満たし
		聴覚言語発達リスト (→p.54) の当該月齢以下の項目を満たしていない場合は精密検査を勧める。
(6)	視力・目つきで心 配したことがあり ますか。	光をまぶしがる時には、角膜などの炎症、網膜や視神経の異常などを疑う。 乳児は内斜視(乳児偽性内斜視)に見えることが多いので、斜視の判定には慎重でありたい。
(7)	動作を見てまねる ことができます か。	いわゆる「赤ちゃん芸」の有無を尋ねている項目で、知能のめばえを知るためにとても重要な項目である。 標準的な10か月児では1つや2つの赤ちゃん芸ができるようになっている。
(8)	ママ、パパなど人 のことばをまねて 言いますか。	標準的な10か月の乳児では、この項目が通過するが、この項目のみ未通過であっても、遅れとは取れない。
(9)	「いけません」と いうと、ちょっと 手をひっこめて親 の顔をみますか。	禁止命令の理解を問う項目である。 親の制止という状況の判断が出来るか否かは、言語理解力の発達を知る目安として意義深い。(4)および(7)~(9)の4項目の中で1つしか通過しない場合には、知的発達の遅れに対してリスクありと判定したほうがよいと思われる。
(10)	これまで事故で医 療機関を受診した ことがありますか。	「はい」の場合には具体的に聴取しておく。事故の既往歴があった場合、本児の後遺症よりも養育環境を把握することが主な目的となる。回数が多い場合、親の養育能力不足を疑ったり、皮膚所見等を診る必要がある。
(11)	これまで病気で入 院したことがあり ますか。	
(12)	治療中の病気や経 過をみてもらって いる病気はありま すか。	一般的な既往歴の問診である。
(13)	ひきつけたことが ありますか。	6か月を過ぎた乳児では熱性けいれんを起こし得る。 有熱時けいれんでない場合には、てんかんの可能性があるが、 ロタウイルス等による胃腸炎によってけいれん発作を来すこと も乳児ではよく知られた事実である。 (けいれん発作型などの評価は第Ⅶ章2(6)を参照のこと)
(14)	予防接種は受けましたか。	予防接種に対する関心を高め、予防接種の意義を保護者に理解 させるように指導する。 また、疑問点や不安に対しても適切なアドバイスを行う必要が ある。
(15)	現在の母乳および ミルクの量と回数 を記入して下さ い。	

(16)	離乳食の状況を記 入して下さい。	9~10か月の乳児では3回くらいの離乳食を目安とする。 離乳食の進度が思うようにいかず、焦っている母親が見受けられる。また、この時期の乳児には食欲にはムラがあることも多いし、偏食も同様である。根気よく離乳食を続けることの大切さを保護者が理解できるように指導する。	
(17)	お子さんの昼間の 保育者は主にどな たですか。		
(18)	育児について相談 したり、話したり する人はいます か。	(17)から(21)までは、保育環境に関するアンケートである。 苦痛を感じながらの子育てが心身の発育に悪影響を及ぼすこと は言を待たない。子育てを苦痛と感じる大きな原因の一つは、 母親の孤立である。核家族化、転勤族の増加がよりいっそう母 親の孤立に拍車をかけ、育児体験が乏しい母親も増えている。 地域に根付いた子育て支援の体制とその育成が必要である。自 主的な子育てサークルなども次第に定着しつつあるので、必要 と感じた例には、情報を提供する。	
(19)	母親同士等集まっ たり話したりする 場やサークルに参 加していますか。		
(20)	育児をしていてス トレスに感じるこ とや悩むことがよ くありますか。		
(21)	育児をするうえで 家族や保健師、地 域に支援してほし いことがあります か。		
(22)	今日相談したいこ と、心配なことは ありますか。	各乳幼児健診票共通項目	
(23)	保護者の身体や心 の調子はいかがで すか。		
(24)	妊娠中、分娩時、 新生児期の状況に ついてあてはまる ものに○印を、 ()内は数字、 文字を記入くださ い。	各乳幼児健診票共通である。 以前に記載された情報が利用できる場合は省略する。	

3 計 測

表紙の「乳幼児身体発育パーセンタイル曲線」の解説を参照されたい。

4 健診結果

他の乳幼児健診と同様、一貫性を持たせた形式である。

以下、9~10か月児に確認したい内容について列記し、留意点について記述した。

(3) 頭 部	この時期になれば、大泉門は閉鎖してきており、0.5 から 1.0cm 位の大きさになっていることが多い。しかし、中には 3cm くらいの大泉門が開大していることもある。このような場合でも頭蓋骨内板は閉鎖してきており、外板のみが開大しているように見えることがほとんどである。大頭を伴っていれば、それまでの頭囲の成長曲線を把握するとともに、発達状況を確認する。多くは経過を見ることで良かろうが、まれには精密検査の必要がある。
(5) 胸 部	新生児期から乳児早期までは、母親由来のホルモンの影響で乳房腫大が認められることがある。一方、その後においては、9~10か月児に限ったことではないが、乳房腫大が認められた場合には、陰毛の発現などの男性化徴候を含め、性早熟症である可能性(児本人からの異常なホルモン分泌)を疑う必要があるので、専門医へ紹介する。即ち、先天性副腎皮質過形成の可能性である。
(7) 股·外陰部	この時期の停留睾丸、陰嚢水腫、精索水腫は専門医へ紹介すべきである。
(8) 姿勢・運動	まれではあるが、6か月児健診と同様にこの時期においても、片麻痺型の脳性麻痺が健診を契機に発見されることがある。とくに、立位姿勢で踵の床へのつき具合に左右差がないかなどに留意したい。あるいは、両足のつま先立ちが心配されることがある。既に伝い歩きが獲得されている場合や、前方、左右へのホッピング反応、さらに後方へのホッピング反応が認められている場合は正常児(正常変異 normal variation)である可能性が高い。とくに、つま先の挙上を伴って後方へのホッピング反応が出現することが確認されれば、痙性麻痺の可能性はまずない。 一方、早産未熟児や仮死出生例においては、軽い痙性(極軽度の痙性対麻痺)がある場合、ホッピング反応の出現は遅く、かつ、つま先の挙上を伴う後方へのホッピング反応は認められないであろう。

5 健診結果要約

本欄は、健診終了後、主に、保健師が討議した内容の要約を記載する。

第Ⅷ章 1歳6か月児健康診査票

1歳6か月児健診は集団で行われることを前提とし、1歳6か月から2歳未満児を対象として行われる。出生数の違いなどによる地域差もあろうが、できうれば1歳6か月から1歳8か月児を対象として行われるのが望ましい。

1 以下の項目は、乳幼児健診票に共通である。

「健診日」「整理番号」「フリガナ」「氏名」「出生順位」「性別」「出生年月日」「保護者氏名」「住所」「電話番号」「アンケート記入者」は、1か月児健診票〔第Ⅲ章1〕を参照されたい。

2 アンケート

項目	質問内容	質問の意義
(1)	同居の家族につい て記入して下さ い。	
(2)	おもにお子さんを みている方はどな たですか。	
(3)	これまで病気やけ がで入院したこと がありますか。	1 歳6か月児健診票、 3 歳児健診票では、事故による「入院」の既往歴についての確認をする。乳児健診票では、事故で受診した既往歴を尋ねているが、 1 歳6か月児健診票、 3 歳児健診票では、事故による入院を対象とすることの違いに関する説明は、 $6\sim7$ か月児健診票を参照されたい。[第 V 章 2 (3)]
(4)	治療中や経過をみ てもらっている病 気やけががありま すか。	乳児健診票〔第V章 2 (5)〕と同様である。
(5)	現在、食物アレル ギーで指導や治療 を受けています か。	食物アレルギーの有無や程度、種類を把握し、栄養指導に役立てる。
(6)	ひきつけたことが ありますか。	ひきつけの大半が熱性痙攣であり、多くが 1 歳から 2 歳の間に 初回の発作をみる。欧米の統計に比べ、日本人は頻度が高く、 就学時までの累積では、出生 1,000 に対して 60 から 80 前後 (6~8%)の頻度である。 専門医の受診を勧めるのは以下の場合などである。 ○左右差の明らかな熱性痙攣。一過性の弛緩性麻痺を認めた熱性痙攣 ○1日以内(24時間以内)に、痙攣発作を繰り返した例 ○痙攣重積症の既往 ○無熱時の痙攣(下痢に伴う痙攣・泣き入りひきつけでない) ○周生期における新生児仮死・痙攣など、異常の記載がある例 ○髄膜炎など、中枢神経系疾患の既往のある例 ○発達遅滞の認められる例

(7)	予防接種は受けましたか。	予防接種に対する関心を高め、予防接種の意義を保護者に理解させるように指導する。また、疑問点や不安に対しても適切なアドバイスを行う必要がある。 本健診では、保育所などで集団生活をしている幼児も増えてくるので、流行する感染症予防の必要性を保護者に再確認してもらえるような啓発・指導が大切である。
(8)	聴力・視力・目つ きについて心配し たことがあります か。	1歳6か月健診では中等度以上の難聴を見逃すことなく精密検査に結びつけて欲しい。 言語発達が順調であるか確認し、遅れがある場合は聴力の精査を勧める。特に新生児聴覚スクリーニングで一側高度難聴と診断されている場合、言語発達が順調であることを確認する。 弱視は1歳6か月児健診までに発見したい。乳児に多かった内斜視は、この時期には減ってくる。逆に目立ってきているようであれば専門医を紹介する。とくに未熟児出生では、この時期から斜視が出現してくることも少なくない。
(9)	歩き方について心配がありますか。	<o脚> 左右の内顆をつけた状態で膝部に3横指以上の離開が認められるとき、精密検査とする。1歳6か月児健診ではO脚の訴えが多いが大半は発達性のものである。 <x脚> 左右の膝部をつけた状態で内顆に3横指以上の離開が認められるときに精密検査とする。3歳児健診ではX脚の訴えが多い。 <爪先歩行> 習癖であることがほとんどであるが、左右差があったり、つねに爪先歩行であれば専門医へ紹介する。軽い痙性麻痺がまれに診断されている。 <不安定な歩行をする場合> その手の位置に着目する。両手を挙げてバランスをとりながらの歩行は、まだ1歳前後のレベルであり経過観察を要する。 1歳6か月で、歩行開始に至っていない例が2%程度存在している。これらの児を3歳児健診で評価すると、追いついている児、言語・行動など何らかの「ちょっと気になる」児、言語面での遅滞を呈している児のおおよそ3群に分けられてくる。例えば、シャッフリング児などで追いついている例や、言語面の遅滞を呈している例などである。神経筋疾患、内分泌疾患などの除外を含め、精密検査ないし二次健診対象とするかどうかについて配慮する。</x脚></o脚>
(10)	困った癖がありますか。	多様な個性が発現する時期であり、保護者の立場からとらえた 幼児の問題行動は、幼児の側からすれば必ずしも長期的な問題 とはならない。 子育て経験の未熟な保護者の場合における危険性は、困った癖が「止めるように言っても続ける悪い子だ」など、子どもを否定的にとらえ、育児のストレス要因としていることにある。幼児の心を傷つけないような捉え方、対処の仕方を説明する。 (福)子どもの虐待防止センター (http://www.ccap.or.jp/)付:健診において、指導されて、保護者のストレスが増幅するようであってはならない。保護者の育児状況に共感し受容した上で、願いを伝え、共に子育ての方法を考える姿勢での対応が求められる。

(11)	食事に関して何か 心配があります か。	
(12)	おやつの回数、量 を決めています か。	この時期の食事量は一定していないことが多い。運動量が増えるにしたがって食事量も増え、時間的にも安定してくる。規則正しい食事の習慣を根気よく身につけさせるよう、保護者が児に働きかけることが必要である。おやつを食べ過ぎたから一回食事を抜くといったことが日常化しないように指導する。とくにおやつを主食とするような食事習慣があると、塩分の過多やミネラルやビタミン、蛋白質の不足を招き、生活習慣病予備群となりかねない。
(13)	母乳を与えていますか。	この時期、母乳の栄養学的な意義は薄れており、心理学的な意味での意義が強まる。昼間、戸外や家庭内において母子分離ができて、しっかり遊んでいる状況があれば、やがて自然な断乳(卒乳)に至る。無理な断乳を急がないようにする。一方、昼間に、母から離れず、母の乳首を求める場合に、母が子どもの要求をストレスとして感じている場合は要注意である。子どもの生活環境や母親の気持ちなどを確認する。十分満足して遊べていない幼児の不満・不安・緊張が、母の乳首を求めることになり、母親がそれをストレスに感じている場合などもある。
(14)	哺乳ビンを使って いますか。	う歯予防と母子分離確立のためには、この時期には哺乳ビンの使用を中止する。ゴム乳首をしゃぶることが習慣化している例は、う歯だけでなく、歯列不正にも関連してくる。ただし、哺乳ビンの使用中止に関する指導が、保護者を緊張させ、育児におけるストレスを増長することになっては逆効果ともなり得る。保護者との共感を維持しつつ、具体的かつ達成可能な方法論を展開していくように心掛ける。
(15)	排尿便のしつけを 始めていますか	(15)から(17)は、しつけや生活習慣に関する設問である。この時期に排尿便が自立していたり、歯磨きが習慣化していたり、早
(16)	歯磨きは大人が毎 日仕上げをしてい ますか。	寝・早起きの習慣ができていたりする例は極めて少ないはずである。しかし近い将来に獲得するように働きかけを始めておく。 しつけには時間がかかることを保護者に認識してもらうことが
(17)	朝起きる時間と夜 やすむ時間をかい てください。	この設問の願いである。ここでの指導が3歳児健診結果にも影響してくると考えてほしい。
(18)	テレビ・ DVD ・ス マートフォンは 1 日どのくらいみて いますか。	親と子が向き合って遊ぶことが、社会性、言語、情緒の発達に 必要であることを保護者に理解してもらう。 テレビを見ていなくとも、児が遊んでいる部屋でテレビがつけっぱなしであれば、保護者への注意喚起が必要である。 テレビなどの刺激により、注意が散漫になり、摂食行為自体が落ち着かなくなる危険性についても配慮しておく。この時期の子どもは食べることを通じて、保護者からの話しかけ、食べ物の色や形、匂い、歯ざわりや音などに親しむようでありたい。また、幼児はテレビ番組の良し悪しを判断できない。暴力的・人権を無視した番組に関しては、これを制限して親子で遊べる時間にしたり、そうしたシーンに接したら「怖いね、悲しいね」などの気持ちを伝えることが大切である。

でが言語発達の様子を問う設問である。 運動・社会性・言語の各3群のなかで、未通過項目が運動と社 会性では2項目、言語では3項目ある場合に、発達上のリスク ありと考える。 なお、昭和53年度、平成13年度、平成23年度の発達問診 項目通過率の比較結果を以下に示す。全体的に通過率が低下し ており、一方で通過率が上昇した項目は少なかった。発達がゆ っくりになってきているのかもしれない。今後も継続的なデー タ収集と解析が必要であろう。(②・③は平成9年度から加わっ た。⑭~⑰は平成26年度より加わったため記載なし。) 昭和53 平成13 平成23 項 Ħ 年度 年度 年度 (%) (%) (%) ①走りますか 95.2 94.8 92.4 ②10センチほどの高さ(段)を手をつ98.7 97.6 98.1 ないで上がれますか ③まねして積み木やブロックを重ねま 97.1 95.2 95.6 ④自分でスプーンを使って食べますか 98.7 96.9 96.2 ⑤動物や乗り物など簡単な絵本を読ん 97.1 91.6* 93.6 お子さんの今の状 でもらうのを好みますか 熊について、おた (19)ずねします。 ⑥家族が片づけなどをしていると一緒 95.7 96.8 95.4になって物をとったりしてくれます ⑦きょうだいや子ども同士で遊んだり 90.7 87.5 85.5 手をつなぐことはできますか ⑧マンマ、ブーブー、パパなど意味の 98.4 96.8 94.6 ある言葉を言いますか ⑨絵本を見て、動物、食物、日常のも 80.9 75.1* 72.6 のの名前をいいますか ⑩「絵本を持ってきて」などの簡単な 97.6 96.1 96.0 指示を実行しますか 74.3* 69.5 を尋ねて、耳、目、口を示しますか ⑪犬や車を見た時「ワンワンどこ?」「 88.3 ブーブーどこ?」などとたずねると 指さししますか ⑬絵や写真で「ワンワンどれ?」など -83.6 とたずねると指さししますか *; p < 0.01 χ²検定 昭和 53 年度 N=376、平成 13 年度 N=4,535~4,567

①~④までが運動発達、⑤~⑦までが社会性の発達、⑧~⑬ま

①走りますか (小走りで5メー トルくらい)	【歩き方の観察】 バランスを保ち、めったにつまづいたり転んだりせずに歩けるかどうか。転ばない。よろめかない。 (1歳2か月~1歳3か月には歩行開始しているものが75%) この時期のほとんどの子どもは走ることができる。歩き方・走り方がおかしい、転びやすい等確認する。
②10 センチほどの 高さ(段)を手 をつないで上が れますか	【粗大運動の確認】 階段をはい登る:1歳~1歳2か月 手をつないで登る(軽く手を持つと階段を登ることができる): 1歳3か月~1歳か月頃 片手を引いたら降りる:1歳6か月~1歳8か月頃 はい登る、登った経験がない場合は、できないとする。
③まねして積み木 やブロックを重 ねますか	【微細運動の確認】 約 5cm 角くらいの積み木の積み方をチェックする。親指と中指、 薬指の先の方で積み木を持ち、2 つ以上積めたらよい。「わから ない」場合は、実際にさせてみる方法もあるが、緊張から積め ない子どももいる。原則問診を重視する。
④自分でスプーン を使って食べま すか	【微細運動と自発性を確認】 この時期コップで飲むことは完成する。スプーンを持って食べたり、ストローで飲んだりするが、こぼしたり、ひっくり返したりすることがある。 スプーンで口まで運び少しでも口に入ればよい。 現在どういう食事動作をとっているか、道具を使おうとするかなどの自発性をみる。ほとんど手づかみの場合は未通過とする。
⑤動物や乗り物な ど簡単な絵本を 読んでもらうの を好みますか	【対人関係を確認】
⑥家族が片づけな どをしていると 一緒になって物 をとったりして くれますか	【対人関係を確認】
⑦きょうだいや子 ども同士で遊び ますか	【対人関係を確認】 この年齢(幼児期前半)の友達との遊びは、共同作業に発展することは少ない。お互いを見て真似しあう、何か話しかけている様子で遊んでいると判断してよい。 兄弟・友達がおらず遊ぶ環境になく「わからない」場合と保護者が見ていない「わからない」は区別する。
⑧マンマ、ブーブ ー、パパなど意 味のある言葉を 言いますか	【有意語の確認】 意味のある言葉が3つ以上出ていれば通過。「ママ」「ブーブー」「アンパンマン」等使い分けを見る。「イヤ」「バイバイ」(対象を示さない語)でも可。

⑨絵本を見て物、食物、のものの名いいますか	日常 【言語理解・有意語の確認(対象と名前の対応)】
きて」など	【言語理解、社会性・コミュニケーションの確認】 言語理解の程度を知るための項目である。親とのコミュニケーションができているかを知る項目でもある。健診会場では集中できないことがあり、興味・関心があるおもちゃ等を「持ってきて」と指示をして、できれば通過とする。 実行 <指さし> 指さしは言語獲得への課題である。 言語指示理解と指さしの発達段階 泣かないで欲しいものを指さす →「ワンワン」と言って犬を指さす →「〜はどれ」と聞かれたものを指さす
①「○○ちゃ お耳はどれ などを尋ね 耳、目、口 しますか	「中央の指さしの確認(自分で見て実任を確認する): 1 歳 0 か
②犬や車を見 「ワンワン ?」「ブー どこ?」な たずねると ししますか	どこ ブー 非言語コミュニケーションの基礎をみる項目である。 1 歳 3 か どと 月頃から応答の指さしが可能となる。
③絵や写真で ンワンどれ などとたず と指さしし か	?」 【表現物の指さし確認:1歳6か月~1歳9ヶ月)】
④目と目を見話ができま	
⑤名前を呼ば ら振り返り か	▮ かっていることが重要。

	®家族が、痛がったりした時、その人の顔を心配 そうに見ることがありますか					
	 ⑰何かに興味を持った時、指さしをして伝えようとしますか	【社会性・叙述の指さしの確認】 12か月~1歳6か月頃、何かを見つけたときに、他者に伝えたくて指さしをする。 叙述の指さしの後に共感を求め、大人の顔を見る行動等も併せて確認する。				
(20)	育児をしていてス トレスに感じるこ とや悩むことがよ	平成10年度より新設した項目である。保護者の育児に対する 感触を把握し、適切な育児支援を行うための目安として活用す ることを期待している。また虐待防止の観点からも軽視できな い項目である。 平成23年度のデータによると、平成13年度と比べ、育児を 「楽しい」と回答した人が5.1ポイント増加している。				
(20)	くありますか。	項目	平成13年度	平成23年度		
	(育児を楽しいと 思いますか)	楽しい	2,967名(70.7%)	3,574名(75.8%)		
	たv ' よ y ガー)	ときどき楽しくない	1,130名(26.9%)	1,092名(23.2%)		
		楽しくない	36名(0.9%)	23名(0.5%)		
		計	4,196名	4,715名		
(21)	育児について相談 したり、話したり する人はいます か。					
(22)	保護者同士等集まったり話したりする場やサークルに参加していますか。	(21)~(25)は各乳幼児健診票共通項目。				
(23)	育児をするうえで 家族や保健師・地 域に支援してほし いことがあります か。					
(24)	保護者の身体や心 の調子はいかがで すか。					
(25)	今日相談したいこ と、心配なことが ありますか。					

(19)と(20)のクロス集計結果

育児が「楽しい」・「ときどき楽しく	楽しい		ときど	き	楽しく	ない
ない」・「楽しくない」の保護者による			楽しく	ない		
回答別発達アンケート通過率						
(通過・「はい」の割合)						
	H13	H23	H13	H23	H13	H23
	(%)		(%)		(%)	
①走りますか	95.1	93.1	94.1	90.0	86.1*	91.3
②10センチほどの高さ (段) を手をつないで	98.3	98.0	97.6	96.5	97.2	91.3
上がれますか						
③まねして積み木やブロックを重ねますか	96.0	96.4	93.7	92.9	80.6**	100.0
④自分でスプーンを使って食べますか	97.3	96.8	96.0	94.4	86.1**	100.0
⑤動物や乗り物など簡単な絵本を読んでも	93.1	95.0	88.1	88.7	75.0**	87.0
らうのを好みますか						
⑥家族が片づけなどをしていると一緒にな	96.2	97.8	93.8	94.1	88.9**	91.3
って物をとったりしてくれますか						
⑦きょうだいや子ども同士で遊んだり、手を	88.8	87.7	85.2	79.2	52.8**	69.6
つなぐことはできますか						
⑧マンマ、ブーブー、パパなど意味のある言	97.2	95.4	95.9	92.2	91.7**	87.0
葉を言いますか						
⑨絵本を見て、動物、食物、日常のものの名	77.3	75.4	69.8	64.0	52.8**	65.2
前をいいますか						
⑩「絵本を持ってきて」などの簡単な指示を	96.7	96.9	94.9	93.2	91.7**	95.7
実行しますか						
⑪「○○ちゃんのお耳はどれ?」などを尋ね	76.5	72.2	69.1	60.9	55.6**	56.5
て、耳、目、口を示しますか						
⑫犬や車を見た時「ワンワンどこ?」「ブー	92.1	90.4	86.0	81.8	66.7**	78.3
ブーどこ?」などとたずねると指さししま						
すか						
⑬絵や写真で「ワンワンどれ?」などとたず	87.6	86.2	81.9	75.0	69.4**	73.9
ねると指さししますか						
個目と目を見てお話ができますか						
⑤名前を呼ばれたら振り返りますか ②字符が、よなかな序がったりした時、この						
(順家族が、おなかを痛がったりした時、その し、の質ない。第125に見ることがなりませ						
人の顔を心配そうに見ることがあります						
かの何かに関連な特のを時になってによってによっては、						
⑩何かに興味を持った時、指さしをして伝え よるよりませか。						
ようとしますか	<u> </u>	<u> </u>				

*; p < 0.05、**; p < 0.01 χ^2 検定

3 問診

- (1) 運動発達
- (2) 乳児健診での指摘事項
- (3) ことば
- (4) 既往歴
- (5) 生活習慣等の状況
- (6) 育てにくさ

他の乳幼児健診と同様である。

4 計 測

表紙の「乳幼児身体発育パーセンタイル曲線」の解説〔第Ⅰ章〕を参照されたい。

5 健診結果

1歳6か月児健診として特徴的な項目について解説する。

(2) 行動・受診 態度	目的があって遊びまわる場合には心配いらないが、目的が定まらずにウロウロしたり、診察医や母親の呼びかけにも関心を示さない場合には、発達上のリスクありと考える。 アンケートでは言葉を話すと母親が記入していても、診察場面でカン高い声で奇声のみを発する場合には、経過を見る必要がある。逆に異常に怖がり、母親にしがみついて離れない場合も保育環境を含めて指導する必要が
	ある。 また、人見知りの時期に相当する当健診では、聴診・触診を拒否するほど 強く啼泣する場合がある。その背景を確認し、付記したい。予防接種や感 染症などで痛かった注射のことを怖がっている幼児、眠たくてぐずってい る幼児などがいよう。 1歳6か月児健診ではそうした事例の場合、聴診・触診を省略することを 是としている。医師の診察が視診と問診で終わったと判断し、泣き止んで しまう幼児も多い。
(3) 言 語	発語は有意味語が2つ以下、言語理解は簡単な指示理解ができていない場合に言語遅滞と判定する。
(4) 頭・顔・口	頭囲においては、頻度の高いものとして大頭がある。家族性に大頭であることが多いが、まれに水頭症が見つかるので、頭囲の発育曲線を確認したい。 97%パーセンタイル(percentile)を超えていたら精密検査、97%パーセンタイルを超えていなくても頭囲増大の傾向があれば経過観察とする。
(8) 四肢・運動 機能	O脚、X脚の考え方等については、既述した。〔第Ⅶ章2〕

6 保健師・栄養士等記入欄および健診結果要約(表面の最下段)

保健師・栄養士等による記入欄と、事後に関する項目を設けてある。 要約欄には、健診終了後に討議した内容の要約を記載する。

第哑章 3歳児健康診査票

3歳児健診は集団で行われることを前提とし、3歳0か月から3歳6か月未満児を対象として行われる。

出生数の多少などの地域差があろうが、可能ならば満3歳以降3歳4か月未満児を対象と して行うことが望ましい。

1 以下の項目は、乳幼児健診票に共通である。

「健診日」「整理番号」「フリガナ」「氏名」「出生順位」「性別」「出生年月日」「保護者 氏名」「住所」「電話番号」「アンケート記入者」は、〔第Ⅲ章1〕を参照されたい。

2 アンケート

(1)から(7)までは、1歳6か月児健診と共通である。

-T C	蘇明 中央	
項目	質問内容	質問の意義
(14)	便通について心配 なことがあります か。	
(15)	歯磨きは大人が毎 日仕上げをしてい ますか。	3歳では実効力のある歯磨きをするのは困難で、う歯予防には 親が仕上げを手伝う必要がある。
(16)	お子さんのしつけ について不安があ りますか。	排泄面や食生活に関するしつけなど、身辺自立に対する親の育児意識が、近年低下してきているのではないかと懸念されている。 しつけのあり方、方法に不安を感じている親に対しては、丁寧かつ具体的な指導と同時に、指導が知識の伝達に止まらないように、ましてや「こうあるべきだ」などの押し付け・強要にならないように配慮する。 3歳児を育児している母親や家族が孤立していないかどうかを確認し、母子(育児者と児)が他の母子と出会い、ともに楽しく語らいながら親子で遊ぶ場・機会を大切にしたい。そうした場や機会の企画・紹介も必要である。
(17)	保護者に対して、 お子さんは反抗し ますか。	3歳児健診に特有の質問項目である。3歳前後の幼児は、親の指示に抵抗することで、親と異なる自分を意識し、自分の思いを表現する。多様な表現をし始めているであろう3歳児を、母親がどうとらえているかを把握し、児の表現、児の発達を楽しむ視点について話してみたい。児が反抗をしないという場合、下記の諸点に留意したい。 ○親や家族が、児に対して手を出しすぎているのではなかろうか。(過保護) ○親や家族が、児の行動を高圧的に制限しているのではなかろうか。(過干渉) ○児の発達が遅滞しているのではなかろうか。

態について、おた (18)ずねします。

①から④までが運動発達、⑤から⑦までが社会性の発達、⑧か ら⑪までが言語発達の項目である。11項目中4項目で未通過 であれば、発達上のリスクありと考える。

お子さんの今の状 | 各群の中で運動と社会性は2項目で、言語では3項目で未通過 であれば発達上のリスクありと考える。

> その他の発達評価に関する項目を含め、専門医に紹介するなど の対応をする。

> 発達問診項目通過率を以下に示す。(四~回は平成26年度より 追加したため記載なし。)

項目	昭和57	平成3	平成13	平成23
	年度	年度	年度	年度
	(%)	(%)	(%)	(%)
① 片足で2~3秒立てますか	87.8	89.7	89.1*	87.6
② 手を使わずにひとりで階段をのぼれますか				
③ まねして○を書きますか	97.2	97.5	96.9**++	95.5
④ はしを使って食事をしますか	94.0	89.5	85.8**++	84.7
⑤ おもちゃのおかたづけができますか	89.7	89.8	92.7**	
⑥ ひとりでパンツがはけますか	97.0	96.4	95.4	95.1
⑦ 尿意がわかってひとりでおしっこに行きま	90.0	80.2	71.2**++	62.0
すか				
⑧ 自分の名前(姓も、名前も)を言えますか	94.0	92.6	90.4**+	91.3
⑨ 犬や猫などの動物を見て、その名前が言え	-	-	-	98.2
ますか (H19年度~)				
⑩ 友だちの名前を呼びますか	97.0	97.6	96.2*+	95.6
⑪ 赤、青、緑、黄色のうち3つの色がわかりま	73.5	74.8	81.6**++	82.9
すか				

昭和 57年度 —平成 13年度 *; p < 0.05、 **; p < 0.01 χ^2 検定 平成 3年度 -平成13年度 +; p < 0.05、 ++; p < 0.01 χ^2 検定

①片足で2~3秒 立てますか

【粗大運動の確認】

軸足が極端に動く場合は不可(未通過)、着替えの際つかまるこ となく片足が上げられる場合は可。

【粗大運動の確認】

②手を使わずにひ とりで階段をの ぼれますか

階段をどこにもつかまらず交互に足を出して登ったり、両足を 揃えて飛び降りたり、走ったりすることができるようになる。 ただし、傾斜が急なものや段差の大きい階段は除く。

降りる時は手を使っても良い。

(確認)

どのように階段を登るか、両足をそろえピョンピョン跳びがで きるか

【精神発達・微細運動の確認】

書きますか

③まねをして○を 大きさや形に関わらず、閉じた○が書ければ良い。 (確認)

> スプーンでこぼさずに食べられるか ボタンがかけられるか、積木を4つ以上積めるか

_	を使って食 しますか	【微細運動の確認】 はしがうまく使えなくても、はしを使って食べ物をつまむ事が出来れば通過。どういう使い方をしているか確認し「握り箸」等状況を記載する。かき込んで食べる場合は未通過。(確認) ボタンかけ、はさみの使用、蛇口をひねる、キャップを開ける、折り紙を折る
_	ちゃのおか けができま	【社会性の発達の確認】 大人や友達の手伝いが出来るようになり、身辺自立が周囲の助 けを借りながら自分でできるようになる。 声かけをすればできる場合は通過。
_	りでパンツ けますか	【社会性の発達・生活習慣自立の確認】 日常生活習慣の自立性を養っていく時期。好奇心旺盛でなんで も1人でやりたがる自我の発達を確認する。
⑦おし しま	っこを予告 すか	【社会性の発達・生活習慣自立の確認】 尿便意の予告(1 歳 6 ϕ 月~ 2 歳 6 ϕ 月頃) 排泄のために身体的機能が整う時期(膀胱容量が大きくなり、排尿感覚が定まる。) 昼間の排尿については、告知が出来るようになる時期だが、夜 尿はよくみられる。排便後の後始末はまだ十分にはできない。何でも自分でしたがる好奇心旺盛な時期であり、 1 人でおしっこにいけるようになる時期であるため、 1 人でいくか確認する。
も、 言え	名前も)を ますか	【社会性・言語・認知の確認】 発音が不明瞭だったり、赤ちゃん言葉であっても、性と名前 が言えれば通過。
物の	猫などの動 絵を見て、 名前を言え か	【社会性・言語・認知の確認】 言語の中で「呼称」という能力を知る項目。 目安として、4種類以上の動物の呼称とする。
0 - 1	ちの名前を ますか	【社会性・言語・認知の確認】 身近な人の姓名、性別も言えるようになる。 友達の存在を意識し、自分と相手との領域を見分ける力がついてくる時期である。 友達以外に兄弟姉妹でも可。友達や兄弟姉妹がいない場合は「わからない」となる。家庭や周囲の環境を確認する。
色の	青、緑、黄 うち3色が りますか	【社会性・言語・認知の確認】 色の名称が言葉で答えられれば通過。指さしで示せる場合や「レッド」「ブルー」の回答も可。「わからない」の場合、「教えていない」と回答する場合もあるため、その旨を健診票に付記する。
	い・小さい かりますか	【認知の確認】 言語発達の過程で、事物や人物の命名を獲得した後、さらに表象機能が発達するにともなって、イメージをつなげることに興味を持つようになる(物をいくつも並べて遊ぶ、水たまりを渡って歩く等)。物と物との間にある関係、「同じー違う」「いっぱ
	・短いがわ ますか	い」等に気づきはじめ、その延長に「大小」「長短」の概念が成立しはじめる。その過程を踏まえ、保護者がアンケートで「区別がつく」と判断した子どもの行動について聞き取りたい。「大きい声で」と言うと返事が大きくなる等。

④ままごとで役を 演じることがで きますか	【言語・行動確認】 3歳児は友達と遊ぶことに興味を持ち、会話が可能となる。 「木の葉をお皿にして使う」等の物の見立てや、「料理を食べる 手振りをする」等の行為の振りから、ごっこ遊びでは子どもの 表象機能の発達を見ることができる。さらに、3歳近くになる と、「お母さん役になる」等、役になりきる心理が芽生え、「役 割」を通して対人関係の表象が成立することによって、友達と の間にテーマを共有し、遊びのストーリーを作り出すようにな る。 役割をもった遊びができれば通過。 (確認) 普段だれとあそんでいるか、どんな遊びをしているか 集団生活の有無、集団の中での様子
⑮とても乱暴で困 ることはありま すか	【行動観察、母の困り感】 子どもに乱暴な行動が注目されるようになるのは3歳頃からである。注意されたことが守られず、何度も同じことを繰り返し、気に入らないとかんしゃくを起こすなどの衝動性をみる。パニックの原因としては、過去の不快な感情体験の想起によることがあるので、一件何の理由もなく突然に暴れることがある。言語的な表現が困難なために、直接行動に出してしまうこともある。
®極端に落ち着かず、集中ができなくて困ることがありますか	行動の目的が周りの人に理解出来ないような動き方で、しかも 絶えず目まぐるしく動き回ることを「多動」と考える。相手の 言うことをきかず、物を投げたり壊したり、相手を叩いたりす ることもある。 家庭環境要因⇒家庭内の問題や保護者の関わり方により情緒 不安定になっている場合がある。 発達要因⇒行動抑制が求められる場面で、あるく・走り回る・ 高いところによじ登る等の行動が顕著になる
	【行動確認】 親や兄弟、親しい大人等と一緒にいる時は落ち着いて過ごすことができるが集団の中で過ごすと不安定になったり、ちょっとしたきっかけで泣いたり、パニックになる。「怖い」「できない」等恐怖を感じる表情を示し逃避行動を起こす。分離不安のように分離という刺激やきっかけが何もないのに漠然とした不安感情が起こるのが不安障害である。 感覚の過敏性、相手の気持ちや場面の見通しがわからない等により、大きな不安や恐怖を感じていることがある。 (確認) どういう状況で不安や恐怖を感じているか等
以上の問診を行う場	合には、色や大小のわかる絵本を適宜用いることが望ましい。

平成10年度より新設した項目である。保護者の育児に対する 感触を把握し、適切な育児支援を行うための目安として活用す ることを期待している。また虐待防止の観点からも軽視できな い項目である。

平成13年度に行われた3歳児健診データ(鳥取県全体)からは、育児が楽しめていない保護者は1.4%であった。

育児をしていてストレスに感じることや悩むことがよくありますか (育児を楽しいと思いますか)

項目	平成13年度	平成23年度			
楽しい	3,052名(58.4%)	3,178名(68.1%)			
ときどき楽しくない	2,104名(40.3%)	1,397名(29.9%)			
楽しくない	71名(1.4%)	62名(1.3%)			
計	5,227名	4,637名			

(19)と(20)のクロス集計結果を以下に示す。

育児が「楽しい」と答えた保護者の子どもに比べて、「ときどき楽しくない」、「楽しくない」と答えた保護者の子どもでは、すべての発達問診項目で通過率が不良という結果であった。 1歳6ヶ月児健診結果と同じく、育児が楽しめていないために子どもへのかかわりが少なくて発達が遅いのか、もともと子どもに発達の遅れがあるために心配が重なって、育児が楽しめていないのか、その因果関係までは推測できない。しかし、保護者が「楽しくない」と答えていた場合には、子どもの発達を含めて、保護者から出された何らかのサインであると受け止め、保健指導を行うことが重要であろう。

(19)

育児が「楽しい」・「ときどき楽しくない」・「	楽しい		ときどき		楽しくない	
楽しくない」の保護者による回答別各発達ア			楽しくフ	ない		
ンケート通過率(通過・「はい」の場合)						
	H13	H23	H13	H23	H13	H23
	(%)		(%)		(%)	
①片足で2~3秒立てますか	91.4	89.7	86.8	84.5	70.4**	77.4
②手を使わずにひとりで階段をのぼれますか						
③まねして○を書きますか	97.6	96.5	96.2	94.8	93.0**	91.9
④はしを使って食事をしますか	87.0	85.7	84.3	83.8	87.3*	80.6
⑤おもちゃのおかたづけができますか	95.8	96.5	88.5	93.3	81.7**8	88.7
⑥ひとりでパンツをはけますか	96.9	95.8	93.7	94.6	7.3**	98.4
⑦尿意がわかってひとりでおしっこに行きま	74.0	65.0	68.1	56.5	49.3**	59.7
すか						
⑧自分の名前(姓も、名前も)を言えますか	91.6	92.0	89.5	90.9	81.7**	91.9
⑨犬や猫などの動物を見て、その名前が言え	-	98.6	-	94.3	-	98.4
ますか (H19年度~)						
⑩友達の名前を呼びますか	96.8	96.8	95.7	94.3	90.1**	91.9
⑪赤、青、緑、黄色のうち3つの色がわかり	84.0	84.5	78.7	80.4	67.7**	83.9
ますか						

*; p < 0.05、 **; p < 0.01 χ^2 検定

(20)	育児について相談 したり、話したり する人はいますか	
(21)	保護者同士等集まったり話したりする場やサークルに 参加していますか	
(22)	育児をするうえで 家族や保健師・地 域に支援してほし いことがあります か	(20)~(24)は各乳幼児健診票共通項目。
(23)	保護者の身体や心 の調子はいかがで すか	
(24)	今日相談したいこ と、心配なことが ありますか	

3 問診

3歳児健診に特有の項目として、以下のものがある。

(2) 1 歳 6 か月 児健診での 指導要項	1歳6か月児健診での指導内容が改善されているか、あるいは継続して残っているか把握し、診察結果や指導に加味する。
(3) 既往歴	より具体的な流行性感染症を尋ねるよう配慮してある。
(4) ことば	保護者の主訴でもっとも多いのが言葉に関するものである。 どの程度の言葉を話すことができるのかを問診にて把握し、健診票に記載 したい。 医師診察・結果判定の参考にする。
(5) 行 動	短時間の診察においては、行動観察・評価は困難である。母親からの情報を問診にて把握し、診察結果に加味する必要があると考えて、問診項目に取り入れた。 多くの児が集団保育を間近に控えている。過剰な落ち着きのなさが原因で集団に適応できない幼児をしばしば経験する。そして3歳児健診ではしばしば、この問題が的確に把握されていなかったという検討結果がある。親や友達と遊ぶことをあまり好まず、自分の好きな遊びばかり熱中する幼児も少なくない。このような幼児は、集団に入っても人間関係を形成することが苦手であるなど、発達上の問題を呈することがある。少子化社会において、増加が危惧される。
(6)「子育てをしている時"育 てにくさ"を 感じたことは ありました か」	自分の子どもが「落ち着きがない」、「かんしゃくが多い」、「指示がはいりにくい」のいずれかの事由に該当するために、育てにくいと感じている保護者では、子どもに発達障害が認められることがある。育児困難感は保護者の過剰なストレスや抑うつ状態、ひいては虐待を誘発しうるので、この問診により保護者の育児困難感に気づくような配慮をする。

4 検 尿

平成9年度から、尿糖、尿蛋白以外に、尿潜血、白血球反応、亜硝酸塩の3項目が追加された。腎炎、ネフローゼ以外に腎尿路奇形のスクリーニングに必要と考えられるからである。上記の5項目を完全に実施するには、健診を実施する側に判定技術等の問題点が残されている。問題点が解決次第、検尿項目としてこれらの追加項目も実施されることが望ましい。正常はすべて(一)である。

尚、検尿項目の亜硝酸塩は、その後の検討で、陽性頻度が低く、さらに陽性例の異常頻度も低いため、平成14年度からは標準項目からは除外された。また、白血球は、疑陽性が多いため、平成26年度から除外された。

従って、平成14年度以降、3歳児検尿の標準項目は4項目となり、平成26年度からは3項目となった。

糖以外の項目では、(+)以上または(±)が2項目以上あれば、健診を実施した市町村において再検査し、再度異常があった場合に専門医療機関を受診する。

糖(±)以上の場合に再検査とし、再度異常があった場合に専門医療機関を受診とする。 蛋白尿(±)以上の場合は、尿検体が「早朝第一尿」か、「随時尿」であるかをメモして おきたい。

検尿の提出が遅れた場合には保健師が判定をして、異常があれば再検査にまわす。

付1:現在の検尿の判定は目視であるために、個人差を排除することができない。将来的 には医療機器による客観的な判定方法が望ましい。

付2:平成12年度、尿検査の取扱いについて見直しが行われ、同年9月から上記の取扱 いとなった。

5 視力健診

家庭で簡単な視力検査とアンケートを行い、健診当日に持参する方式で、絵視標がいくつ見えたかにより判定する。家庭での視力検査は保護者による検査であり、時に正しいやり方で実施されない場合があるので、保護者に正しい視力検査の必要性・方法を周知することが必要である。

再検査は、遅くとも3歳6か月までに終えたい。この時点で再検査での確認ができない 例は、眼科受診を促す。

(1) 絵視標を使った検査の結果(見えた絵視票の数)

両眼とも3つ以上 正常 0.5以上の視力があると考えられる 片眼が2つ以下 精密 片眼の弱視が考えられる 両眼とも2つ以下 再検査ないし精密(検査が確実である場合は精密)

(2) 検査がうまくできなかった場合

まだ難しい・遊んでいて出来ない

・・・発達遅滞等があるか検査不能な場合は中止。他は再検査

目隠しをいやがる・・・・保護者の手や、かわいい目隠し等工夫して再検査 明らかな左右差があれば、精密

近づいて見ようとする・・検査のルールが理解できない場合は再検査とする 再検査でも同様か、左右差がある場合には精密

(3) その他のアンケート項目

家族に目の悪い人がいる 保護者が心配しているときは精密

(まれに遺伝性の強度屈折異常や水晶体異常がある)

その他、省略(保護者の心配と診察所見、他の項目を合わせ、説明・方針決定) 精査票を出す場合は「念のため」を強調して出す。

6 聴力健診

アンケート及び保護者による"ささやき声検査"を行い、健診当日に持参する方式である。(→ささやき声検査の方法は p.44 参照)

アンケートとささやき声検査を総合して方針を決定することになるが、保護者が聞こえ にくいのではないかと心配している場合は精密検査としたい。

アンケート(平成19年度変更)の5,6,7に「はい」、またはささやき声検査で2つ以上「 \times 」の場合は精密検査を勧める。

*保護者による検査で2つ以上「 \times 」の場合は健診の場でもう一度保健師が行い、やはり2つ以上「 \times 」であった場合に精密検査とする。静かな部屋が確保できないなどの理由で健診会場での再検査が行えない場合は以下の \bigcirc の項目を問診し、これらのいずれの項目の反応もない場合は精密検査とする。3歳0か月の子どもは検査のやり方が理解できないため不通過となる場合もある。この場合、保護者が聞こえにくいと感じているかを尋ね、以下の項目を参考にする。

- ○TV、CMなどで好きな番組が始まると音に気づいて顔を上げる、または隣の部屋から来るなどの反応がある。
- ○お菓子の袋を開ける音、電子レンジの音などに気づく。
- ○玄関の開いた音に気づく。

上記○の項目の反応が明瞭である場合は難聴の心配はあまりない。

7 計 測

3歳児健診票には3歳から3歳6か月、3歳6か月から4歳までの2段階で、各々97、90、10、3パーセンタイル値を示してある。

身長が3パーセンタイル値以下である場合と、10~3パーセンタイル値の範囲内であっても経過の中で伸びが鈍くなっている場合には、経過を観察するか専門医を紹介する。 ごくまれではあるが、身長の伸びが大きい場合には、二次性徴の有無にも配慮する。副 腎皮質過形成症診断のきっかけになり得る。

8 健診結果、診察

本項目は1歳6か月児健診票と同じである。3歳児において留意すべき諸点を以下に示す。

(2) 行動・受診 態度

多動にみえる3歳児は多い。問題と判断する目安として「おもちゃなどが置かれてある診察室から出ようとする」、「再三の促しにも耳を貸そうとせず、診察に協力できない」「親の顔色をうかがうことなく動き回る」、「親に抱かれようと擦り寄ることがない」などが挙げられよう。

問診からの情報にも重きをおきたい。視線が合いにくい場合、自閉症が 疑われる。自閉症では言語の遅れがあったり、物事の順序に対するこだ わりや興味の偏りを伴うことが多い。視線が合いにくいだけの場合、自 閉傾向の判定は慎重に行う。

(3) 言語

<有意味語>

発語が単語レベルであり、「ジュース 飲む」など2語文が出ていない場合は明らかな遅れである。「ジュースを飲む」など、助詞は必ずしも出ていなくてもよい。言語理解はよいが、単語レベルであるなど、発語だけが遅れている場合も少なくない。多くは4歳までに発語がキャッチアップしてくるのだが、3歳の時点では追いつくのか遅滞が続くのかに関する確証はない。経過観察とすべきであろう。

<構音障害>

いわゆる赤ちゃん言葉が残っているものを指し示しているのではない。言葉全体の明瞭度が悪く、親以外のものには聞き取りにくい程度が認められる場合に構音障害と判定し経過を観察するが、他の発達評価に関する諸項目、滲出性中耳炎による難聴の可能性の有無〔7項〕を含め、精密検査とする。

<環境と言語発達>

日本語を母国語としない母親の日本語習得が不十分で、複数の言語環境に置かれている幼児が存在する。このような幼児では、とくに男児において、言語発達が遅れる可能性が高い。保護者が意図してバイリンガルに育てようとしているのでなければ、育児に際して母親が日本語を使用するように指導することが必要となる。もちろん、母親の日本語習得を手助けする手段も講じなければならない。文化の違いのためか、健診で指導を受けるのに抵抗する例もあるので、込み入った説明や指導に際しては、父親の同席を求めるなどの配慮が必要である。環境性の言語発達の遅れであれば、集団保育を早めに促すのも一つの方法である。

(7) 眼・耳

視力異常、斜視、難聴では3歳児健診が最後の砦である。万が一にも見逃さないよう注意深く診察、評価することが必要である。

視力異常はテレビを近くで見る、目を細めてみるなどの問診情報が評価に 有用である。

斜視は、正面からペンライトを児に注視させ、ライトの反射点が瞳孔より明らかに外れている場合に斜視とする。初めて指摘された場合は精密検査とし、専門医を紹介する。

この他、頭を傾斜してみる、頭を回転してみる、顎を上下させてみるなど が斜視の存在を示すサインとなることがある。保護者の同意を得、かかり つけ医、保健師などでの経過観察を決める。

3歳児健診では中等度から軽度難聴を検出するよう留意してほしい。軽度 難聴であっても、何らかの言葉の遅れ(助詞がつかない、サ行の発音の誤 りなど)をきたしており、小さい音には気づかない、聞き返しが多いなど の点に保護者が気づいていることが多い。滲出性中耳炎などの疾患が多く なってくる年齢であるが、そういった子どもは扁桃・アデノイド肥大など のリスク因子があるか、あるいは中耳炎を反復して何回も鼓膜切開を受け ているなどの既往があることが多い。6の判定基準に従って精密検査を勧 めてほしい。

[ささやき声検査の方法]

この検査は声の大きさが大切です。また、TVなどは消して 静かなところで行ってください。

のどほとけ

* 喉 仏 の所に手を当てて"アー"と声を出してみて下さい。

ないしょばなし

手に振動が伝わりますね。今度は内緒話をするときの声で"アー"と言ってみると、

ないしょばなし

今度は振動が伝わりませんね。この内緒話をするときの声で検査してください。

- 1)子どもと親がテーブルをはさんで、1mくらい離れて向かい会います。
- 2) まず、子どもに同封の絵シートを見せながら「イヌ」「カサ」など絵シートの 6 通りの呼び方を教え、それぞれの絵の単語を子どもが知っていることを確認します。
- 3) 親は口元を手で隠して、「今度はヒソヒソ声で言うから、どの絵か当ててネ」と言って、「いぬ」とささやき声でたずねます。
- 4) 子どもが聞き取れた場合には「○」を、聞き取れなかった場合には「×」を別紙に 記入してください。

第12章 5歲児健康診査票

1 はじめに

鳥取県で広く5歳児健診あるいは5歳児発達相談が行われている背景には、3歳児健診まではとくに問題が指摘されなかったにもかかわらず、保育所や幼稚園で集団生活を行うようになって、保育士や幼稚園教諭から落ち着きがない、指示が入りにくい、集団行動がとれないなどを指摘される幼児の存在が挙げられるだろう。運動発達や言語発達が良好な場合、落ち着きがない、友達と上手に関われないといった行動を、3歳段階および3歳児集団健診で指摘するには限界がある。それは見落としているのではなく、集団生活をする年齢にならないと適切に指摘できない大脳発達段階に起因した問題だからである。保育士や幼稚園教諭がこうした問題行動に気づいて、保護者に投げかけても「3歳児健診では何も言われなかった」という言葉が返ってくるだけであり、保護者に気づきのないままに就学を迎えるという事態となっていた。ここに5歳児健診の潜在的ニーズがあった。

したがって、5歳児健診や5歳児発達相談では、集団生活を行う上で認められる問題行動に焦点を当てることが重点課題であり、主として社会性の発達と自己統制力の発達などを診ることになる。運動発達や言語発達が良好であるにもかかわらず、「ちょっと気になる」行動として、保育士や幼稚園教諭、保健師が掲げたものを以下に列挙しておく。これらに対するアドバイスに関しては、平成13年度厚生科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)「ADHD, LD, 高機能自閉症児の保健指導手引きに関する研究」で作成された手引書を参照して欲しい。

- ① 言葉の問題(会話になりにくい、しゃべりすぎる。)
- ② かんしゃくを起こしやすい
- ③ 落ち着きがない
- ④ 友達に乱暴をする
- ⑤ 言うことを聞かない、指示が入りにくい
- ⑥ こだわりが強い
- ⑦ 一人遊びが多く、友達と遊べない
- ⑧ 不安が強く、場馴れが悪い
- ⑨ 呼んでも無視をする
- ① 不器用である
- ⑪ 親から離れられない、逆に親がいなくても平気
- ⑩ 偏食がひどい

2 アンケート

(1)から(20)までは、3歳児健診のものと同等である。

項目	質問内容	質問の意義
(21)	目が悪いという心 配はありますか	すでに3歳児健診で視力検査を行っているが、不同視(視力の左右差)がある場合には、その進行が懸念される。通常では視力の低い眼球側に斜位(潜伏斜視)が現れるが、斜位が現れないこともある。この場合には発見が遅れて、片眼弱視となる心配がある。可能であるならば、5歳児健診において、必ず片眼を遮蔽した精度の高い視力検査を行いたい。
(22)	耳の聞こえが悪い という心配はあり ますか	視力と同様に3歳児健診で聴力検査を行っているが、軽度難聴 や高音急墜型難聴などの特殊な聴力障害はわかりにくい。 就学前まで両側の中程度難聴が見逃される場合もあるので、可 能であるならば、5歳児健診において指こすり検査などにより、 聴力を確認しておくとよい。(→指こすり検査の方法は p.53 参 照)
(23)	利き手はどちらで すか	5歳であれば、利き手が決まっているが、中には両手利きの幼 児も存在する。両手利きはとくに病的なものではない。
(24)	しつけについて不 安はありますか	3歳児健診と同じである。
(25)	子育ては楽しいで すか	1歳6か月児健診、3歳児健診と同じである
(26)	今の状態につい て、はい、いいえ、 不明に○をつけて ください	5歳児健診に特有な発達問診項目を作成している。1歳6か月児健診、3歳児健診と同様に①~④が運動発達に関する項目、⑤~⑧が社会性発達に関する項目、⑨~⑫が言語発達に関する項目となっている。旧大山町、江府町で行われた5歳児健診から得られた通過率を以下に示す。
	ている。旧大山町、 対象年齢は5歳0か	がる 92.4 シができる 98.2 四角が書ける 96.7 ごきる 97.8 はずしができる 99.4 98.4 をびに行ける 74.0 参敗が分かる 98.4 ためる 93.6 りしている 92.0

	上記の集団から得られた累積通過率をみると、通過数が7項目以下であるものは 2.2%、9項目以下であるものは 12.0%であった。通過数が7項目以下であった幼児 は、医療機関での診察の結果、全例で何らかの発達障害に該当すると診断されていた。						
	以上より、通過数が7項目以下である場合には、医療機関や療育機関の受診を強めるべきであろう。また、9項目以下の場合には発達障害を疑って、受診を勧め どの具体的な方針を立てるべきであろうと思われる。						
(27)	心配ごと、相談し たいことがありま すか	各乳幼児健診と同等である。旧大山町、江府町の5歳児健診データによると37.8%の保護者が、「ある」に〇をしていた。多くは、子育て上の心配事であった。					

3 診察のポイント

5歳児健診は、本邦においてもほとんど実施されていない。そこで、以下に5歳児を診るポイントと手順を記載しておく。各市町村では、こうした診察内容を参考として欲しい。

1) 5歳児診察項目

項目	異常所見	意 義
①会話	会話が成立しにくい(答えがずれる)	言語発達 対人性の発達
追想能力	時間のオリエンテーションができていない。 概論的な答えができない(具体的な答えをしすぎる)	言語理解力 時系列の意識 状況判断力 対人性
発音	構音の不明瞭さがある(聞き返しが必要な程度)	構音障害
物の用途 (5歳児)	答えられない、間違う。	言語理解力
比較概念 (4~5歳児)	大小、冷熱、寒暖、硬軟といった比較概念が言語として理解できない。(物の用途成績が不良な場合に行う)	言語理解力 (概念)
左右のシンタックス(6歳以上)	非日常的な構文の理解ができない	文章構成力 理解力 集中力
②動作模倣	動作自体ができない、指示が入りにくい	診察への 協力性 模倣行動
両手をまっすぐに 挙げる	上肢の運動機能に異常がある。模倣しない	
手指のタッピング	安静側の指にミラー運動が出現する	器用さ
前腕の回内回外	全く動きができない	器用さ
手の交互開閉	グー、パーを交互同時に開く事ができない	運動企画力

3/	ドランス		巧緻運動発達
	立位	動いてしまう	小脳の発達
	閉眼立位	体幹の動揺が著しい	•
	片足立ち	体幹の動揺が著しく、3秒不可能	
4界	眼	20秒できない、もしくは自己刺激行動が著しい	情緒の安定さ
⑤知	中的機能		
	ジャンケン勝負	勝ち負けが不正確である	知能の発達
	しりとり遊び	しりとりができない(3往復くらい)	音韻の意識
6 請	字	二文字単語が読めない(いぬ、さる、うし)	音韻と視覚認 知

2) 5歲児診察手順

会話をする

- ・ 名前、所属の保育所・幼稚園、その組の名称、担任教諭や保育士の名前を尋ねる。
- ・朝食に何を食べたかを尋ねる。
- ・ 保育所・幼稚園の給食で一番おいしいと思うものを尋ねる。
- ・ 母親の手料理で何が一番おいしいと思っているかを尋ねる。
- ・ その料理について、保育所のものと母親のものとどちらがおいしいか尋ねる。
- ・ 保育所・幼稚園で誰とよく遊ぶか、その遊びはどんなものであるかを尋ねる。

以上により診察項目の「オリエンテーション」「追想能力」「概観能力」「共感性」「発音」 「会話自体の成立」がチェックできる。

② 動作模倣

- ・ 模倣;手を横にあげる、手を上げる、手を前に
- ・ バランス: 閉眼起立、片足立ち(左右)
- ・ 指のタッピング
- ・ 前腕の回内、回外
- ・ 左右手の交互開閉(左右の手で異なるようにグーとパーを交互にだす)

以上により診察項目の「動作模倣」「協調運動」「指示の入りやすさ」がチェックできる。

- ③ 物の用途をきく(靴、帽子、お箸、本、時計)
- ・ 靴ってなにするものかな?
- ・ 帽子ってなにするものかな?
- お箸ってなにするものかな?

- 本ってなにするものかな?
- 時計ってなにするものかな?

以上により単語の理解度を推し量ることができ、「言語発達」「知的発達」がチェックできる。「時計」の質問以外は同じ難易度である。

④ 比較概念を聴く

- お父さんは大きい、赤ちゃんは?
- ・ お湯は熱い、氷は?
- 夏は暑い、冬は?
- ・ 石は固い、タオルは?
- お耳はいくつ?

この項目は、比較の概念を見るもので、基本的には4歳代の幼児を対象としている。前項の「物の用途」が不充分である場合に行う。「石」の質問の通過率がやや悪い。

⑤ 左右の確認

- 右手をあげてください。
- 左手をあげてください。

⑥ 左右のシンタックス(syntax 構文)

- ・ 右手で右目を隠してください。
- 左手で左耳をつまんでください。
- ・ 右手で左目を隠してください。
- 左手で右耳をつまんでください。

以上2つの項目は左右弁別と非日常的な構文の理解度を推し量る項目となっている。とくに構文の質問は基準年齢が6歳以上なので、とくに必須の診察項目ではないが、地域によっては5歳児健診に5歳11か月児が受診するため、参考用として記載した。

⑦ ジャンケン勝負、しりとりをする

ジャンケン勝負理解は90%の5歳代の幼児が可能である。しりとりは約70%の児が可能である。両方ともできない場合は、発達の遅れがあることを念頭に置くべきである。

⑧ 閉眼について調べる

- 手をひざに置かせて、よーいはじめの号令にて眼を閉じさせる。
- ・ 指示例「手はおひざにポン。先生の眼をよく見て。これから先生がいいよ というまで目を開けちゃあダメだよ。がんばれるかな? じゃあ、よーい はじめ」

たいていの5歳児は20秒間、閉眼が可能である。途中で開けてしまったり、手をもぞ

もぞ、動かしたり、体を揺すったり、という自己刺激行動が目立つ場合には、「行動統制力」が弱いと判断する。

以上の診察を通して、指示の入りやすさや理解の程度も観察しておく。

⑨ 母親に対して、「変わったくせ」がないか、「思いつくとやらずにはいられないか」などを尋ねる。

例えば

- a) テレビの場面やコマーシャルを極端に怖がったり、あるいは逆に極端に好んだり する。(例; 天気予報が大好きで一日に何回も見るなど)
- b) 狭いところでブツブツいいながら一人あそびを好む。
- c) 数字や平仮名が、とても早い時期から読める。 (「しりとり」ができるよりも相当早くから)
- d) 親に対してもとても丁寧な言葉を使う。
- e) 方言を使うことが少ない。
- f) 目の前にいる相手の気にしていることを平気で指摘したりする。
- g) 初めてあった大人でも、ものおじせず話しかける。
- h) 目の前にあるものに触らずにはいられない、といったことがよくある。
- i) 食事の時などじっと座っていられない。
- i) 思いつくとしゃべらずにはいられない、といった感じがある。
- k) 遊びであっても根気が続かないと思うことがある。
- 1) 公園や大きなお店で迷子になったことがある。

 $a)\sim g)$ までは対人関係に問題がある幼児によく認められる事柄であり、 $h)\sim l)$ までは多動な幼児によく見られる行動である。

「行動に関する問診」として、予め保護者や保育所、幼稚園担任にチェックしてもらっておくと、診察時間の短縮が期待できる。ただ、これらの項目で該当するものが多いからといってただちに何らかの発達障害があると判断するのではなく、あくまで診察の参考とするにとどめていただきたい。印象による診断や過剰診断があると、5歳児健診本来の目的である「子育て支援」を見失う事にもなりかねない。

3) 保育所、幼稚園の参加

5歳児健診の実施時には、保育所や幼稚園の担任等職員の同席が望ましい。個別の健診場面では、集団における行動や指示の入りにくさなどは見落としてしまうことになるので、保育所・幼稚園の担任からの情報を重視することをお勧めする。とくに留意してみて欲しい子どもがいれば、あらかじめ保育所や幼稚園から情報を集約しておくとよい。

保育所や幼稚園の担任等職員が同席すると、三者面談のような形になる。保護者へのアドバイスとともに、園側へのアドバイスもあると喜ばれる。細かな指導が必要なときには、

心理指導員担当者が加わっていれば、そちらへお願いする。

若桜町では、健診時に集団での遊び場面を取り入れて、保護者とともに健診医がそれを一緒に観察するという工夫を行っている。こうすることで、運動や言葉の発達では見えてこない社会性の発達上の問題点に保護者が気づくようになる。このような地域の実情に合わせた独自の工夫が望まれるところである。

4) 5歳児健診の事後相談について

5歳児健診では、医療機関や療育機関の受診をすすめる以外には、その事後フォローと して、市町村独自に事後相談を設けるなどの対応も考えられるだろう。

事後相談としては、子育て相談、心理・発達相談、教育相談などが挙げられよう。5歳 児健診で相談したいことがあると問診票に記載した保護者は37.8%にものぼっている。多 くは子育て上の相談であった。これに対応するには子育てに詳しい保育士や保健師等によ る個別の相談ができるとよい。さらに発達障害が背景にあると疑われる児に対しては、心 理・発達相談を、就学前に学校と事前に相談する必要がある児に対しては教育相談を、そ れぞれ個別に行うことが考えられる。教育相談に関しては、該当地域の教育委員会との連 携協力が望ましい。

参考文献

「母子保健マニュアル」

編集:母子保健マニュアル編集委員会

監修:厚生省児童家庭局母子保健課

発行:母子保健事業団

発行日:1996.11

「母子・栄養・歯科保健 業務マニュアル」

編集·発行:東京都衛生局健康推進部母子保健課

発行日:1996.3

「乳幼児健診マニュアル」

編集:福岡地区小児科医会乳幼児健診委員会

発行:医学書院

発行日:1992.4

「軽度発達障害児に対する気づきと支援のマニュアル」2006.11

厚生労働科学研究費補助金 (子ども家庭総合研究事業)

軽度発達障害児の発見と対応システムおよびそのマニュアル開発に関する研究(主任研究者 小枝達也 鳥取大学地域学部)

Web site: http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/boshi-hoken07/index.html

「乳幼児健康診査マニュアル」

編集:広島県発達障害児早期発見健診体制整備検討部会

発行:広島県福祉保健部総務管理局こども家庭支援室

発行日:2008.3

「福岡県乳幼児健康診査マニュアル 第2版」

編集:福岡県乳幼児健診マニュアル検討委員会

発行:福岡県保健医療介護部健康増進課

発行日:2009.3

「健診とことばの相談」

著者:中川信子

発行:ぶどう社

発行日:1998.6.30

b マニュアル挿入イラスト

八頭町産業観光課農業係 副主幹 大石 博

鳥取県福祉保健部子育て王国推進局子育て応援課 寺地 茜

[指こすりによる聞こえの検査方法]

親指と人差し指を軽くこすりあわせてご自分の耳元に持っていって下さい。

"カサカサ"と葉っぱがこすれあうような小さな音が聞こえますね。お子さんにこの音が聞こえるかどうか片耳ずつ検査してみて下さい。

- 1)親は子供の後ろに位置します。
- 2) 親は子どもの耳の真横 $5\sim1$ 0 c m くらいのところで、親指と人さし指を $5\sim6$ 回こすります。
- 3)子どもが聞こえたら、手をあげさせるようにします。
- 4) 最初は右、次は左というように、交互に行います。
- 5)子どもが聞き取れた場合には「○」を、聞き取れなかった場合には「×」を別紙に記入してください。

乳児における聴覚領域の発達

月齢 反 射 反 応 ○ 突然の音にビクッとする(Moro反射) ○ 突然の音にまぶたをギュッと閉じる(眼瞼反射) ○ 眠っている時に突然大きな音がするとまぶたが開 〈(覚醒反射)	
〇 眠っている時に突然大きな音がするとまふたが開 く(覚醒反射)	
○ 突然の音にビクッとして手足を伸ばす ○ 泣いている時、または動いて ○ 眠っていて突然の音に目を覚ますか、または泣き と泣きやむか動作を止める	
┃ 1か月児 出す ○ 近くで声をかけると(またはz	
○ 眠っていて急に鋭い音がすると、ビクッと手足を 動かしたりまばたきをする○ 話かけると、アーとかウーと 2か月児 ○ 思っていてる# の及び声はない。たけまります。	か声を出して喜ぶ(ま
の眠っていて子供の騒ぐ声やくしゃみ、時計の音、 たは―ユーコ 9 る) 掃除機などの音に目を覚ます	
○ 眠っていて、突然音がすると、まぶたをビクッとさ ○ ラジオの音、テレビのスイッ・ せたり、指を動かすが、全身がビクッとなることは などに顔(または眼)を向ける	ることがある
はどんとない 〇 怒った声や懐しい声、歌や音をしたり喜んだり、または嫌	がったりする
〇 日常のいろいろな音(玩具・ 閉)に関心を示す	
4か月児 O 人の声(特に聞き慣れた母(O 名前を呼ぶとゆっくりではあ	るが顔を向ける
○ 不意の音や聞き慣れない音 り顔を向ける	
〇 父母や人の声、録音された分ける 5か月児	
○ 突然の大きな音や声にびっ たり泣き出したりする	くりして、しかみつい
6か月児 〇 声をかけると振り向く 〇 ラジオやテレビの音に敏感!	
7か月児 ○ 隣の部屋の物音や、外の動り向く ○ 動物の鳴き声をまねるとキャ	
○ 動物の場合用をよねるとで ○ 機嫌よく声を出しているとき - 8か月児 - それをまねて声を出す	
○ ダメッ、コラッなどというと、¶ 出したりする	
〇 外のいろいろな音(車の音、 など)に関心を示す(音のほ は見まわす)	
○「オイデ」「バイバイ」などの。 入れずにことばだけで命じて	
9か月児 O 隣の部屋で物音をたてたり、 這ってくる	、遠くから名を呼ぶと
O 音楽や、歌をうたってやると ぶ	、手足を動かして喜
○ ちょっとした物音や、ちょっと るとハッと向く	
○「ママ」「マンマ」または「ネン をまねていう	
〇 気つかれぬようにして、そっ 声で名前を呼ぶと振り向く	
○ 音楽のリズムに合わせて身 11か月児 ○ 「チョウダイ」というと、そ ○ 「ドコ?」と聞くと、そちら	そのものを手渡す
○ 隣の部屋で物音がすると、 けたり、あるいは合図して教	不思議がって、耳を傾
12~15 か月児	
○ 目、耳、口、その他の身体部 をさす	『位をたずねると、指

聴覚言語発達リスト(田中・進藤)

母子保健業務に使用する様式例

- 1. 妊婦一般健康診査(HBs抗原検査)受診票(前期)(医療機関委託)
- 2. 妊婦・乳児一般健康診査費請求書総括表 (医療機関委託)
- 3. 妊婦一般健康診査受診票(後期)(医療機関委託)
- 4. 乳幼児すくすく健康カード (男子)
- 5. 乳幼児すくすく健康カード(女子)
- 6. 1か月児健康診査票
- 7. 乳児一般健康診査受診票(医療機関委託)(3~4月)
- 8. 3~4か月児健康診査票
- 9. 6か月児健康診査票(6~7か月)
- 10. 乳児一般健康診査受診票(医療機関委託)(9~10月)
- 11. 9~10か月児健康診査票
- 12. 1歳6か月児健康診査票
- 13. 3歳児健康診査票
- 14. 1歳6か月児、3歳児精密健康診査受診申請書(医療機関委託)
- 15. 1歳6か月児、3歳児精密健康診査(判定相談)受診票(医療機関委託)
- 16. 3歳児精密健康診査「眼科」
- 17. 3歳児精密健康診査「耳鼻咽喉科」
- 18. 妊婦訪問指導票
- 19. 産婦訪問指導票
- 20. 新生児訪問指導票
- 21. 5歳児健康診査票

妊婦一般健康診査(HBs抗原検査)受診票

						市町村コード		
受診者番号 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :		1	(前	期)			交付	f
(フリガナ)	; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ;							
妊婦 氏名			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		年	月 日	生(歳)	
居住地								
妊娠届出年月日	令和 年	戶 月	日	出産予定年	月日	令和 年	5 月 !	日
上記妊婦の一般	设健康診査	(HBs抗师	原検査)を	と依頼しまる	す。	•		
令和 年	月 E	1						
							印	
		殿	<u> </u>					
健康診査の所見又は 今後必要な処置	妊 娠	週数			週(月) ————————————————————————————————————	
7 次纪·艾·泰尼臣		検査		蛋白()	•糖()	
	血圧	測 定			~	mm/H		
	体	重			妊娠前		kg)	
		清 検 査		陽性		・実施せ	ず	
	血色		ļ	g/	<u> </u>	首血 有·無		
		前原 検査	 	+		実施せず		
	判			・要経過観		~~`)
	連絡	事項	要訪問	•精密検査	(未·済)要入院	(日程度	Ę)
	令和	***		日				
		委託医療						
		担当医	師 名			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u> </u>	
妊妊	帚一般像	建康診查	E(HBs	抗原検	查)費	請求書		
金		円也	×					
上記のとおり健	康診査に要	_ した費用を	請求しま	す。				
令和 年	月,日							
				医療機	関コード		•	
		•						
市町村コード				保険医療	機関等	の		
				所在地》	及び名	称		
		* 2.		開設	者 氏	名		
	•	}	殼					
		1.	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *				F	

- (注) 1 太線内は本人が記入してください。
 - 2 受診手続等については、裏面をみてください。
 - 3 医療機関は、裏面記載のとおり国保連へ請求してください。

妊婦さんへ

- 1 妊娠したら、4週間に1回、24週(第7月)以後は2週間に1回、定期的に健康診査を受ける必要があります。
 - このうち、前期(19週以前)に1回、本票により無料で次の内容の健康診査が受けられます。
 - (1) 問診及び診察
- (2) 梅毒血清反応検査
- (3) 血液検査

- (4) 血圧測定
- (5) 尿化学検査
- (6) B型肝炎(HBs抗原)検査
- 2 健康診査を受ける時は本人記入欄に記入の上、母子健康手帳とともに医療機関の窓口に提出してください。 (県内の医療機関・島根県・岡山県の一部の医療機関で利用できます。詳しくは、 市町村(母子保健担当係)におたずねください。)
- 3 健診医が必要と認めた時は、精密検査も無料で受けられます。その手続は市町 村(母子保健担当係)でお聞きください。
- 4 この票は、本人以外は使用できません。 なお、受診票の交付を受けた市町村から引越し等により住民票を移される場合 は、受診票を返還するとともに、移転先の市町村役場から改めて受けとってくださ

医療機関へ

- 1 本票による健康診査の費用は、受診者から徴収しないで、2の方法により請求してください。
- 2 費用の請求については、1か月分を取りまとめ、この受診票及び請求書に「妊婦 乳児一般健康診査費請求書総括表」を添えて、翌月10日までに鳥取県国民健康 保険団体連合会(〒680-0061 鳥取市立川町六丁目176)に送付してください。

年 月妊婦・乳児一般健康診査費請求書総括表

		4							医療機器	月二-	-ド		
鳥取県国	民健	康保険団体調	連合会 様			保険	医療機	関の所在地及	び名称				:
		年	月 日					開設者氏名				4,50	E E
	T			妊	婦一般健	康診査				Τ	乳児	一般健康	長診査
	⊐-ŀ´ (1)			コート [*] (2)			⊐~k'			⊐-ŀ (4)	(4) 3~4月	. ا	(5) 9~10月
	件数	金	額	件数	金	額	件数	金	額	件数	金額	件数	金額
	件数	契約単価	受診票毎 計	件数	契約単価	受診票毎 計	件数	契約単価	受診票毎 計	件数	契約単価 受診票		契約単価 受診票毎 計
,* -								1.					
内訳			• • •			*							î
								1					
請求	[合計 件数]	[合]	金額]	[合計 件数]	[合]	十金額]	[合計 件数]	[合意	f金額]	(合計 件数)	[合計金額]	[合計 件数]	[合計金額]
決 定			V .										
									3		件数		請求金額
	*	e.				【県外	医损	を機関用】 味 以 な の					
						振込	先口	時以降の座の変更		請合			
)						
•						※ありの場 23 0857−:	合はT 20-368	記までお電話く 5(鳥取県国保連	どさい。 合会)				

妊婦一般健康診査受診票

	市町村コード
受診者番号	2 (後期(超音波なし)) 3 (後期(超音波あり)) 交付
(フリガナ)	
妊婦 氏名	年 月 日生(歳)
居住地	
妊娠届出年月日	令和 年 月 日 出産予定年月日 令和 年 月 日
上記妊婦の一般健康診査を依頼します。	
令和 年	
株体を表するアロアは	殿
健康診査の所見又は今後必要な処置	妊娠週数 週(第 月)
	尿 検 査
	血 圧 測 定 ~ mm/Hg
	kg(妊娠前体重 kg)
	梅毒血清検査 陽性・陰性・実施せず
	血色素検査 g/dl 貧血有・無
	超音波検査実施(シェリン・実施せず)・実施せず
	判 定 異常なし・要経過観察・要精密・要治療(病名) 連 絡 事 項 要訪問・精密検査(未・済)・要入院(日程度)
	十
	担当医師名 印
	妊婦一般健康診査費請求書
金	円也
	表診査に要した費用を請求します。
令和 年	
	医療機関コード
市町村コード	保険医療機関等の
	所在地及び名称
	開設者氏名
	殿
	<u> </u>

- (注) 1 太線内は本人が記入してください。
 - 2 (後期(超音波なし)) 3 (後期(超音波あり)) は、該当する番号に〇をしてください。
 - 3 受診手続等については、裏面をみてください。
 - 4 医療機関は、裏面記載のとおり国保連へ請求してください。

妊婦さんへ

- 妊娠したら、4週間に1回、24週(第7月)以後は2週間に1回、定期的に健康診査を 受ける必要があります。
 - このうち、前期(20週以後)に1回、本票により無料で次の内容の健康診査が受け られます。

 - (1) 問診及び診察 (2) 梅毒血清反応検査
- (3) 血液検査

- (4) 血圧測定
- (5) 尿化学検査
- (6) 超音波断層検査(35歳以上の方のみ)
- 健康診査を受ける時は本人記入欄に記入の上、母子健康手帳とともに医療機関 の窓口に提出してください。 (県内の医療機関・島根県・岡山県の一部の医療機関で利用できます。詳しくは、 市町村(母子保健担当係)におたずねください。)
- 健診医が必要と認めた時は、精密検査も無料で受けられます。その手続は市町 村(母子保健担当係)でお聞きください。
- この票は、本人以外は使用できません。 なお、受診票の交付を受けた市町村から引越し等により住民票を移される場合 は、受診票を返還するとともに、移転先の市町村役場から改めて受けとってくださ

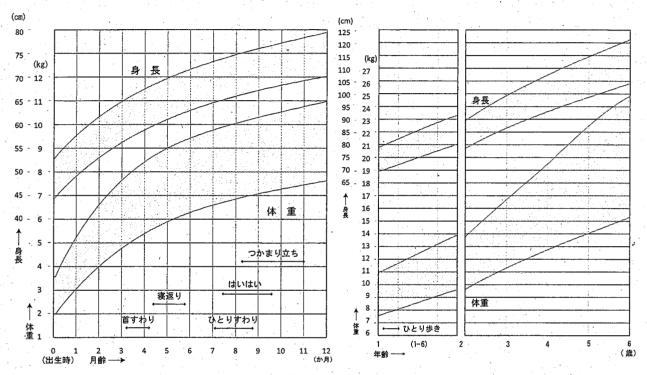
医療機関

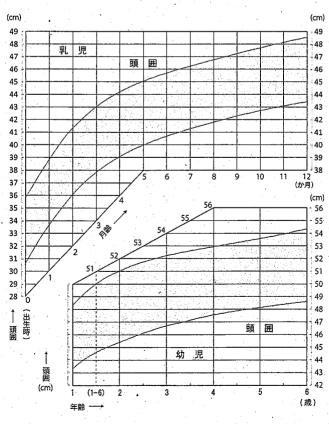
- 本票による健康診査の費用は、受診者から徴収しないで、2の方法により請求し てください。
- 費用の請求については、1か月分を取りまとめ、この受診票及び請求書に「妊婦 乳児一般健康診査費請求書総括表」を添えて、翌月10日までに鳥取県国民健康 保険団体連合会(〒680-0061 鳥取市立川町六丁目176)に送付してください。

乳幼児すくすく健康カード(

		性 別	生 年	月日	整理	里番号
氏名		男	年	月 日生		

乳幼児(男子)身体発育パーセンタイル曲線(平成22年調査)



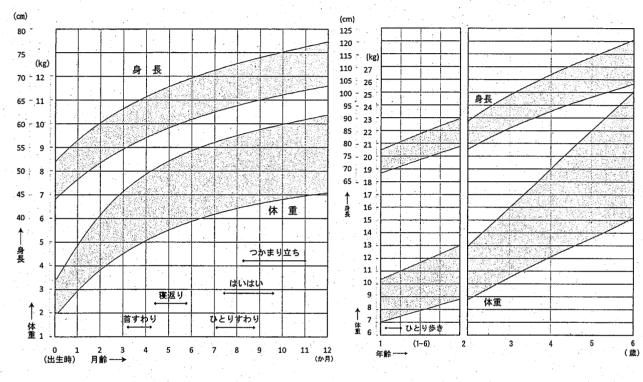


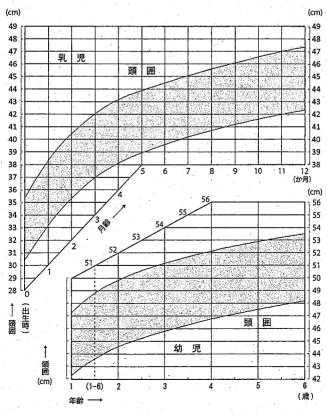
氏			生年月日	年	月 日	母子手帳 No.()
名		男	第	子		受付 令和 年 月 日
住	鳥取県		<u> </u>		家族構成	及び健康状態
所		TEL				
	名	前		年 齢		
家	父			(歳)		
族	母	1.		(歳)	1	
",^	血族結婚 無・有()				
	過去の妊娠 ①問題なし②自	然流	産(回)	·		
4-	状 況 ③死産(回)	4年	重(回)⑤(也()		
<u>妊</u> 娠	分娩予定日 年 月 日		胎動初感	j	固(月)	受付時の主訴・状況等
届	初診時 週		つわり	(なし・軽	中・強)	
時	現在週数 週(か月)		食 欲	(普通	・なし)	
	受診医師)		浮腫	(普通	・あり)	
妊	①問題なし ②蛋白尿()	③浮	腫() 47	高血圧 ⑤	貧血 ⑥	発疹
娠	⑦アルコール ⑧タバコ 本/	∃	切迫流早産	(週)		
中	 A 不明 B 他	1(.)	
	在胎週数 W(か月)		①問題なし	. ②多胎	③帝切 ④前期破水
分娩	分娩時間 時間		分娩時の	⑤分娩遷延	E ⑥骨盤(立 ⑦臍帯巻絡 ⑧吸引
火 无	出血 ml		100 110	9子癇 10	胎児仮死	A不明 Bその他
	出生場所		①問題なし	②黄疸()日目ビ	值(mg/dl)
新	体重 g アプガー	点	③けいれん	発作 ④頻	回嘔吐 A	A不明 Bその他
生児	身長 cm 仮死 有	無	保育器(日)酢	b素使用 (目)
期	胸囲 cm		未熟児セン	ター入院(日間)	診断名()
	頭囲 cm		退院(日目) 退降	院時体重(g) 栄養(母·混·人)
	受信日(平成 年 月	日)	受診医療機	(関()
一 か	体重 g 身長 cr	n 胸	囲	cm 頭囲	cn	n
	授乳状況 母乳(回/日)	ミル	ク(, 回/	/日)	乳力(良·f	也)
月健診結果	1回の哺乳時間	(分/回)			
結						
果						
	•		<u> </u>			〈地図〉
			1 * 1.			
備					1	
川用						
			*			
考						
					٠.	
					The second section is a second	1

乳幼児すくすく健康カード(

		性 別	生 年 月	日 4	整 理	番号
氏名		女	年 月	日生		

乳幼児(女子)身体発育パーセンタイル曲線(平成22年調査)





氏				生年月日	年		月 日	母子手帳 No).()
名			女	第	子			受付 令和	年	月	日
住	鳥取県			•			家族構成	及び健康状態			
所			TEL	_						• "	
	名		前		年	齢		•			
家	父				(歳)					
 族	母		1		(歳)					,
) // /	血族結婚	無•有()						taga sa		
		①問題なし②自然	然流	産 (回)							
	1-11-11-11-1	③死産(回)④									
妊娠		年 月 日					1 月)	受付時の主記	斥•状況等		
届	初診時	週		つわり							
時		週(か月)		-							
	受診医師			~ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	,		あり)				
		<u> </u>						 沦 疹			
<u>妊</u>	-	シュロ/バベッ へ ③タバコ 本/E	7.0					حرن.			
中		B 他)				•
	在胎週数	W(t			①問題			③帝切 ④	前期破水		
分	分娩時間	" " " " " " " " " " " "	, ,,,	分娩時の	多分析	速砂	· ⑥骨般化	7. ⑦臍帯巻絲	5 (8) 吸引		1
娩	出血	ml		1 7/1 ///				A不明 Bそ	and the second second		
	出生場所			<u> </u>	L			直(r		 	
新	体重 g	アプガー	占	-	•			⊵、 不明 Bそのſ			
生		. `		保育器(•						
児期	海民 cm		Z11X /	未熟児セン						· · · ·	
初		1.00						g)栄	菱(丹 湯)	/ • k)	
		<u> </u>		」 受診医療機		راحار	心可怀盖()	民() 化	777	
_	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	并一刀一 身長 cm				百田				·	
か		(回/日)									- '
月健	技孔认次 母孔 	(回クロ) 1回の哺乳時間(ノ、 凹/ 分/回)	ПΙ	HH	4071 (DC - 11	<u> </u>			
月健診結果		「凹りが用子には同り		刀/凹/							
神里						• , `					. ,>
					,			•			
* .				•				〈地図〉			
							•				
備					ar sa						
					•						
1.									* .		
考				, T	7	٠			'	* .	
			.								.
		en e									
1										100	

<u>健診日:令和 年 月 日 (満 か月 日)</u>

1か月児健康診査票

この枠	内の項	目を記入し、健診時に持	:参してください。				整理番号			
フリ		E E BOYCO (DEBY 1911-1)	you week	男				25		
	11.1			尹	年 月	日生	保護者名	父	•	
乳児	氏名			.	+ 1	υх	不透行口	母		
			<u>(第 子</u>	.) 女	<u> </u>		<u> </u>	17	<u>.</u>	
住	所			電話番号(中の連絡先(アンケー	ト記入 父	· 母 · 祖母	・祖父・()].
1.	栄養は	、母乳ですか、人工乳	し、混合ですか。			1. 母乳 2.	. 人工 3. 混合	the state of the s		
						(授乳回数		回の授乳時間	分/回)	
2.	母乳(.	人工乳)の飲みはいい	ですか。				2. いいえ 3.			
		顔の向きを左右に動					2. いいえ 3.			l
4.	手足σ	動きに左右差はあり	ますか。				2. いいえ 3.			
5.	泣いて	いるときに声をかける	と、泣きやむことが	がありますか。	· .		2. いいえ 3.			
6.	強い光	きまぶしがりますか。				1. はい	2. いいえ 3.	わからない	100	
7.	明るい	方をみますか。					2. いいえ 3.			. 1
8.	みつめ	あっていると感じると	きがありますか。			1. はい	2. いいえ 3.	わからない		
9.	退院後	(出産後)病気などで	医療機関を受診さ	れましたか。		1. いいえ	2. はい() .
10.	育児を	していてストレスに感	じることや悩むこと	がよくありま	すか。					. 9
į .		1. はい 2. ときどきあ	る 3.ない			a - 4				
		(どんなことです)						•)
11	音児に	ついて相談したり、話		ますか。						
	1,50.	1. はい(配偶者・配偶			りつけの小児科	医 保育士	•保健師•他) 2. ل	いえ	1
12 -	保護老	同士等集まったり話し								
		するうえで家族や保健								
10.	F3 76 C	1. いいえ 2. はい) C1000	.,, ,, ,, , ,, ,					
			参加・育児の仲間 [・]	づくり・他)
14	但雜士	の身体や心の調子に								1
14.	不设生	10分本で心の調子で 1 だいたいよい 2. ま		+/tal (Ea	N +31-				<i>C</i> , .)
46	Δ Π #	1. /ニレい/ニレいよい 2. ø 談したいこと、心配な			ノムン に、		* 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1			
10.			ことかめりまりかい	•		· francisco de la composição de la compo	3 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -)
		1. いいえ 2. はい(ム パナムモリ	-+1> n121>-	、土心田 いたじ					′′ 1
16.	リカッタ	になることがあります	か。(オをかさい	っすい、火火い・	うさか悉いなど	, , , ,			4.45	, I
	141=1	1. いいえ 2. はい(の出のこういても	ナルナフナの	1-050± ()	中 / + 米/ 字 - ¬	+r=++ === 1	/+>+1\		,
17.	吐赈中	、分娩時、新生児期(メチをこ記人	ください。		
		妊娠中:蛋白尿・消炎			- /生*112(特になし		The state of the s		
		分娩時:在胎週数		か月)	,	* m /	3			
		体重(g) 身長((cm) 豆		om)	ar tib	1.14	
	*		多胎・帝王切開・前			予参格・吸51・	于淵・胎児収5	化•1世		
		出 生 時:アプガー(EA Her An	PT 45-146	BB	;
		新生児期:退院(日)治療(内		診断名:	医療機	関:)
		問題なし・	黄疸強・光線療法・	けいれん発作・	·頻凹嘔吐·酸素	使用有 他(<u> </u>)不明
L	計測			11.						
	体重	(g)g 体重 [±]	图加(g)g/日	身長(cm)_	cm 脂	J进(cm)	·cm 頭	囲(cm)	_cm	
								 		
健	診結果	1 異常なし 2.既医療	(観察中・治療中)	3.要経過	観察 4.要 料	寄 5.要治	台療		* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	
. =		」 どこで()	(紹介先・内	容) .	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1
T ₂	多 察]								1
		」 養 ・ 体 格 □ふつう	口(休重增加密音	(母到 学養15。	マノ日未満 人工	栄養30g/円	未満) 他			
1	2. 皮		口(湿疹・遅延性)					i×6コ以上)・白:	斑・貧血・チアノー	-ゼ)
	3. 頭		□(太頭·小頭·頭·頭·頭·頭·頭·頭·頭·頭·頭·頭·頭·頭·頭·頭·頭·頭·頭·)
I .	3. 頭 4. 顔	単 口 こつさ	□(於號·小號·號 □(顏貌異常·巨						•	5 1
	4. 與 5. 胸		口(心雑音 /						f 大)	- ; l :
1			ロ(心雅ョ /				- 17月97月9人	し マノロン ナロルテル	2/1/	`
	6.腹		口(た)関節開排制				表表水陆 小吟	医癌等		
			1			・云 レノ ノハ 川里 『不	日本小座 小院	古邓伯		′ ′
		勢・運動口ふつう				ェトの 四辛 上				′ ′
1	9. ま	と め□ふつう	口(身体上の留意	点 光達上の	田尼思 休育塚	鬼工の田思忌				· / . [,
<u></u>					<u> </u>		医師:			
なまる会会	吉里亜糸	4				10 miles	1.			

乳児一般健康診査受診票

				市町村コー	F
受診者番号		4 (3~4	1月)		交付
(フリガナ)		1 1 1 1 3 1 1 1 1 1 1 1	保護者氏名		
乳児氏名			乳児生年月日	年	月 日生
居住地				1	
上記乳児の	の一般健康診査を	を依頼します	•		
	A Company of the Comp				
令和	年 月 日				
					印
en e		殿			
健康診査の所見 今後必要な処			別添 健康診査	表のとおり	
プログラン					
				•	
	- 剪 川	3 — 蚁健	康診査費請求	· 圭	
金		円也	冰沙旦貝明小	• =	
	 おり健康診査に要し		水 主 す		
	年 月 日	7/- 9 /11 C BH	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
17.18			医療機関	コード	
			四 原成因		
市町村コード			保険医療機	関等の	
1			所在地及		
			開設者		
		殿	(M) EX 151	₩ 1	
		卅又			(P)
					₩

- (注) 1 太線内は本人が記入してください。
 - 2 受診手続等については、裏面をみてください。
 - 3 医療機関は、裏面記載のとおり国保連へ請求してください。

乳児の保護者の方へ

- 1 生後1年までの乳児は、生後3~4か月の間に、本票により無料で健康診査が受けられます。
- 2 健康診査を受ける時は、保護者記入欄に記入の上、母子健康手帳とともに医療機関の窓口に提出してください。 (県内の医療機関・島根県・岡山県の一部の医療機関で利用できます。詳しくは、 市町村(母子保健担当係)におたずねください。)
- 3 健診医が必要と認めた時は、精密検査も無料で受けられます。その手続は市町 村(母子保健担当係)でお聞きください。
- 4 この票は、本人以外は使用できません。 なお、受診票の交付を受けた市町村から引越し等により住民票を移される場合 は、受診票を返還するとともに、移転先の市町村役場から改めて受けとってくださ

医療機関へ

- 1 本票による健康診査の費用は、受診者から徴収しないで、2の方法により請求してください。
- 2 費用の請求については、1か月分を取りまとめ、この受診票及び請求書に「妊婦 乳児一般健康診査費請求書総括表」を添えて、翌月10日までに鳥取県国民健康 保険団体連合会(〒680-0061 鳥取市立川町六丁目176)に送付してください。

$\frac{@ \otimes B : \Diamond \pi}{(\begin{subarray}{c} ar{a} & b \end{subarray}}$ 3 ~ 4 か 月 児 健 康 診 査 票

_の#	と内の項	目を記入し、健診時に持参してください。		•			整理番号		* .	
	ガナ		男		7 :			父		
乳児	氏名		•	年	月	日生	保護者名	日		
		(第 <u>子</u>) 電話)]		. <u>-</u>	l <u> </u>		<u></u>
	所	日中の連	各先	() [卜記入 父		• 祖父 ————	• ().
		時や、お乳を飲ませる時、顔やくちびるが								
		そりかえったり、抱きにくいということがあり	ます	⁻ か\。			2. はい 3. わか		4.5.4.1.	
		わっていますか。		•		1. はい(か月頃) 2 2. いいえ 3. 4	. いいえ 3. わ	からない	
4. 5.		けから横向きに半分ねがえりますか。 と声を出して笑いかえしますか。					2. いいえ 3. 4	,		5 -
		けで、動くものを目で追いますか。					2. いいえ 3. 4			
7.		あわせて遊びますか。					2. いいえ 3. オ		**	
		を口にもっていき、なめたりしますか。					2. いいえ 3. オ			
9.	ガラガ	ラをもたせると、しばらくの間もっています	ħ١.			1. はい	2. いいえ 3. オ	りからない		
		いほうから声をかけると、そちらを向きます	トか	•		1. はい	2. いいえ 3. オ	りからない		
		で病気で入院したことがありますか。		tage of the second		1. いいえ				,.) ·
		の病気や、経過をみてもらっている病気はあり	ます	か。		1. いいえ)
		けたことがありますか。				A contract of	2. はい(熱があ)
14.	予防接	種は受けましたか。				1. いいえ	2. はい 1. ヒブ		3. 四種混合	
.							4.その(也()
15.)栄養状況を記入してください。	44	(a) 大河木叶	-+-	(1 141 14	*. L± 13±.+.+	! -\		
16		(1日に約 回) ミルク(約 ccを1日に んの昼間の保育者は主にどなたですか。					いてさとさいたま 針 3. 祖母 4. 祖		促充矿 D.M	()
		んの昼间の休育者は主にとなたですが。 していてストレスに感じることや悩むことか					¥ 3. 独身 4. 位 ときどきある 3		休月川 口地	` '
17.	H JUZ	していてストレスに感じることを固むことが	.0.			ことですか		. 12.0		.)
18	音児に	ついて相談したり、話したりする人はいま	ታ ታ					•		ĺ
. 0.	ייטכה	1. はい(配偶者・配偶者の父母・実父母・友人		The state of the s	医•保育:	士・保健師	・他) 2.い	いえ		
19.	保護者	f同士等集まったり話したりする場やサーク						_		
		するうえで家族や保健師、地域に支援して								
İ		1. いいえ 2. はい(配偶者の育児参加・育児の)仲[間づくり・他				an in the second	100)
21.		fの身体や心の調子はいかがですか。								
		1. だいたいよい 2. あまりよくない 3. よく		ヽ (どのように:)
22.	今日、	相談したいこと、心配なことがありますか。								
	T-4 TE =7	1. いいえ 2. はい(どんなことですか	144	-7+ AI-AII+	() 		・ ケマナ デミファノ	+ " + 1		.)
23.	灶 烣 Ч	ı、分娩時、新生児期の状況についてあて 妊 娠 中 : 蛋白尿・浮腫・高血圧・糖尿・貧!				は数子・2 寺になし	火子をこむ人(/=ev,		
		妊 城 中 : 虽日水・存曜・高皿圧・福水・貝! 分 娩 時 : 在胎週数(週)または(カ垣が平底・他(か月)) 1	41こなし				
					n) 頭囲	(em)			
		問題なし・多胎・帝王切開・前期						•他)不明
		出 生 時 : アプガー(点)不明のとき(仮		737701-1-1-1	- 137 1	3.1H 32.31	1 1111 1111000000			, , ,
	* •	新生児期:退院(日目)退院時体重(診断名:	医療機関	舅 :)
١.		問題なし・黄疸強・光線療法・け							1)不明
								,		
Γ	計測									. *
_		(g)g 身長(cm)		_cm 胸囲(cm)		cn	n 頭囲(cm)_		cm -	
							<u></u>			
1	診結果	1.異常なし 2.既医療(観察中・治療中)		3.要経過観察 4	.要精密	5.要治	療			
L L	+	どこで()			介先•内) <u>.</u>
. [诊 察					_ `		100		
-		- 養 ・ 体 格 □ふつう □(体重増加不良	他)
	2. 皮	膚 口ふつう 口(湿疹・アトピー性皮	膚炎	・血管腫(苺状、その	他 部位)・カフ	ェオーレ斑(1cmi	×6コ以上)・白斑・	貧血・チアノー・	ゼ)
	3. 頭·	部 口ふつう 口(大頭・小頭・頭部)
	4. 顔	部 口ふつう 口(顔貌異常・巨舌・		**			and the same of th)
	5. 胸	部 口ふつう 口(心雑音 /V)				and the second	1一ト胸・鳩胸、そ	その他)・乳房腫	大)	
l	6. 腹	部 口ふつう 口(ヘルニア(臍・そ				cm)	eronin i o	dinas details to ex-	1. IA =)
:		・ 外 陰 部 口ふつう 口(股関節開排制限						水腫・精索水腫	・小陰唇癒着)
		勢 運動 口ふつう 口(活動性低下・低							1 +) .
1	9. ま	と め 口ふつう 口(身体上の留意点	• 発	建上の留息点・保1	⋾埬項上	.の留恵点	and the second second)
<u> </u>							医師:			
健診	結果要約	5								

-67-

(満 か月 日)

健診見:含和 年 月 日 6 か 月 児 健 康 診 査 票

(6~7か月) No. この枠内の項目を記入の上、健診を受けてください。 整理番号 お子さんの健康状態を知るためのものです。あてはまる番号に〇印を、()内には文字・数字を記入してください。 牛年月日 日生 父一 保護者名 乳児氏名 3 性 別 男 • 女 子) 雷話番号(アンケート記入者 仹 所 4 日中の連絡先(母 祖父 祖母 1. 同居の家族について記入してください。 1. 父 2. 母 3. 兄·姉()歳 4. 弟·妹()歳 5. 祖父 6. 祖母 B. 他(2. お子さんの昼間の保育者は主にどなたですか。 1. 母 2. 父 3. 祖母 4. 祖父 5. ()保育所 B. 他(3. これまで事故で医療機関を受診したことがありますか。 1. いいえ 2. はい(転倒・転落・異物誤飲・熱傷・溺水・他 1. いいえ 2. はい (4. これまで病気で入院したことがありますか。5. 治療中の病気や経過をみてもらっている病気がありますか。 1. いいえ 2. はい (1. いいえ 2. 熱があって(回)3. 熱がなくて(回)4. 泣いていて(回) 6. ひきつけたことがありますか。 7. 食物アレルギーと言われたことがありますか。 1. いいえ 2. はい (卵白・卵黄・大豆・牛乳・他 8. 予防接種は受けましたか。 1. いいえ 2. はい 1. ヒブ 2. 肺炎球菌 3. 四種混合 4. BCG 5.その他(9. 聴力について心配したことがありますか。 1. いいえ 2. はい(何を: 10. 視力・目つきなどで心配したことがありますか。 1. いいえ 2. はい(何を: 11. お子さんの寝顔をみて気持ちがなごみますか。 1. はい 2. いいえ (母乳 12. 現在の母乳及びミルクの量を記入して下さい。 回/日 cc X 同/日) 13. 離乳食の内容を具体的に記入して下さい。 か日頃) 開始時期 現在の回数 おかゆなどの量) 例:子ども茶わん1/2、5さじなど おかずの種類 例: 卵、豆腐、白身魚、人参など 例:果物、菓子類 その他 14. お子さんの今の状態について、おたずねします。 (1) 首は何か月ごろしっかりすわりましたか。 ② あおむけでいる時、おしめをはずしたりすると手で足をつかみますか。 (1._____ か月ごろ 2.まだ 3.わからない) (1. はい 2. いいえ 3. わからない) ③ 腹ばいさせた時、どの姿勢をしていますか。 ④ あおむけからうつぶせに自分で寝がえることがありますか。 1.2.2.3.2.4.32 (1. はい 2. いいえ 3. わからない)

⑥ 膝の上に立たせると足をつっぱりますか。

8) おもちゃを振り鳴らしたり、打ちつけたりして遊ぶことがありますか。

(10) 一方の手からもう一方の手におもちゃを持ちかえますか。

(12) 大人をみて、赤ちゃんが話しかけるように声をだしますか。

(1. はい 2. いいえ 3. わからない)

13

)

)

⑤ おすわりをさせた時、どの姿勢をしていますか。

⑦ 手を伸ばしておもちゃをつかみますか。

(1. はい 2. いいえ 3. わからない)

⑨ 大きなおもちゃを両手でつかみますか。 (例:直径15cmぐらいのボールなど)

(1. はい 2. いいえ 3. わからない)

① あやされると声をだして笑いますか。

(1. はい 2. いいえ 3. わからない)

(13) 後ろから名前を呼ぶと振り向きますか。

(1. はい 2. いいえ 3. わからない)

15. 育児をしていてストレスに感じることや悩むことがよくありますか。

1. はい 2. ときどきある 3. ない

(どんなことですか

16. 育児について相談したり、話したりする人はいますか。 1. はい(配偶者·配偶者の父母·実父母·友人·かかりつけの小児科医·保育士·保健師·他

育児をするうえで家族や保健師・地域に支援してほしいことがありますか。

1. いいえ 2. はい

(父親の育児参加・育児の仲間づくり・他

18. 保護者の身体や心の調子はいかがですか。

1. だいたいよい 2. あまりよくない 3. よくない (どのょうに:

19. 今日相談したいこと、心配なことがありますか。

1. いいえ 2. はい(

保健師·栄養士等記入欄

事後 0. なし 1. あり

記入者名:

要約

保健師:

乳児氏名 (問診聴取:父 母 祖父 祖母 他) 問診 1. 分 娩: 在胎週数 1. 在胎(1. 週) または(2. か月) 出生時計測值 2. 体重(g) 2. 身長(cm) 3.胸囲(cm) 4. 頭囲(分娩時の状況 0. なし 1. 多胎 2. 帝切 3. 前期破水 4. 分娩遷延 5. 骨盤位 6. 臍帯巻絡 7. 吸引 8. 子癇 9. 胎児仮死 B. 他(A不明 2. 新生児: 出生時 点) 2. 不明のとき (1. 仮死なし 2. 仮死あり 3. 不明) 1. アプガー(退院(日目)退院時体重(g)未熟児センター(日) 新生児期の状況)病院 保育器(治療 0.なし 1.あり(内容: 診断名: 医療機関 .) 0. なし 1. 黄疸強 2. 光線療法 3. けいれん発作 4. 頻回嘔吐 5. 酸素使用有 B. 他 A不明 A不明 3. 健診での指摘事項 0. なし 1. 未受診 2. あり か月) 2.寝がえり(か月) 4. 運動発達の状況 1. 首すわり(か月) 3. おすわり() けいれん回数(5. 既往歴 0. なし 1. あり(回) か月から) 3. 離乳食(か月から) 6. 栄養 1. 母乳(か月まで) 2.ミルク(7. 問診のまとめ 0. ふつう

計測		(97%)	90%	男	10%	. (3%)	(97%)	90%	女	10%	(3%)	
	 6か月	(9.57)	9.07		6.94	(6.44)	(9.05)	8.53		6.49	(6.06)	٠.
本重(kg)	 7か月	(9.87)	9.36		7.21	(6.73)	(9.37)	8.83		6.75	(6.32)	
	8か月	(10.14)	9.61		7.44	(6.96)	(19.63)	9.08		6.97	(6.53)	
	 6か月	(72.1)	70.8		64.9	(63.6)	(70.4)	69.2		63.4	(61.7)	
長(cm)	7か月	(73.6)	72.2		66.4	(65.0)	(71.9)	70.7	¥ . *	64.8	(63.1)	
	 8か月	(75.0)	73.6		67.7	(66.3)	(73.2)	72.0		66.0	(64.4)	
	6か月	(45.9)	45.2		41.9	(41.0)	(44.7)	44.0		40.7	(39.9)	
囲(cm)	7か月	(46.5)	45.8		42.4	(41.6)	(45.2)	44.5	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	41.3	(40.4)	
	8か月	(47.0)	46.3		42.9	(42.1)	(45.7)	45.0		41.8	(40.9)	

健診結果	1.異常なし	2.既医療(現察中・治療中) 3.要経過観察 4.要精密 5.要治療
診察		どこで() 紹介先·內容(
1. 栄養・	身 体	□ふつう	□(体重増加不良・他
2. 皮	膚	口ふつう	□ (湿疹・アトピー・血管腫(苺状・他 ・部位)・カフェオーレ斑(1c㎡×6コ以上)
3. 頭	部		白斑・黄血・チアノーゼ・他 101 □(大頭・小頭・頭部変形・頭蓋癆・大泉門開大(× cm)・他)
4. 顔	部	□ふつう □ふつう	□(大頭・小頭・頭部変形・頭蓋癆・大泉門開大(× cm)・他) 108 105 106 619 104 102 □(眼振・斜視・眼瞼下垂・斜頸・難聴・口蓋裂・高口蓋・他)
5. 胸	部	□ふつう	- 132 133 133 □ (心雑音 /VI(部位:)・喘鳴・胸郭異常(ロート胸・はと胸・他)・乳房腫大・他)
6. 腹	部	□ふつう	ロ(ヘルニア(臍・そけい)・肝腫大(cm)・脾腫(cm)・他)
7. 股 ・ 外	陰 部	日ふつう	126 □(股関節開排制限(右・左)・下肢長差・しわの左右差・停留睾丸・陰のう水腫・ 精索水腫・小陰唇癒着・他
8. 姿 勢	運 動	□ふつう	ロ(低緊張・そり返り・おくれ・片麻痺・他)
9. ま と	め	□ふつう	□(身体上の留意点·発達上の留意点·保育環境上の留意点 医療機関名及び医師名:

乳児一般健康診査受診票

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			市町村コー	
受診者番号	5	(9~10.	月)		交付
(フリガナ)			保護者氏名		
乳児氏名			乳児生年月日	令和 年	月 日生
居住地					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
上記乳児の	D一般健康診査を何	衣頼します。			
 	年 月 日				
					印
		殿			
健康診査の所見 今後必要な処		另	刂添 健康診査	表のとおり	
金		一般健身 9也	€診査費請求	書	
	:」 ! らり健康診査に要した		ı ≢ d		
上記の との	年 月 日	- 5名/13 色明小			
13714	T /1 H		医療機関	コード	
			<u></u> 上小水 水 木		
市町村コード			保険医療機	と関等の	
			所在地及		
			開設者		
		殿	True How H		(II)

- (注) 1 太線内は本人が記入してください。
 - 2 受診手続等については、裏面をみてください。
 - 3 医療機関は、裏面記載のとおり国保連へ請求してください。

乳児の保護者の方へ

- 1 生後1年までの乳児は、生後3~4か月の間に、本票により無料で健康診査が受けられます。
- 2 健康診査を受ける時は、保護者記入欄に記入の上、母子健康手帳とともに医療機関の窓口に提出してください。 (県内の医療機関・島根県・岡山県の一部の医療機関で利用できます。詳しくは、 市町村(母子保健担当係)におたずねください。)
- 3 健診医が必要と認めた時は、精密検査も無料で受けられます。その手続は市町 村(母子保健担当係)でお聞きください。
- 4 この票は、本人以外は使用できません。 なお、受診票の交付を受けた市町村から引越し等により住民票を移される場合 は、受診票を返還するとともに、移転先の市町村役場から改めて受けとってくださ

医療機関へ

- 1 本票による健康診査の費用は、受診者から徴収しないで、2の方法により請求してください。
- 2 費用の請求については、1か月分を取りまとめ、この受診票及び請求書に「妊婦 乳児一般健康診査費請求書総括表」を添えて、翌月10日までに鳥取県国民健康 保険団体連合会(〒680-0061 鳥取市立川町六丁目176)に送付してください。

9~10か月児健康診査票

	<u> </u>						整理番号	S - S			
	P内の項 ガナ	目を記入し、健診時に持	寺参してください。 	性別	•					-	
					年 月	日生	 保護者名	父	 		
乳児	氏名		(第 子)	男·女		— —		母			
住	所		· · · · ·	電話番号(の連絡先(アンケー	-ト記入 父	母 :	祖母・	祖父・	('' '' ')
1.	<u></u>	L で座ることができますか		ひんまれてんし	•	1.はい(か月頃) 2	いいえ	3. わから	ない	
2.		いをしますか。				1.はい(か月頃) 2	いいえ	3. わから	ない	
		右の3つのうちあて	はまるものにひを	してくたさい	•	1. Q	12. EQ	્ ³. ફ્	ر	٠.	
						J	MJ J	ik e			
		うつかまって立ち上が					か月頃) 2			ない	
		いさいものをつかみます					2. いいえ 3. 3.	わからない			
		引こえで心配したことか 目つきで心配したこと					 はい(何を: はい(何を: 		e Service		,
		日っていることができ					2. いいえ 3. :	わからない			
		パパなど人のことばを	4.4				2. いいえ 3.:				
		ません」というと、ちょ			すか。		2. いいえ 3. :				
10.	これまで	で事故で医療機関を受詞	含したことがありますか			1 いいえ	2. はい(転倒・軸	蒸落・異物誤	飲・熱傷・他		,) •
		で病気で入院したこと					2. はい(何を:) '' '
		の病気や、経過をみ		まありますか	0	1. いいえ		## 18)
		けたことがありますか	` o				2. はい(熱があ				4 BOO
14.	予 协接	養種は受けましたか。	And the second second			וְ. טיטיאַ.	2. はい 1. ヒブ 5. その		K图 3.四	性ルロ	4. BCG
15	現在の)母乳およびミルクの	量と回数を記入してく	(ださい。			J. (U)	1657			
10.		(1日に約 回) ミ							7.		
16.		の状況を記入してくた									
		食(1日に約 回) 和) 食べ方	(順調・少食・むら	食い・偏食・他	ļ) .
		んの昼間の保育者は					父 3.祖母 4.礼				
18.	育児に	こついて相談したり、話	舌したりする人はいま	すか。			偶者・配偶者の父母・写	ミ父母・友人・か	かりつけの小児	科医・保育士・	・保健)
	/m =++ -+	v 1 Ave 44 1. 11=T		L 11 1-2-4- Lent	ment sufficiently Es	2. いいえ					
		計同士等集まったり話 ・1、エンズス!! スに感					2.いいえ 2.ときどきある	2 +21 2			1
20.	育児を	していてストレスに愿 (ビ	にることではいことだ んなことですか	いみくめりまり) /J' ₀	1.146, 2	cece <i>m</i> a	3. 4.61			Y
21	音甲を	するうえで家族や保		てほしいこと	がありますか。	1. いいえ	2. はい(配偶者	の音児参加	・音児の仲間	引づくり・他	Ś
		相談したいこと、心配									
		いえ 2.はい()
23.		fの身体や心の調子に							1000		100
		ごいたいよい 2 あまり)
24.		2、分娩時、新生児期					アをご記入くだ	えい。			
		妊娠中:蛋白尿・分娩時:在胎週数			生。10()	符になし					
		万 姚 时 1年胎週数 体重(· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		cm)頭囲	∄(cm)			•	
l		•• —	·多胎·帝王切開·前期				·='	1)不明
		出 生 時:アプガー	(点)不明のとき(仮	反死なし・仮死	あり・不明)						
	•	新生児期:退院(断名:	医療構	幾関 :	* •	,)
		問題なし	・黄疸強・光線療法・け	いれん発作・	頃回嘔吐・酸素使	用有 他()不明
	T. I. MONT	1									
L	計測	[(g)g	白. 厚 ()		何田 (*awa)		陌囲(cm)		cm		
	14年	g)g	夕天(CM)	Cm ,	剛四 (CIN)	CIT1	项团(CIII)				
Г		1		- TEAT 18 4		5 F 1/1 dt	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
	建診結果	1.異常なし 2.既医療							•		
		どこで(1)	紹介先•内]谷()
L	診察	」 養 ・ 体 格 □ふつう	口(从香港加温名。)	休番梅加不自	. 电巨效态温制。	真巨祭苔少ル	· . 441		, · · .		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
	1. 未:2. 皮		□(湿疹・アトピー性皮					□以上)→貧⊓	血・チアノー・	Ž	. 3
	2. 及		□(大頭・小頭・頭部				the second secon			-	5
	4. 顔		□(顔貌異常・巨舌・					視しない・4	<u>b</u>)
	5. 胸		口(心雑音 /V)
	6. 腹		□(ヘルニア(臍・そ)
		・ 外 陰 部 口ふつう					う水腫・精索水腫	・小陰唇痕	着·他)
		勢・運動口ふつう									·
	9. F	と め口ふつう	口(身体上の留意点	・完選上の崔	i思只"保育塓項_	Lの笛思点	医師:				' .
			1		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		(스마)				

健診結果要約

1歳6か月児健康診査票

	項目を記入の上、健診を受けてください。 健康状態を知るためのものです。あてはまる番号に〇印を、()	内には文字・数:	字を記入してください。	整理番号	<u>No.</u>
フリガナ		生年月日	年 月 日:		父
児氏名	(第 子)	性別	男・女	保護者名	母
	(第一十)	電話番	号(-	-)	アンケート記入者
主所		日中の連絡	3 先(— -	_) 父	2 3 4 5 母 祖父 祖母 ()
	」 の家族について記入してください。	H-1-07/Em	1. 父 2. 母 3. 兄 姉()歳 4.弟・妹()歳 5.祖父 6.祖母 B.他()
	こお子さんをみている方はどなたですか。 まで病気やけがで入院したことがありますか。		1. 母 2. 父 3. 祖母 4	4. 祖父 5.()保育所 B. 他()
	まで病気(やけがで)人院したことがありますが。 中や経過をみてもらっている病気やけががあります	か。:	1. いいえ 2. はい ()
5. 現在	、食物アレルギーで指導や治療を受けていますか。		1. いいえ 2. はい (
	つけたことがありますか。 接種は受けましたか。	· ·			なくて(回)4. 泣いていて(回) 球菌 3. 三種混合 4. ポリオ
, j [,] 1931	文任は文パーのしたが。		1.00/2 2.100		BCG 7. 麻しん・風しん 8. 水痘
3. 聴力	・視力・目つきについて心配したことがありますか。		1. いいえ 2. はい (イ	,)
	方について心配がありますか。		1. いいえ 2. はい	= (1.46)_	
	たくせがありますか。 に関して何か心配がありますか。		1. いいえ 2. はい () 1. いいえ 2. はい ()		\• 他
	つの回数、量を決めていますか。) 2. いいえ 3. ほとんど食べない
. 母乳	を与えていますか。	•	1. いいえ 2. はい ()		
	ビンを使っていますか。 でコップを持って水を飲めますか。		1. いいえ 2. はい (7 1. はい 2. いいえ	にまに・ときどき・毎1	目)
	でコップを行って水を飲めますか。 便のしつけを始めていますか。	1 1	1. はい 2. いいえ		
. 歯磨	きは大人が毎日仕上げをしていますか。		1. はい 2. ときどき	している 3.してし	いない
	フッ化物の塗布やフッ素入り歯磨き剤の使用をして	いますか。			
	きる時間と夜やすむ時間をかいてください。 ェ・ビデオ(DVD・ゲーム)は1日どのくらいみています	-πν	1.()時頃起きる 1. みせていない :		
	さんの今の状態について、おたずねします。	73.0	, , , , , , , , , , , , , , , , , ,		-31-7/
① 走	りますか。(小走りで5メートルくらい) (1. はい 2.いいえ 3.わからない)	2) 10センチほどの高さ		いで上がれますか。 い 2.いいえ 3.わからない)
③ ま	ねして積み木やブロックを重ねますか。	4	自分でスプーンを使		
⑤ 動	(1. はい 2. いいえ 3. わからない) 物や乗り物など簡単な絵本を読んでもらうことを好み	みますか。 ⑥	家族が片づけなどを	していると一緒に	
⑦ ≥.	(1.はい 2.いいえ 3.わからない) ょうだいや子ども同士で遊びますか。	(8) マンマ、ブーブー、 <i>,</i>	パパなど意味のあ	い 2. いいえ 3. わからない) ることばをいいますか。
@ #A	(1. はい 2. いいえ 3. わからない) 本をみて、動物、植物、日常のものなどの名前をい	1 . + . + . 4 . 61	n Γ≪++++		い 2.いいえ 3.わからない) = t 宇 (エナ・)
9 15	本をみて、動物、恒物、ロ吊のものなどの右側をい (1. はい 2. いいえ 3. わからない)		リ「転車を持つてきて」		い 2.いいえ 3.わからない)
	OOちゃんのお耳はどれ?」など尋ねて、耳、目、ロ すか。	を指示し ①)犬や車を見た時「ワ 指さししますか。		
* *	(1. はい 2. いいえ 3. わからない)				い 2. いいえ 3. わからない)
① 絵	や写真で「ワンワンどれ?」などとたずねると指さい (1. はい 2. いいえ 3. わからない)	しますか。(し	() 目と目を合わせてお		い 2 いいえ 3 わからない)
15 名	前を呼ばれたら振り返りますか。 (1.はい 2.いいえ 3.わからない)		家族が、痛がったりますか。		顔を心配そうに見ることがあり
① 何	かに興味を持った時、指さしをして伝えようとします	か。	<i>5-713.</i> °	(1. は	い 2.いいえ 3 わからない)
	(1. はい 2. いいえ 3. わからない)	•			
≠ 18	をしていてストレスに感じることや悩むことがよくあり	(士士-4)			
. 育児	をしていてストレスに激じることで図むことがよくめっ 1. はい 2. ときどきある 3. ない	なりか。			
•	(どんなことですか)
育児	について相談したり、話したりする人はいますか。	1. はい(配偶者	・配偶者の父母・実父母・友	え人・かかりつけの小児	記科医・保育士・保健師・他)2.しいい
	者同士等集まったり話したりする場やサークルに参 をするうえで家族や保健師・地域に支援してほしい。 1.いいえ 2.はい				
	(配偶者の育児参加・育児の仲間づくり・他	*)
. 保護	者の身体や心の調子はいかがですか。		* 19	•	
7. 今日	1. だいたいよい 2. あまりよくない 3. よくない (と相談したいこと、心配なことがありますか。	ざのように:)
棄指道	1. いいえ 2. はい(14	未健指導)
養指導			火冰干1日会	*	
			A second second		
		·			
	554				/P. /李 6末 /

幼児氏名 N (問診聴取:父 母 祖父 祖母 他)

問診		
1. 運動発達	1. 首すわり(か月) 2. 四つばい(か月) 3. 歩行間	開始(か月) A不明
2. 乳児健診での指導導	「項 0. なし 1. 未受診 2. あり() A不明
3.ことば	1. 有意語なし 2. 有意語1~3つ 3. 有意語4つ以上 4.2語	文可 5. 指示理解困難 A不明
4. 既 往 歴	0. なし 1. 麻疹 2. 風疹 3. 水痘 4. 流行性耳下腺炎 5. 7	5日咳 A不明
	6. 突発性発疹 7. 喘息 8. アトピー B. 他()
5. 生活習慣等の状況	0. なし 1. くせ() 2. 食生活(時間、偏食、おやつ	、母乳、哺乳ビン、他)
	3. しつけ(排尿便、歯みがき、就寝、他) 4. 環り	f(友達、TV、他)
	5. 行動(かんしゃくがひどい、人見知りが強い、人見	(知りがない、迷子になりやすい)
		A不明
6. 「子育てをしている時	"育てにくさ"を感じたことはありましたか」	
	1. いつもそう思う 2. 時々そう思う 3. ほとんどそう思わ	ない
問診のまとめ	0. ふつう	
保健師:		
計 測 (平成22年	度調査)	
	(97%) 90% 男 10% (3%) (97%) 90%	女 10% (3%)
1歳6か月	(12.47) 11.73 9.18 (8.70) (11.77) 11.08	8.55 (8.05)
体重(kg) 7か月	(12.71) 11.95 9.35 (8.86) (11.99) 11.28	8.71 (8.20)
8か月	(12.96) 12.17 9.52 (9.03) (12.21) 11.49	8.86 (8.34)
1歳6か月	(85.9) 84.2 77.2 (75.6) (84.2) 82.7	75.6 (73.9)
身長(cm) 7か月	(86.9) 85.1 78.1 (76.5) (85.3) 83.7	76.5 (74.8)
、8か月	(87.9) 86.1 78.9 (77.3) (86.3) 84.7	77.4 (75.7)
1歳6か月	(50.3) 49.4 45.8 (44.9) (49.0) 48.2	44.7 (43.8)
頭囲(cm) 7か月	(50.5) 49.6 45.9 (45.0) (49.1) 48.4	44.8 (44.0)
8か月	(50.6) 49.8 46.1 (45.2) (49.3) 48.5	45.0 (44.1)
1歳6か月	(51.5) 50.2 45.2 (44.2) (50.1) 48.8	43.8 (42.8)
胸囲(cm) 7か月	(51.8) 50.4 45.4 (44.4) (50.4) 49.0	44.0 (43.0)
8か月	(52.0) 50.6 45.6 (44.6) (50.6) 49.3	44.2 (43.2)
745A44 B 4 B 2444	。即压克/纽敦克·火冻克) 。西郊场纽敦 《西维安 cī	nn sa ute
健診結果 1.異常なし		要治療 、
[**	(どこで) (紹介先・内容)
診 察		
1. 栄養・身体	ロふつう ロ(ふとりすぎ・やせすぎ・小柄・便秘・他)
)
2. 行動·受診態度	209 210 212 口ふつう 口(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡) 防·他)
	209 210 211 211 211 211 211 210 210 210 210) 防-他)
2. 行動·受診態度	209 210 211 211 211 211 211 210 210 210 210) 防-他)
2. 行動・受診態度 3. 言語 4. 頭・ 顔・ 口	□ふつう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡 □ふつう □(遅滞・理解困難・他 □ふつう □(貧血・大頭・小頭・斜頸・他	
2. 行動·受診態度 3. 言 語	□ふつう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡! □ふつう □(遅滞・理解困難・他 □ふつう □(貧血・大頭・小頭・斜頸・他 □ふつう □(心雑音 / VI(部位:)・肝腫大(cm)・肝	
2. 行動・受診態度 3. 言語 4. 頭・ 顔・ 口	□ふつう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡! □ふつう □(遅滞・理解困難・他 □ふつう □(貧血・大頭・小頭・斜頸・他 □ふつう □(心雑音 ンⅥ(部位:)・肝腫大(cm)・胴 へルニア(臍・そけい)・脾腫(cm)・乳房腫大・他)) 向 郭異常(ロート胸・はと胸・他))
2. 行動・受診態度 3. 言語 4. 頭・ 顔・ 口	□ふつう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡! □ふつう □(遅滞・理解困難・他 □ふつう □(貧血・大頭・小頭・斜頸・他 □ふつう □(心雑音 ンⅥ(部位:)・肝腫大(cm)・胴 へルニア(臍・そけい)・脾腫(cm)・乳房腫大・他)) 向 郭異常(ロート胸・はと胸・他))
 2. 行動・受診態度 3. 言語 4. 頭・頭・口 5. 胸・腹・外性器 6. 皮膚 	□ふつう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡! □ふつう □(遅滞・理解困難・他 □ふつう □(貧血・大頭・小頭・斜頸・他 □ふつう □(心雑音)) 向 郭異常(ロート胸・はと胸・他))
 2. 行動・受診態度 3. 言語 4. 頭・ 顔・ 口 5. 胸・腹・外性器 6. 皮膚 7. 眼 耳 	□ふつう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡! □ふつう □(遅滞・理解困難・他 □ふつう □(資血・大頭・小頭・斜頸・他 □ふつう □(心雑音 ̄VI(部位:)・肝腫大(cm)・肌・カーンで (cm)・乳房腫大・他 □ふつう □(心雑音 □ cm)・沖腫(cm)・乳房腫大・他 □ふつう □(心・小ので・一つで に対して cm)・・カーンで に対して cm)・・利房腫大・他 □ふつう □(小ので・アトピー・血管腫(苺状・他 ・部位)・カーフロふつう □(斜視・眼振・難聴・眼瞼下垂・他)) 向 郭異常(ロート胸・はと胸・他))
 2. 行動・受診態度 3. 言語 4. 頭・頭・口 5. 胸・腹・外性器 6. 皮膚 	□ふつう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡! □ふつう □(遅滞・理解困難・他 □ふつう □(貧血・大頭・小頭・斜頸・他 □ふつう □(心雑音)) 向 郭異常(ロート胸・はと胸・他))
 2. 行動・受診態度 3. 言語 4. 頭・ 顔・ 口 5. 胸・腹・外性器 6. 皮膚 7. 眼 耳 	□ふつう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡! □ふつう □(遅滞・理解困難・他 □ふつう □(貧血・大頭・小頭・斜頸・他 □ふつう □(心雑音 /Ⅵ(部位:)・肝腫大(cm)・肝・二ア(臍・そけい)・脾腫(cm)・乳房腫大・他 □ふつう □(湿疹・アトピー・血管腫(苺状・他 ・部位)・カフロション □(斜視・眼振・難聴・眼瞼下垂・他 □ふつう □(約・×脚・内反足・麻痺・遅滞・他)) 向郭異常(ロート胸・はと胸・他) ;) 124 ェオーレ斑(1c㎡×6コ以上)・他))
2. 行動·受診態度 3. 言 語 4. 頭 · 頭 · 口 5. 胸·腹·外性器 6. 皮 膚 7. 眼 耳 8. 四肢·運動機能	□ふつう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡! □ふつう □(遅滞・理解困難・他 □ふつう □(資血・大頭・小頭・斜頸・他 □ふつう □(心雑音 ̄VI(部位:)・肝腫大(cm)・肌・カーンで (cm)・乳房腫大・他 □ふつう □(心雑音 □ cm)・沖腫(cm)・乳房腫大・他 □ふつう □(心・小ので・一つで に対して cm)・・カーンで に対して cm)・・利房腫大・他 □ふつう □(小ので・アトピー・血管腫(苺状・他 ・部位)・カーフロふつう □(斜視・眼振・難聴・眼瞼下垂・他)) 向郭異常(ロート胸・はと胸・他) ;) 124 ェオーレ斑(1c㎡×6コ以上)・他))
2. 行動・受診態度 3. 言 頭・ロ 5. 胸・腹・外性器 6. 皮 膚 7. 眼 膚 8. 四肢・運動機能 9. ま め	□ふつう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡! □ふつう □(遅滞・理解困難・他 □ふつう □(資血・大頭・小頭・斜頸・他 □ふつう □(心雑音)) 向郭異常(ロート胸・はと胸・他) ;) 124 ェオーレ斑(1c㎡×6コ以上)・他))
2. 行動·受診態度 3. 言 語 4. 頭 · 頭 · 口 5. 胸·腹·外性器 6. 皮 膚 7. 眼 耳 8. 四肢·運動機能	□ふつう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡! □ふつう □(遅滞・理解困難・他 □ふつう □(資血・大頭・小頭・斜頸・他 □ふつう □(心雑音)) 向郭異常(ロート胸・はと胸・他) ; 」 124 ェオーレ斑(1c㎡×6コ以上)・他))
2. 行動・受診態度 3. 言 語 4. 頭・頭・口 5. 胸・腹・外性器 6. 皮 膚 7. 眼 膚 7. 眼 運動機能 9. ま と め 健診結	□ふつう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡! □ふつう □(遅滞・理解困難・他 □ふつう □(貧血・大頭・小頭・斜頸・他 □ふつう □(心雑音 /VI(部位:)・肝腫大(cm)・肝腫大(cm)・肝腫大・他 □ふつう □(心雑音 /VI(部位:)・肝腫大(cm)・乳房腫大・他 □ふつう □(湿疹・アトピー・血管腫(苺状・他 ・部位)・カフロ(ション・ロット・ロット・ロット・ロット・ロット・ロット・ロット・ロット・ロット・ロット)) 向郭異常(ロート胸・はと胸・他) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・)) ・ ・ ・ ・)) ・ ・)))))))))))))
2. 行動・受診態度 3. 言 頭・ロ 5. 胸・腹・外性器 6. 皮 膚 7. 眼 膚 8. 四肢・運動機能 9. ま め	□ふつう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡! □ふつう □(遅滞・理解困難・他 □ふつう □(貧血・大頭・小頭・斜頸・他 □ふつう □(心雑音 /VI(部位:)・肝腫大(cm)・肝腫大(cm)・肝腫大・他 □ふつう □(心雑音 /VI(部位:)・肝腫大(cm)・乳房腫大・他 □ふつう □(湿疹・アトピー・血管腫(苺状・他 ・部位)・カフロ(ション・ロット・ロット・ロット・ロット・ロット・ロット・ロット・ロット・ロット・ロット)) 向郭異常(ロート胸・はと胸・他) ;) 124 ェオーレ斑(1c㎡×6コ以上)・他))
2. 行動・受診態度 3. 言 語 4. 頭・頭・口 5. 胸・腹・外性器 6. 皮 膚 7. 眼 膚 7. 眼 運動機能 9. ま と め 健診結	□ふつう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡! □ふつう □(遅滞・理解困難・他 □ふつう □(貧血・大頭・小頭・斜頸・他 □ふつう □(心雑音) り 向郭異常(ロート胸・はと胸・他) 124 ェオーレ斑(1cm*×6コ以上)・他)) 留意点)
2. 行動・受診態度 3. 言 語 4. 頭・頭・口 5. 胸・腹・外性器 6. 皮 膚 7. 眼 膚 7. 眼 運動機能 9. ま と め 健診結	□ふつう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡! □ふつう □(遅滞・理解困難・他 □ふつう □(強血・大頭・小頭・斜頸・他 □ふつう □(心雑音)) 108 向郭異常(ロート胸・はと胸・他)) 124 エオーレ斑(1cm*×6コ以上)・他)) 留意点) (要受診・治療中) 3い フッ素塗布 1. 済 2. 未
2. 行動・受診態度 3. 言 語 4. 頭・顔・口・5. 胸・腹・外性器 6. 皮 膚 7. 眼 ・ 講像 ・ 選動機・ 要 8. 四肢・運動機・ り。まとめ 健診結 歯 科 まとめ	□ふつう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡! □ふつう □(遅滞・理解困難・他 □ふつう □(強血・大頭・小頭・斜頸・他 □ふつう □(心雑音) 108 向郭異常(ロート胸・はと胸・他) 124 エオーレ斑(1cm*×6コ以上)・他)) 留意点) (要受診・治療中) 5い フッ素塗布 1. 済 2. 未 1. B 5. C
2. 行動・受診態度 3. 言 語 4. 頭・頭・口 5. 胸・腹・外性器 6. 皮 膚 7. 眼 膚 7. 眼 運動機能 9. ま と め 健診結 E D C B A A E	□ふつう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡!□ふつう □(遅滞・理解困難・他□ふつう □(強血・大頭・小頭・斜頸・他□ふつう □(心雑音 / VI(部位:)・肝腫大(cm)・別のでは、 cm)・のでは、 m)・のでは、cm))))) 「108 「ロート胸・はと胸・他)) 「124 「エオーレ斑(1cm*×6コ以上)・他)) 留意点) (要受診・治療中) 「フッ素塗布 1. 済 2. 未 1. B 5. C 「本、処置歯」 本)
2. 行動・受診態度 3. 言 語 4. 頭・顔・口・5. 胸・腹・外性器 6. 皮 膚 7. 眼 ・ 講像 ・ 選動機・ 要 8. 四肢・運動機・ り。まとめ 健診結 歯 科 まとめ	□ふつう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡!□ふつう □(遅滞・理解困難・他□ふつう □(強血・大頭・小頭・斜頸・他□ふつう □(心雑音 ̄VI(部位:)・肝腫大(cm)・脱 へルニア(臍・そけい)・脾腫(cm)・乳房腫大・他□ふつう □(湿疹・下ピー・血管腫(苺状・他 ・部位)・カフロふつう □(斜視・眼振・難聴・眼瞼下垂・他□ふつう □(の脚・X脚・内反足・麻痺・遅滞・他□ふつう □(身体上の留意点・発達上の留意点・保育環境上の医療機関名及び医師名: 1. 問題なし 2. 要指導 3. 要経過観察 4. 要治療・むし歯の罹患型 1. 01 2. 02 3. A 生歯数() 本 (未処置的 下去の世 下去の 大田 下去)))) 「108 「108 「109 「109 「109 「109 「109 「109 「124 「エオーレ斑(1cm*×6コ以上)・他) 「124 「アナーレ斑(1cm*×6コ以上)・他) 「124 「アナーレ斑(1cm*×6コ以上)・他) 「124 「アナーレ斑(1cm*×6コ以上)・他) 「124 「12
2. 行動・受診態度 3. 言 語 4. 頭・頭・口 5. 胸・腹・外性器 6. 皮 膚 7. 眼 膚 7. 眼 運動機能 9. ま と め 健診結 E D C B A A E	□ふつう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡!□ふつう □(遅滞・理解困難・他□ふつう □(強症・大頭・小頭・斜頸・他□ふつう □(心雑音 ̄VV(部位:)・肝腫大(cm)・脱・ルーンで(臍・そけい)・脾腫(cm)・乳房腫大・他□ふつう □(湯疹・アピー・血管腫(苺状・他 ・部位)・カフロふつう □(斜視・眼振・難聴・眼瞼下垂・他□ふつう □(の脚・X脚・内反足・麻痺・遅滞・他□ふつう □(身体上の留意点・発達上の留意点・保育環境上の医療機関名及び医師名: 1. 問題なし 2. 要指導 3. 要経過観察 4. 要治療・むし歯の罹患型 1. 01 2. 02 3. A むし歯の罹患型 1. 01 2. 02 3. A を歯数()本 (未処置的反対咬合、開咬、上颚前突、過蓋咬合、叢生) 向郭異常(ロート胸・はと胸・他) 124 ェオーレ斑(1cm*×6コ以上)・他) 3 留意点) (要受診・治療中) 3 い フッ素塗布 1. 済 2. 未 1. B 5. C 3 本、処置歯 本) (. 正中離開、切端咬合、交差咬合
2. 行動・受診態度 3. 言 語 4. 頭・頭・口 5. 胸・腹・外性器 6. 皮 膚 7. 眼 膚 7. 眼 運動機能 9. ま と め 健診結 E D C B A A E	□ふつう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡!□ふつう □(遅滞・理解困難・他□ふつう □(強血・大頭・小頭・斜頸・他□ふつう □(心雑音) 108
2. 行動・受診態度 3. 言 語 4. 頭・頭・外性器 6. 皮 膚 7. 眼 講機能 9. ま と め 健診結 B 口 C B A A E E D C B A A E	□ふつう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡!□ふつう □(遅滞・理解困難・他□ふつう □(強血・大頭・小頭・斜頸・他□ふつう □(心雑音 ̄VV(部位:)・肝腫大(cm)・脱 □ふつう □(心雑音 ̄VV(部位:)・肝腫大(cm)・別房腫大・他□ふつう □(湿疹・アトピー・血管腫(苺状・他 ・部位)・カフロふつう □(斜視・眼振・難聴・眼瞼下垂・他□ふつう □(夕は視・眼振・難聴・眼瞼下垂・他□ふつう □(夕は上の留意点・発達上の留意点・保育環境上の医療機関名及び医師名: 1. 問題なし 2. 要指導 3. 要経過観察 4. 要治療むし歯の罹患型 1. O1 2. O2 3. A 生歯数(2. あり その他 方対咬合、開咬、上顎前突、過蓋咬合、叢生軟組織の異常 1. なし 2. あり その他 歯肉炎、 小帯、ヘルペス発疹、口角炎、	108
2. 行動・受診態度 3. 言 語 4. 頭・頭・外性器 6. 皮 膚 7. 眼 講機能 9. ま と 破診結 室 科 まとめ E D C B A A E E D C B A A E (記 入 記 ー	□ふつう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡語 □ふつう □(遅滞・理解困難・他 □ふつう □(強血・大頭・小頭・斜頸・他 □ふつう □(心雑音 ̄VV(部位:)・肝腫大(cm)・脂 □ふつう □(心雑音 ̄VV(部位:)・肝腫大(cm)・脂 □ふつう □(湿疹・アトピー・血管腫(苺状・他 ・部位)・カフロふつう □(斜視・眼振・難聴・眼瞼下垂・他 □ふつう □(夕)・ 108 □ 104 □ 108 □ 109 □))))) 「 108 「 108 「 109 「
2. 行動・受診態度 3. 言 語 4. 頭・腹・外性器 6. 皮 内 7. 眼 動機 9. ま と 健診結 歯 まとめ EDCBAAE 日本 現在	□ふつう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡語 □ふつう □(遅滞・理解困難・他 □ふつう □(強血・大頭・小頭・斜頸・他 □ふつう □(心雑音 ̄VV(部位:)・肝腫大(cm)・服))))) 「 108 「 108 「 109 「
2. 行動・受診態度 3. 言 ・	□ふつう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡語 □ふつう □(遅滞・理解困難・他 □ふつう □(心雑音 ̄V I (部位:)・肝腫大(cm)・開腫大・他 □ふつう □(心雑音 ̄V I (部位:)・肝腫大(cm)・別房腫大・他 □ふつう □(心雑音 ̄V I (部位:)・肝腫大(cm)・別房腫大・他 □ふつう □(湿疹・アトピー・血管腫(苺状・他 ・部位)・カフロふつう □(斜視・眼振・難聴・眼瞼下垂・他 □ふつう □(内限・X脚・内反足・麻痺・遅 ²⁰⁴ ・他 □ふつう □(内限・X脚・内反足・麻痺・遅 ²⁰⁴ ・他 □ふつう □(身体上の留意点・発達上の留意点・保育環境上の医療機関名及び医師名: 果 □ □ □ 1. 問題なし 2. 要指導 3. 要経過観察 4. 要治療))))) 「 108 「 108 「 109 「
2. 行動・受診態度 3. 言 ・	□ふつう □(多動・無関心・音声・怖がる・視線が合いにくい・寡語 □ふつう □(遅滞・理解困難・他 □ふつう □(心雑音 ̄VI(部位:)・肝腫大(cm)・胴 で cm)・別の cm)・別の で cm)・別の cm)・別の で cm)・別の cm)))))) 「 108 「 108 「 109 「
2. 行動・受診態度 3. 言 ・ 日本 4. 頭・腹・外性器 6. 皮 財・運動・機・運動・機・運動・機・運動・機・運動・機・運動・機・ 9. ま ・ 日本 6. 皮 財・運動・機・運動・機・ ・ 日本 7. 日本 ・ 日本 8. 四日・運動・機・ ・ 日本 9. ま ・ 日本 日本 ・ 日本	□ふつう □(多動・無関心・音声・怖がる・視線が合いにくい・寡語 □ふつう □(遅滞・理解困難・他 □ふつう □(心雑音 ̄VI(部位:)・肝腫大(cm)・別の □ふつう □(心雑音 ̄VI(部位:)・肝腫大(cm)・別の □ふつう □(心雑音 ̄VI(部位:)・肝腫大(cm)・別の □ふつう □(恐疹・アトピー・血管腫(苺状・他 ・部位)・カフロふつう □(剥視・眼振・難聴・眼瞼下垂・他 □ふつう □(身体上の留意点・発達上の留意点・保育環境上の医療機関名及び医師名: 1. 問題なし 2. 要指導 3. 要経過観察 4. 要治療 歯垢の付着状態 1. きれい 2. 少ない 3. 質 むし歯の罹患型 1. O1 2. O2 3. A を助め □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □))))) 「 108 「 108 「 109 「
2. 行動・ 2. 行動・ 3. 言 3. 言 4. 頭・腹・ 9. 性器 6. 皮 1. 四 8. 四 1. 四 8. 四 1. 四 8. 四 1. 日 8. 四 1. 日 9. ま 1. 日 0. 日 1. 日 <td< td=""><td>□ふつう □(多動・無関心・音声・怖がる・視線が合いにくい・寡語 □ふつう □(遅滞・理解困難・他 □ふつう □(心雑音 ̄VI(部位:)・肝腫大(cm)・別の □ふつう □(心雑音 ̄VI(部位:)・肝腫大(cm)・別の □ふつう □(心雑音 ̄VI(部位:)・肝腫大(cm)・別の □ふつう □(恐疹・アトピー・血管腫(苺状・他 ・部位)・カフロふつう □(剥視・眼振・難聴・眼瞼下垂・他 □ふつう □(身体上の留意点・発達上の留意点・保育環境上の医療機関名及び医師名: 1. 問題なし 2. 要指導 3. 要経過観察 4. 要治療 歯垢の付着状態 1. きれい 2. 少ない 3. 質 むし歯の罹患型 1. O1 2. O2 3. A を助め □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □</td><td>))))) 「 108 「 108 「 109 「</td></td<>	□ふつう □(多動・無関心・音声・怖がる・視線が合いにくい・寡語 □ふつう □(遅滞・理解困難・他 □ふつう □(心雑音 ̄VI(部位:)・肝腫大(cm)・別の □ふつう □(心雑音 ̄VI(部位:)・肝腫大(cm)・別の □ふつう □(心雑音 ̄VI(部位:)・肝腫大(cm)・別の □ふつう □(恐疹・アトピー・血管腫(苺状・他 ・部位)・カフロふつう □(剥視・眼振・難聴・眼瞼下垂・他 □ふつう □(身体上の留意点・発達上の留意点・保育環境上の医療機関名及び医師名: 1. 問題なし 2. 要指導 3. 要経過観察 4. 要治療 歯垢の付着状態 1. きれい 2. 少ない 3. 質 むし歯の罹患型 1. O1 2. O2 3. A を助め □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □))))) 「 108 「 108 「 109 「

3歳児健康診査票

子さんの倒 リガナ	建康状態を知るためのものです。あてはまる	番号に〇印を					•	理番号	1				
		PATI IPRITICIA) I (I RIII I I III III III III III III I	unerinese.	生年月日	年	月		護者名	父			1 1 1	
民名		, Anto	_, [性別	男	- 女		设日石	母				
		(第	子)	電話番号		_		Ŋ		` <i>\/</i> -	卜記入	——	
所				电印用:			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			3	4	5.	
			B	中の連絡先	- (-)			祖母	-)
	の家族について記入してください。					母 3. 兄	•姉()歳	4. 弟 奴	()歳	5. 祖父	6. 祖母	B. 他	()
	さん昼間の保育者は主にどなたです						母 4.祖3	ბ 5. ()1	保育所・名	幼稚園(B. 他()
	まで病気やけがで入院したことがあ				1. いいえ		•						,) .
	中や経過をみてもらっている病気や 、食物アレルギーで指導や治療をst				1. いいえ 1. いいえ		ハ(ハ(卵白・I	卵黄 大豆	- 生到 - /	小妻・色ィ	介類。他)
	ことがありますか。	217 20.00	7 73 0				があって(こいて(回)
	接種は受けましたか。				1. いいえ	2. は	۸ 1. E	ブ 2. 肺	炎球菌	3. 三種:	混合 4.	ポリオ	's .
								1種混合				4	
	/b みつじょしせ マーレチャフ・ナーナム				/	L / 145 >*		本脳炎					
	代の子どもと遊ぶことを好みますか きる時間と夜やすむ時間をかいてく						・たまに遊. る 2. (姓の相子	14.		.,
	ご・ビデオ(DVD・ゲーム)は1日どの		います		1. みせ			とている(間/日)			•
食事	に関して何か心配がありますか。		- ·		1. いいえ		ハ(偏食・		食い・他				·) .
	つの回数、量を決めていますか。				1. はい(2. เาเ	ハえ	1.		•		
	れで食べる習慣がありますか。 について心配なことがありますか。				1. はい 1. いいえ								
	について心能なことがありますか。 がきや手洗いをしていますか。				1. はい								,
	きは大人が毎日仕上げをしています	まか 。					きどきしてい	いる 3	していた	il\			
いつも	も指しゃぶりをしていますか。				1. はい	2. LV	いえ			,			
	合わせや歯並びで気になることがあ				1. いいえ								
	フッ化物の塗布やフッ素入り歯磨き		してし	` まずか。	1. はい	2.しい	いえ きどきある	2110	+ t. Z.	1 to to i	C #21 \		
	さんのしつけについて不安がありま 者に対して、お子さんは反抗します						2. しない						
	さんの今の状態について、おたずれ					-, -,				. ,	0.0		
	足で2~3秒立てますか。			2	手を使ね	っずにひ	とりで階	没をのぼ	れますだ	۱, ۵			
	(1. はい 2. いいえ	3. わからた	よい)	•					1 2. 616	ハえ 3.1	りからなり	い)	
(3) まれ	ねして○を書きますか。 (1.はい 2.いいえ	0 4-4:54		(4)	はしを使	って食	事をします			. = 1	りからない		
(5) #s#	もちゃのおかたづけができますか。	J. 47/11/0/6	101)	6	71.247	パンツオ	はけます		. 2. 0.0	· /L 3. 4	711.041	U •)	
© 33 C	(1. はい 2. いいえ	. 3. わからな	まい)	. •	, , ,		_,,,,,,,,,		١ 2. ١١٤	ハえ 3. オ	りからな ((N)	
⑦ おし	しっこを予告しますか。			8	自分の	名前(姓	も、名前も	5)を言え	ますか。				
	(1.はい 2.いいえ								N 2: しいし	ハえ 3. オ	わからな!	(1)	
(9) 大1	や猫などの動物の絵を見て、その4 (1. はい 2. いいえ			·	及た50)名削を	呼びます		. 2 ! \	\ 7 2 4	りからなり	133	
⑪赤	、青、緑、黄色のうち3つの色がわか			(12)	大きい・	小さいか	いわかりま		2. 0.0		713-15-161		
(I) M.	(1. はい 2. いいえ			•••	,		12.0 20		ヽ 2. しし	ハえ 3.1	りからな	い)	
① 長し	い・短いがわかりますか。			14)	ままごと	で役を	寅じること	ができま	すか。				
	(1. はい 2. いいえ	. 3. わからな	まい)	•	1-1101-	. د عدد دا سد	-1*				りからなり		
(15) とて	Cも乱暴で困ることはありますか。 (1.はい 2.いいえ	2 4-40+		(16)	極端に	各ち着か	ず、集中				かります! わからな!		
① 新	しいことに強い不安を示したり、恐れ			ታ か.				(1.18.)	. 2. 6 16		ישיפיינונ	U•)	
عادمة ران	(1. はい 2. いいえ					* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *			:				
					•			• •		*			
	をしていてストレスに感じることや悩	むことがよ	くあり	ますか。									
	1. はい 2. ときどきある 3. ない (どんなことですか												. ,
育児(について相談したり、話したりする丿	人はいますが	ا ا ما	. はい(配偶:	者·配偶者	の父母・実	◇☆・ かか	りつけの小	児科医・カ	せん・保育	士・保健的	•m·他	j ,
. 1350.				2. いいえ									. ′
	者同士等集まったり話したりする場					· 1. (a	まし ヽ	2. いいえ	<u>.</u>				
	をするうえで家族や保健師・地域に	支援してほ	しいこ	とがありま	ずか。	* *							
	1. いいえ 2. はい (配偶者の育児参加・育児の	価間づくい-	徘										١
保護:	(配偶句の胃児参加・胃児の) 者の身体や心の調子はいかがです		ات ا										
	1. だいたいよい 2. あまりよくない	3. よくなし	بع) ١	のように:			•	*)
. 今日相	相談したいこと、心配なことがありま								1		•		
	1. いいえ 2. はい()
左17.14		•		De	建指導								
養指導				1休1	姓扣得	٠							
				. 1									
				ŀ									
			:	.						10 100			

問診		
L	0. なし 1. 未受診 2. あり() A不明	
1. 乳児健診での指摘事項		
2. 1歳6か月児健診での指導事項	0. なし 1. 未受診 2. あり(A不明	· 1.
3. 既 往 歴	0. なし、1. 麻疹 2. 風疹 3. 水痘 4. 流行性耳下腺炎 5. 百日咳 A不明	
And the second second second second	6. 突発性発疹 7. 喘息 8. アトピー B. 他()	
4.ことば	1. N 2. 有意語未 3. 単語5個以上 4. 2語文可 5. 会話が成立しない 6. 発音不明瞭 A不明	
生活習慣等の状況	0. なし 1. くせ() 2. 食生活(時間、偏食、おやつ、母乳、哺乳ビン、他)	
	3. しつけ(排尿便、歯みがき、就寝、他) 4. 環境(友達、TV、他) A不明	
5. 今日は誰とここへ来ましたか	1. 理解できる 2. できない 3. やってくれない	
6. 「子育でをしている時"育てにく		
0. 一丁月(をしている时 月(たく		
	1. いつもそう思う 2. 時々そう思う 3. ほとんどそう思わない A不明	
問診のまとめ	0. ふつう	
保健師:		
Property Control of the Control of t		
検尿 尿糖(1一・2±・	3+) 尿蛋白 (1-・2±・3+) 尿潜血 (1-・2±・3+)	
視力検査 1.N 2.特記]事項	
17077174	to the contract of the contrac	
		•
耳に関するアンケート 1	. N 2. 特記事項	
		,
計 測 (平成22年度調査		
		4
3歳~3歳6か月 体重(kg)	(17.43) 16.15 12.35 (11.72) (16.76) 15.64 11.76 (11.04)	
14年(Kg) 3歳6か月~4歳	(18.82) 17.34 13.10 (12.42) (18.27) 16.95 12.61 (11.83)	
3歳~3歳6か月	(101.8) 99.6 90.7 (88.8) (100.6) 98.4 89.6 (87.7)	
身長(cm)		
3歳6か月~4歳		
3歳~3歳6か月 頭囲(cm)	(52.5) 51.6 47.9 (47.0) (51.4) 50.5 46.9 (46.0)	
- 3歳6か月~4歳	(52.9) 52.0 48.3 (47.4) (51.9) 51.0 47.4 (46.5)	
健診結果 1.異常なし 2.既	死医療(観察中・治療中) 3.要経過観察 4.要精密 5.要治療	
(どこで		
) 紹介先・内容(
診察		
1. 栄養身体 口。	200 207 200	
	008 607 609	
		.
2. 行動・受診態度 ロふ	209 210 212 つう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡動・他)	
2. 行動・受診態度 ロふ	209 210 212 つう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡動・他)	
2. 行動・受診態度 口ふ 3. 言 語 口ふ	209 210 212 213 215 215 215 216 217 217 217 217 217 217 217 217 217 217	
2. 行動・受診態度 ロふ	200 210 212 212 213 211 211 211 211 211 21 21 21 21 21 21 2	
2. 行動・受診態度 口ふ 3. 言 語 口ふ 4. 頭 ・ 顔 ・ 口 口ふ	200 210 212 212 213 211 211 211 211 211 21 21 21 21 21 21 2	
2. 行動・受診態度 口ふ 3. 言 語 口ふ	つう 口(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡動・他) つう 口(遅滞・理解困難・構音障害・どもる・他 つう 口(貧血・大頭・小頭・斜頸・他) つう 口(心雑音	
2. 行動・受診態度 口ふ 3. 言 語 口ふ 4. 頭 ・ 顔 ・ 口 口ふ	つう 口(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡動・他) つう 口(遅滞・理解困難・構音障害・どもる・他 つう 口(貧血・大頭・小頭・斜頸・他) つう 口(心雑音	
2. 行動・受診態度 ロふ・3. 言 ロふ・4. 頭 ・ 顔 ・ ロ ロふ・5. 胸・腹・外性器 ロふ・	つう 口(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡動・他) つう 口(遅滞・理解困難・構育障害・どもる・他) つう 口(貨血・大頭・小頭・斜頸・他) つう 口(心雑音 VI(部位:)・肝腫大(cm)・胸郭異常(ロート胸・はと胸・他) ヘルニア(臍・そけい)・脾腫(cm)・乳房腫大・他))	
2. 行動・受診態度 口ふ 3. 言 語 口ふ 4. 頭 ・ 顔 ・ 口 口ふ	つう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡動・他) つう □(遅滞・理解困難・構音障害・どもる・他) つう □(貧血・大頭・小頭・斜頸・他) つう □(心雑音 VI(部位:)・肝腫大(cm)・胸郭異常(ロート胸・はと胸・他) ハルニア(臍・そけい)・脾腫(cm)・乳房腫大・他 609: 123 124	
2. 行動・受診態度 ロふふ 3. 言 ロふ・ 4. 頭 顔 ロ ロふ 5. 胸・腹・外性器 ロふ・ 6. 皮 膚 ロふ	つう 口(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡動・他) つう 口(遅滞・理解困難・構音障害・どもる・他) つう 口(資血・大頭・小頭・斜頸・他) つう 口(心雑音 VI(部位:)・肝腫大(cm)・胸郭異常(ロート胸・はと胸・他) ーンーア(臍・そけい)・脾腫(cm)・乳房腫大・他) 124 つう 口(湿疹・アトピー・血管腫(苺状・他 ・部位)・カフェオーレ斑(1cm*×6コ以上)・他)	
2. 行動・受診態度 ロふ 3. 言	つう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡動・他) つう □(遅滞・理解困難・構育障害・どもる・他) つう □(貧血・大頭・小頭・斜頸・他) つう □(心雑音 VI(部位:)・肝腫大(cm)・胸郭異常(ロート胸・はと胸・他) ーンーア(臍・そけい)・脾腫(cm)・乳房腫大・他) つう □(湿疹・アトピー・血管腫(苺状・他 ・部位)・カフェオーレ斑(1cm*×6コ以上)・他) つう □(斜視・眼振・眼瞼下垂・他) 取り、108 108 のう □(斜視・眼振・眼瞼下垂・他)	
2. 行動・受診態度 口ふふ 3. 言 口ふふ 4. 頭・頭・口・ふ 口ふふ 5. 胸・腹・外性器 口ふ 6. 皮 膚 口ふ 口ふふ 7. 眼 口ふ	つう 口(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡動・他)) つう 口(遅滞・理解困難・構育障害・どもる・他)) つう 口(貧血・大頭・小頭・斜頭・他)) つう 口(心雑音	
2. 行動・受診態度 口ふふふま コース・シース・ラース・ラース・ラース・ラース・ラース・ラース・ラース・ラース・ラース・フェース・フェース・フェース・フェース・フェース・フェース・フェース・フェ	つう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡動・他)) つう □(遅滞・理解困難・構育障害・どもる・他)) つう □(貧血・大頭・小頭・斜頸・他))・肝腫大(cm)・胸郭異常(ロート胸・はと胸・他) つう □(心雑音	
2. 行動・受診態度 口ふふふま コース・シース・ラース・ラース・ラース・ラース・ラース・ラース・ラース・ラース・ラース・フェース・フェース・フェース・フェース・フェース・フェース・フェース・フェ	つう 口(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡動・他)) つう 口(遅滞・理解困難・構育障害・どもる・他)) つう 口(貧血・大頭・小頭・斜頭・他)) つう 口(心雑音	
2. 行動・受診態度 口いいいのでは 3. 言 4. 頭・頭・外性器 5. 胸・腹・外性器 口いいのでは 6. 皮 膚 口いいのでは 7. 目 口いいのでは 8 目 口いいのいのでは 9 四肢・運動機能 口いいのいのでは	つう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡動・他) つう □(遅滞・理解困難・構音障害・どもる・他) つう □(貧血・大頭・小頭・斜頸・他) つう □(心雑音 om)・肝腫大(cm)・胸郭異常(ロート胸・はと胸・他 つう □(心雑音 vI(部位:cm)・肝腫大(cm)・胸郭異常(ロート胸・はと胸・他 つう □(心雑音・そけい)・脾腫(cm)・乳房腫大・他) つう □(湿疹・アトピー・血管腫(苺状・他 and before and	
2. 行動・受診態度 口いいいのでは 3. 言 4. 頭・頭・外性器 5. 胸・腹・外性器 口いいのでは 6. 皮 膚 口いいのでは 7. 目 口いいのでは 8 目 口いいのいのでは 9 四肢・運動機能 口いいのいのでは	つう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡動・他)) つう □(遅滞・理解困難・構育障害・どもる・他)) つう □(貧血・大頭・小頭・斜頸・他))・肝腫大(cm)・胸郭異常(ロート胸・はと胸・他) つう □(心雑音	
2. 行動・受診態度 口いいいのでは 3. 言 4. 頭・頭・外性器 5. 胸・腹・外性器 口いいのでは 6. 皮 膚 口いいのでは 7. 目 口いいのでは 8 目 口いいのいのでは 9 四肢・運動機能 口いいのいのでは	つう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡動・他) つう □(遅滞・理解困難・構音障害・どもる・他) つう □(貧血・大頭・小頭・斜頸・他) つう □(心雑音 om)・肝腫大(cm)・胸郭異常(ロート胸・はと胸・他 つう □(心雑音 vI(部位:cm)・肝腫大(cm)・胸郭異常(ロート胸・はと胸・他 つう □(心雑音・そけい)・脾腫(cm)・乳房腫大・他) つう □(湿疹・アトピー・血管腫(苺状・他 and before and	
2. 行動・受診態度 口いいいのでは 3. 言 4. 頭・頭・外性器 5. 胸・腹・外性器 口いいのでは 6. 皮 膚 口いいのでは 7. 目 口いいのでは 8 目 口いいのいのでは 9 四肢・運動機能 口いいのいのでは	□ (多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡動・他 □ (遅滞・理解困難・構音障害・どもる・他 □ (貧血・大頭・小頭・斜頸・他 □ (心雑音	
2. 行動・受診態度 口いいいのでは 3. 言 4. 頭・頭・外性器 5. 胸・腹・外性器 口いいのでは 6. 皮 膚 口いいのでは 7. 目 口いいのでは 8 目 口いいのいのでは 9 四肢・運動機能 口いいのいのでは	つう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡動・他) つう □(遅滞・理解困難・構音障害・どもる・他) つう □(貧血・大頭・小頭・斜頸・他) つう □(心雑音 om)・肝腫大(cm)・胸郭異常(ロート胸・はと胸・他 つう □(心雑音 vI(部位:cm)・肝腫大(cm)・胸郭異常(ロート胸・はと胸・他 つう □(心雑音・そけい)・脾腫(cm)・乳房腫大・他) つう □(湿疹・アトピー・血管腫(苺状・他 and before and	
2. 行動・受診態度 口いいいのでは 3. 言 4. 頭・頭・外性器 5. 胸・腹・外性器 口いいのでは 6. 皮 膚 口いいのでは 7. 目 口いいのでは 8 目 口いいのいのでは 9 四肢・運動機能 口いいのいのでは	□ (多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡動・他 □ (遅滞・理解困難・構音障害・どもる・他 □ (貧血・大頭・小頭・斜頸・他 □ (心雑音	
2. 行動・受診態度 ロホーム A S A S A S A S A S A S A S A S A S A	□ (多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡動・他 □ (遅滞・理解困難・構音障害・どもる・他 □ (資血・大頭・小頭・斜頸・他 □ (心雑音	
2. 行動・受診態度 ロホーム A S A S A S A S A S A S A S A S A S A	□ (多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡動・他 □ (遅滞・理解困難・構音障害・どもる・他 □ (貧血・大頭・小頭・斜頸・他 □ (心雑音	
2. 行動・受診態度 ロホーム A S A S A S A S A S A S A S A S A S A	□ (多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡動・他) □ (遅滞・理解困難・構音障害・どもる・他) □ (資血・大頭・小頭・斜頸・他) (小雑音	
2. 行動・受診態度 ロホーム A S A S A S A S A S A S A S A S A S A	□ (多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡動・他) □ (遅滞・理解困難・構音障害・どもる・他) □ (資血・大頭・小頭・斜頸・他) (小雑音	
2. 行動・受診態度 ロホーム A S A S A S A S A S A S A S A S A S A	□ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
2. 行動・受診態度 口かい 3. 言 ロ ロ ロ の	□ ○ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
2. 行動・受診態度 口かい 3. 言 ロ ロ ロ の	□ (20s 210 - 212 - 212 - 216 - 216 - 217 - 216 - 216 - 216 - 216 - 217 - 217 - 218 - 21	
2. 行動・受診態度 口かぶ 3. 言 ロ ロ ロ ロ の か	□ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
2. 行動・受診態度 口かい 3. 言 ロ ロ ロ の	つう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡動・他) つう □(遅海・ 理解困難・構音障害・どもる・他) つう □(砂血・大頭・小頭・斜頭・他) つう □(心雑音	
2. 行動・受診態度 口かぶ 3. 言 ロ ロ ロ ロ の か	208 208 210 212 212 c	
2. 行動・受診態度 口かぶ 3. 言 ロ ロ ロ ロ の か	つう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡動・他) つう □(遅落・理解困難・構音障害・どもる・他) つう □(機治・ 101・ 105・小頭・斜頸・他)・肝腫大(cm)・胸郭異常(ロート胸・はと胸・他) ハルニア(臍・そけい)・脾腫(cm)・乳房腫大・他) ロ(記を・アトピー・血管腫(苺状・他 ・部位)・カフェオーレ斑(1cm*×6コ以上)・他) ロ(斜視・眼瞼下垂・他) 眼:1異常なし 2.既医療 3.要経過観察(か月) 4.要精密 つう □(幼科・眼瞼に垂・他) 耳:1異常なし 2.既医療 3.要経過観察(か月) 4.要精密 つう □(り体上の留意点・発達上の留意点・保育環境上の留意点) 医療機関名及び医師名:	
2. 行動・受診態度 コネーム スター	□ (多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡動・他	
2. 行動・受診態度 コネーム スター	つう □(多動・無関心・奇声・怖がる・視線が合いにくい・寡動・他) つう □(遅落・理解困難・構音障害・どもる・他) つう □(機治・ 101・ 105・小頭・斜頸・他)・肝腫大(cm)・胸郭異常(ロート胸・はと胸・他) ハルニア(臍・そけい)・脾腫(cm)・乳房腫大・他) ロ(記を・アトピー・血管腫(苺状・他 ・部位)・カフェオーレ斑(1cm*×6コ以上)・他) ロ(斜視・眼瞼下垂・他) 眼:1異常なし 2.既医療 3.要経過観察(か月) 4.要精密 つう □(幼科・眼瞼に垂・他) 耳:1異常なし 2.既医療 3.要経過観察(か月) 4.要精密 つう □(り体上の留意点・発達上の留意点・保育環境上の留意点) 医療機関名及び医師名:	
2. 行動・受診態度 ロボーム A A B C D E D C B A A B C D C A A B C D C A A B C D C A A A B C D C D C A A A B C D C D C A A A B C D C D C A A A B C D D C A A A B	208	
2. 行動・受診態度 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	208 210 210 210 210 210 210 201 20	
2. 行動・受診態度 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	208	
2. 行動・受診態度 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	200	
2. 行動・受診態度 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	208	
2. 行動・受診態度 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	208	
2. 行動・受診態度 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	208	
2. 行動・受診態度 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	200 200 200 200 200 200 200 200 200 200	
2. 行動・受診態度 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	208	

1歳6か月児 3 歳 児 精密健康診査受診申請書

妊 婦 氏 名	年 月 日生
乳幼児氏名	年 月 日生
居住地	
申請理由	
上記により	妊 婦 精密健康診査の受診を申請します。 乳幼児
	年 月 日
	申請者氏名
	殿

(注) 妊婦精密健康検査、乳幼児精密健康診査のうち該当するものを〇で囲むこと。

1歳6か月児 3 歳 児 健康診査精密健康診査(判定相談)受診票

日生
(F)

検査(請求)内容	点 数	所見又は今後の処置
	点	
		令和 年 月 日
		委託医師名
計		(判定員名)
	1歳67 3)	^{か月児} 健康診査費請求書 ^{歳 児}
		殿
金 上記のとおり()に 委	円 ついての精密健康診査に要した費用を請求します。 託医師 住所 氏 名 印

眼科

3歳児健康診査精密健康診査(判定相談)受診票

NU.									· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			<u> </u>		
	童日年	€名及 月	なび 日)			年	F]	日生
保	護	者 氏	名	•		* .					•			•
居		住	地											
有	効	期	間	令和	年	月		日から		月	日まで	1 4	•	
	•				内側に寄 外や上に				,, ,,					
					ごなど見え をしかめ						ひいて、	上目づか	いで見る	5 .
					を傾けて	見る。					つきだして			
	. ,			5 明る	ハ戸外で たが下が	十目をつ	ぶりま							
健	康	診	査	7 じっと	見ている	時に、国	がゆれ	ていま		 				
('	判	定		9 瞳(黒	所では、し 【目)の中	央が白	っぽく見	えること						
依 	杯具	安	B		の大きされ 片目ずつ				こ、どちら	の目が見	見えないと	いいます	゛ か。	
					の中に生						+7.TS D +	<u> </u>	1-14	
	ς.			絵視標	右右	/4 /4 :	_	/4 /4	(再検)		する項目を	O CD.	<i>₩</i>	. .
				令和	年	月								
								殿						(ii)
L				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	 						·			

	精検結果(所見又は今後の処置)
	令和 年 月 日 委託医師名
	3歳児健康診査費請求書
	金
	上記のとおり()についての精密健康診査に要した費用を請求します。
	委託医師 住所 氏名 即

3歳児健康診査精密健康診査(判定相談)受診票

140.				
児 生		名. 月	及び 日	年 月 日生
保	護	者日	6名	
居		住	地	
有	効	期	間	令和 年 月 日から 月 日まで
健(依	判	Ä	2)	1 口をあけて息をしていることが多いですか。 2 いつも鼻汁を出していたり、鼻づまりがありますか。 3 よく、いびきをかきますか。 4 中耳炎に何回もかかりましたか。 5 耳の聞こえが悪いように思ったことがありますか。 6 血縁者に生まれつき聞こえの悪い方がいますか。 7 ことばの遅れや発音で心配なことがありますか。 8、その他、耳や鼻のことで心配なことがある。 9 囁声検査 /6 (家庭) ※該当する項目を〇でかこんでください /6 (再検)
				令和 年 月 日 殿 印

精検結果(所見又は今後の処置)
令和 年 月 日 委託医師名
(判定員名)
3歳児健康診査費請求書 _殿
上記のとおり()についての精密健康診査に要した費用を請求します。
委託医師 住所 氏名

妊婦 訪問指導票

								令和	年	月	日
訪	問戶	日	令和 年 月	日((妊娠	週)					
住	•	所	Ŧ				電話	()		
氏		名	ふりがな 年 月	職業 日生	(歳)	世帯	主氏名			
体		重		kg (‡	妊娠前の体	重	kg)				
出っ	産い	にて	出産予定日		医師•助		住所 氏名				
環		境	家族構成(夫・ 住居の状況 種別(一戸建・アパート・マ	ンション・そ		族の疾病	無•有(部屋数()室
既	往	歴	無•有(· .)
	回妊た後		梅毒血清反応 B型肝炎抗原(HBs抗原)検 その他の検査(査			年 年 ———	月	日実施 日実施)
妊	まて 娠 つし	等	今回の妊娠は 初回・第回目今までの妊娠・出産・産後の 今までに生まれた子どもは	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	/ いまま 正常・異 人	流産 回	. —	の低出生	E体重児 産 回・		回 回)
	般 划	き 況	気分・体調(良·不良 競 労 感(無·有 の わ り(無·有 の尿 回 数(下腹部の張り(無·有 乳房の状況(乳頭陥没 呼 無·有 に無·有 出 動())))	食欲(良•不良)
指	導力	* 況	1 セルフチェック(健康観: 2 妊娠中の日常生活につ 運動・休養・睡眠・清: 3 妊娠中の栄養について 4 定期健康診査の必要性 5 妊娠中の口腔保健につ 6 妊娠中の同腔保健につ 7 妊娠中の精神保健につ 8 分娩の経過と準備につ 9 その他(いて 繋・服装・専 生について いて いて	थ煙∙性生活 (妊娠中毒	症予防))
市の	町村連	か絡									

訪問者氏名

産婦 訪問指導票

				令和 年 月 F
訪	問	月	日	
 住 			所	
氏			名	ぶりがな 職業 世帯主氏名 年 月 日生 (歳)
分	娩	場	所	電話()
分	娩	状	況	平成 年 月 日分娩(在胎 週) 流産 回 正常一 単・双・多 妊 坂 (自然・人工) 骨盤位、吸引、鉗子、帝王切開 分娩歴 早産 回 異常 前・早期破水、臍帯巻絡 死産 回 出血(ml) 既往歴 無・有()
環			境	家族構成(夫・) 家族の疾病 無・有(住居の状況 種別(一戸建・アパート・マンション)、部屋数()室、日当り 良・不良
退診	察	完所	時見	
-	般	状	況	悪 露(母乳分泌(良·不良 栄養状況(休養状況(良·不良
指	導	状	況	1 産後の経過について(悪露・月経) 2 母乳栄養確立のための母乳分泌指導 3 産後の休養のとり方 4 食事内容について
		村 連		

訪問者氏名

新生児訪問指導票

r		74 年 月 日
住 所	〒 ふりがな	電話 ()
児の氏名	性別(令和年月日生第() 母の名)子 年齢(歳)
出 生 時 の 状 況	共常: 有盛位、帝王切開、仮死(無・有 光線療法(無・有)、その他(体重()g、身長()cm、胸	囲()cm、頭囲()cm
母子同室		
退院	令和 年 月 日 生後()E	3 体重()g
	第 1 回 訪 問	第2回訪問
訪問月日時 間	時 分頃 ~ 時 分頃	令和 年 月 日生後()日 時 分頃 ~ 時 分頃 〈訪問の目的〉
	□母乳のみ□欲しがるときに与える1日()回くらい□時間を決めて与える()時間毎	□母乳のみ □欲しがるときに与える 1日()回くらい □時間を決めて与える ()時間毎
栄養	□混合栄養 母乳にミルクを足している 母乳()回 ミルク()ml、()回 □人工栄養 ミルク()ml、()回	□混合栄養 母乳にミルクを足している 母乳()回 ミルク()ml、()回 □人工栄養 ミルク()ml、()回
	体重()g、1日()g増加 便回数 1日()回 哺乳力 (良・不良) 機嫌 (良・不良) 大泉門異常 (無・有)	体重()g、1日()g増加 便回数 1日()回 哺乳力 (良・不良) 機嫌 (良・不良) 湿疹 (無・有)
児の観察	固視 (無・有) 黄疸 (無・有) 向き癖 (無・有) 四肢運動 (良・不良) 開排制限 (東・有) 筋緊張 (東・不良) 湿疹 (無・有)	その他
指導事項	臍部異常 (無・有) 1 母乳の重要性、与え方。 2 清潔・皮膚の手入れ、沐浴の実際 3 おむつの当て方 4 抱き方 5 室温と衣類の調整 7 外気浴 8 水分補給、果汁等 9 事故防止	今回の指導
次回訪問	10 母子健康手帳の活用 11 その他 要(内容)・否	
ホ町村へ の 連 絡	אנייי איי איי איי איי איי איי איי איי אי	

訪問者氏名

<u>健診日: 年 月 日</u> 5歳 か月

5歳児健康診査票

この枠内の項目を記入の上、健診を受けてください。 お子さんの健康状態を知るためのものです。あてはまる番号に	〇印を、()内には文字	数字を記入してください。	整理番号	
フリガナ	生年月日	年 月 日生	- 1	父
│ 幼児氏名 │	性 別		- 保護者名	母
		電話番号()	アンケート記入者
住所	昼間の連絡	久 生	1 父	2 3 4 5 母 祖父 祖母 ()
		日父 口祖母 口兄・ 日父 口祖母 口兄・		
2. 昼間の保育者は主にどなたですか。)保育所 □その	
3. 予防接種は受けましたか。		□BCG □三種混合	()回 口麻疹 口 原	風疹 □水痘
	口日脳()回			
4. 今まで病気や事故をしたことがありますか。	口ない 口ある			
5. どのような病気にかかりやすいですか。	□ない □かぜ	□発熱 □下痢 □]湿疹	
6. 治療中・経過観察中の病気がありますか。	□ない □ある(·
7. 妊娠中何かかわったことはありましたか。	口ない 口ある()
8. 出産時何かかわったことはありましたか。	口ない 口ある()
9. 何週で生まれ、体重は何gでしたか。	()週		() g
10. 発達について伺います。	首のすわり()か月 おすわり()か月 歩き始め()か月
11. 今まで健診を受けましたか。	□乳児健診 □1歳	歳6か月健診 口3歳り	見健診	
12. 健診で何か指摘されましたか。	口ない 口ある(何	Īで)
13. 兄弟で発達に遅れがありましたか。	口ない 口ある(何	Jで)
14. どんな遊びが好きですか。	()
15. 遊び友達はいますか。	口いる(口よく遊る	に述ぶ) 口	いない	
16. 起床・就寝時間を記入してください。	起床()時	ごろ	就寝()時ごろ
17. 食事やおやつ時間は決まっていますか。	口決まっている [□決まっていない		
18. 起床、少食・食べ過ぎなど困っていますか。	口困っていない [コ困っている(
19. 歯磨きをしていますか。	口する(仕上げみ	がき口する 口しない)	□しない	
20. テレビ・DVD・スマートフォンを1日どのくらい見ますか	。(時間	分ぐらい)		
21. 目が悪いという心配はありますか。	口ない 口ある			
22. 耳の聞こえが悪いという心配はありますか。	□ない □ある			
23. 利き手はどちらですか。	口右 口左 口(はっきりしない		
24. しつけについて不安がありますか。	□ない □ある (□]いつも 口時々	The second of th)
25. 子育ては楽しいですか。	□楽しい □時々	楽しくない 口楽しくな	ilv	
26. 今の状態について、はい、いいえ、不明に〇印を何	けてください。			
①スキップができる。 (はい ・ いいえ ・ 不	明)	②ブランコがこげる。	(はい・	いいえ ・ 不明)
③片足でケンケンができる。 (はい ・ いいえ ・ 不	明)	④お手本を見て四角か	が書ける。 (はい・	いいえ ・ 不明)
⑤大便がひとりでできる。 (はい ・ いいえ ・ 不	明)	⑥ボタンのとめ、はずし	しができる。 (はい・	いいえ ・ 不明)
⑦集団の中で遊べる (はい・いいえ・不	明)	⑧家族に言って遊びに	ニ行ける。 (はい・	いいえ・ 不明)
⑨ジャンケンの勝敗がわかる。 (はい ・ いいえ ・ 不	明)	⑩自分の名前が読め	る。 (はい・	いいえ・ 不明)
⑪発音がはっきりしている。 (はい ・ いいえ ・ 不		⑩自分の左右がわかん	• •	いいえ ・ 不明)
27. 心配ごと・相談したい事がありますか。	□ない □ある(口身体 口発達 口して	つけ 口くせ 口食事 口他)	
		* 1		

裏面は記入される必要はありません。

	甲	

栄養指導 有 · 無

問診	保健師サイン								
(1)会話									
保育	所名等 口普通	i 口(会話が成立	しにくい。)口不	明		
·発音	□普通	□(不明瞭さが	ある。). 口不	明	•	
(2)単語の	D定義 口普通	□ (正答が4つ)	下) 口不	明		;
(3)じゃん	けん勝負 口普通	□ (勝ち負けが	不正解)口不	明		
(4)しりと	口普通	□(しりとりがで	きない)口不	明		
<u>計測</u> (平成	22年度調査)								
		(97%) 90%	男 10%	(3%)	(97%) 90%	女	10%	(3%)	
体重(kg)	5歳~5歳6か月	(23.15) 20.95	15.23	(14.37)	(22.69) 20.65		14.92	(14.01)	
本里 (Kg.	5歳6か月~6歳	(24.33) 22.19	16.02	(15.03)	(24.22) 21.91		15.75	(14.81)	
身長(cm	、 5歳~5歳6か月	(116.5) 113.7	102.8	(100.5)	(114.8) 112.5		101.8	(99.1)	
A IX (CIII	グ 5歳6か月~6歳	(119.9) 117.1	105.8	(103.3)	(118.2) 115.9		104.7	(101.6)	
頭囲(cm	、 5歳~5歳6か月	(53.8) 52.9	49.2	(48.4)	(53.1) 52.2	3	48.6	(47.7)	
央四 (CIII	グ 5歳6か月~6歳	(54.2) 53.3	49.5	(48.6)	(53.4) 52.5	<u> </u>	48.9	(48.1)	_

診室

砂尔				
(1)動作模倣	□普通	□(動作ができない。指示が入らない)	口不明	
(2)協調運動				
·閉眼立位	□普通	□(動いてしまう。体幹の動揺が著しい。)	口不明	· .
・指のタッピング	□普通	口(安静時にミラー運動が出現する。)	口不明	
・前腕の回内回外	口普通	口(全く動きができない。)	□不明	
・手の交互開閉	□普通	口(全く動きができない。)	口不明	18 The Control of the
(3)安静閉眼	口普通	口(20秒できない。自己刺激行動が著しい。	口不明	. 4
書語	口普通	口(遅滞、構音障がい、理解障がい、どもり、他)	口不明	**
診察のまとめ	口普通	□身体上の問題 □発達上の問題 □保育環境上の問題	口他	
健診結果	□健康	□助言指導 □追跡観察 □精検 □治療中 □観察中	口不明	
	紹介先:	口医療機関 口他		
		F OT A	5	
		<u>医師</u>	<u> </u>	

SDQスコア

区分	Low Need	Some Need	High Need
①行動面	(, , ,)	, ()	()
②多動性	()	((4)	()
③情緒面	()	()	()
④仲間関係	()	()	()
⑤向社会性	()	, ()	()
Total	()	()	()

支援事項

鳥取県母子保健対策協議会

鳥取県健康対策協議会母子保健対策専門委員会

(平成26年3月末現在)

			氏	名	職名
			魚谷	純	鳥取県健康対策協議会会長
会		長	〇中曽	庸博	鳥取県産婦人科医会長
委	員	長	○神﨑	晋	鳥取大学医学部統合内科医学講座周産期小児医学教授
委		員	〇秋久	あつみ	湯梨浜町子育て支援課保健師
	"		明島	亮二	中部医師会
	"		池上	祥子	鳥取県福祉保健部子育て王国推進局子育て応援課長
	"		〇石口	妙子	南部町健康福祉課主幹保健師
	"		石谷	暢男	東部医師会副会長
	"		井田	尚志	西部医師会
	"		大城	陽子	米子保健所長
	"		大谷	恭一	智頭病院小児科科長
	"		〇大野	耕策	山陰労災病院長
	"		大野原	京 良昌	鳥取県立厚生病院産婦人科部長
	"		岡田	克夫	鳥取県医師会常任理事
	"		〇笠木	正明	鳥取県医師会常任理事
	"		小枝	達也	鳥取大学地域学部発達科学教授
	"		〇酒嶋	里美	東部福祉保健事務所健康支援課課長補佐
	"		瀬川	謙一	鳥取県医師会理事
	"		皆川	幸久	鳥取県立中央病院副院長兼産婦人科部長

(50音順、敬称略、協議会委員〇印)

【執筆協力】

前垣 義弘 鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科教授

長田 郁夫 子育て長田こどもクリニック院長

鳥取県母子保健対策協議会

鳥取県健康対策協議会母子保健対策専門委員会

(令和2年2月末現在)

	氏 名	職名
	渡 辺 憲	鳥取県健康対策協議会会長
会 長	〇中曽 庸博	鳥取県産婦人科医会長
委 員 長	〇大野 耕作	山陰労災病院長
委員	井 奥 研 爾	中部医師会
11	石 谷 暢 男	東部医師会副会長
//	井田 尚志	西部医師会
//	〇宇都宮 靖	鳥取県立中央病院医療局副局長兼小児科部長
11	大野原 良 昌	鳥取県立厚生病院産婦人科部長
11	岡田克夫	鳥取県医師会常任理事
11	岡 田 隆 好	鳥取県医師会理事
11	〇笠 木 正 明	こどもクリニックかさぎ院長
11	〇鞁 嶋 有 紀	鳥取大学医学部統合内科医学講座周産期小児医学講師
11	〇北 垣 栄美子	伯耆町健康対策課健康増進室副室長
11	小 谷 昭 男	鳥取県子育て・人財局家庭支援課長
11	〇後 藤 法子	琴浦町子育て健康課主査
11	瀬川謙一	鳥取県医師会常任理事
11	高橋弘幸	鳥取県立中央病院産婦人科統括部長
11	〇高 橋 千 晶	西部総合事務所福祉保健局健康支援課長
//	花木啓一	鳥取大学医学部保健学科母性・小児看護学講座教授
11	前 垣 義 弘	鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経小児科学教授

(50 音順、敬称略 協議会委員〇印) 全員専門委員

令和2年度版鳥取県乳幼児健康診査マニュアル

発 行 令和2年2月(平成26年度版一部改訂)

編 集 鳥取県子育で・人財局家庭支援課

所在地 680-8570

鳥取市東町一丁目220番地 TEL:0857-26-7572

FAX:0857-26-7863

E-mail: kateishien@pref.tottori.lg.jp

URL: http://www.pref.tottori.lg.jp/80854.htm